

(様式第10)

東邦大森院(総)第5-155 号

令和 5 年 10 月 5 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 学校法人東邦大学
理事長 炭山 嘉伸

東邦大学医療センター大森病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和4年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒143-8540 東京都大田区大森西5丁目21番16号
氏名	学校法人東邦大学

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

東邦大学医療センター大森病院

3 所在の場所

〒143-8541 東京都大田区大森西6丁目11番1号
電話(03) 3762 - 4151

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1) 内科

内科								有
内科と組み合わせた診療科名等								
<input type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科			4腎臓内科
	5神経内科		6血液内科		7内分泌内科			8代謝内科
	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科			<input type="radio"/>		11リウマチ科
診療実績								

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						有	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科		3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							

- (注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科		7産婦人科	○	8産科
○	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科	○	12放射線科
	13放射線診断科		14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

- (注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

- (注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	心療内科	2	脳神経内科	3	形成外科	4	美容外科	5	性病科
6	肛門科	7	気管食道科	8	リハビリテーション科	9	病理診断科	10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

- (注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計
36				880	916

(単位:床)

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	431	13	448.7	看護補助者	5	診療エックス線技師	0
歯科医師	6	0	6.0	理学療法士	15	臨床検査技師	97
薬剤師	68	3	70.7	作業療法士	5	衛生検査技師	0
保健師	246	0	246.0	視能訓練士	7	その他	0
助産師	79	0	79.0	義肢装具士	0	あん摩マッサージ指圧師	0
看護師	704	18	715.1	臨床工学士	22	医療社会事業従事者	6
准看護師	3	0	3.0	栄養士	1	その他の技術員	59
歯科衛生士	5	2	5.2	歯科技工士	0	事務職員	129
管理栄養士	15	0	15.0	診療放射線技師	61	その他の職員	14

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	57	眼科専門医	11
外科専門医	42	耳鼻咽喉科専門医	5
精神科専門医	8	放射線科専門医	7
小児科専門医	25	脳神経外科専門医	9
皮膚科専門医	5	整形外科専門医	11
泌尿器科専門医	16	麻酔科専門医	7
産婦人科専門医	23	救急科専門医	8
		合計	234

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (瓜田純久) 任年月日 令和 3 年 7 月 1 日

セイフティマネジャー 平成19年4月～平成22年1月。
 医療の質会議への出席、医療安全管理委員会・安全管理対策委員会への助言。
 管理者任期は1期3年間で、令和5年10月1日現在で管理者は2期目の3年目。

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	678.3 人	2.8 人	681 人
1日当たり平均外来患者数	2008.8 人	52.5 人	2061.3 人
1日当たり平均調剤数	1072.3(外来152.3剤、入院919.9剤)		剤
必要医師数	185.23		人
必要歯科医師数	4		人
必要薬剤師数	23		人
必要(准)看護師数	410		人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
 2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
 3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
 4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
 5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二條

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	246.69 m ²	鉄骨鉄筋コンクリート	病床数	9 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 m ²		病床数		床	
	[移動式の場合] 台数		7 台			
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積		32.8		m ²	
	[共用室の場合] 共用する室名					
化学検査室	615.32 m ²		(主な設備)	生化学検査装置		
細菌検査室	216.56 m ²		(主な設備)	微生物検査装置・顕微鏡		
病理検査室	451.79 m ²		(主な設備)	顕微鏡		
病理解剖室	93.84 m ²		(主な設備)	解剖台		
研究室	74.93 m ²		(主な設備)	クリーンベンチ・CO2インキュベーター		
講義室	342.56 m ²		室数	1 室	収容定員	198 人
図書室	72.21 m ²		室数	1 室	蔵書数	1183 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
 2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	85.1	%	逆紹介率	71.6	%
算出 根拠	A: 紹介患者の数		23,115		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		21,443		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		2,349		人
	D: 初診の患者の数		29,937		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
 3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害 関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学医療保健 学部学部長(医師)	○	医療安全に係る安全管 理に関する識見を有す る者	無	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士(東京弁護士会)		法律に関する識見 を有する者	無	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHKチーフ・プロデュー サー		医療メディアに関する識 見を有する者	無	医療を受ける者その他の医療 従事者以外のもの
高松 研	東邦大学 学長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学医学部 学部 長(医師)		医療に関する識見を 有する者	有	医療に係る安全管理又は法律 に関する識見を有する者その 他の学識経験を有する者
	(以下余白)				

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1~3のいずれかを記載すること。
 1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
 3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院のウェブサイトにて、規程等を公表 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	冠動脈インターベンション(PCI)	取扱患者数	360
当該医療技術の概要 冠動脈インターベンション(PCI)は、狭心症や心筋梗塞などの虚血性心疾患の中心的治療法であり、特に急性心筋梗塞では本治療法による迅速な血流再開が必要である。冠動脈内に筒状の金属を留置する方法であり数種類のステントが臨床使用されている。加えて、血栓吸引療法やロータブレードなどの高度な治療法も数多く行っている。			
医療技術名	経皮的末梢動脈形成術(EVT)	取扱患者数	121
当該医療技術の概要 末梢動脈にステントを留置して血行再建を行う方法であるが、ステント留置に適さない病変に対してはバルーンによる血管拡張を行っている。下肢動脈が主な対象となるが、その他に鎖骨下動脈や腎動脈などの末梢動脈に対しても同治療を行っている。末梢動脈内に留置する筒状の金属は、数種類のステントが臨床使用されている。			
医療技術名	経皮的動脈弁置換術(TAVI)	取扱患者数	37
当該医療技術の概要 重症の動脈弁狭窄症に対する治療において、高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、開胸術を要さずカテーテルを用い大動脈弁を留置する方法を選択している。これが経皮的動脈弁置換術(TAVI)である。主に高齢で手術適応とならない症例に対して行っている。			
医療技術名	経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)	取扱患者数	12
当該医療技術の概要 重症の僧帽弁閉鎖不全症に対する治療において高齢者や合併症を有する症例では危険度が高く施行できない症例も多く存在する。こうした症例に対して、カテーテルを用いクリップで2つの僧帽弁をはさみ、弁逆流を軽減させる方法を選択している。これが経皮的僧帽弁クリップ術(MitraClip)である。主に開胸術を行えない症例に対して行っている。			
医療技術名	カテーテルアブレーション	取扱患者数	306
当該医療技術の概要 電極カテーテルを心腔内に挿入し、頻拍の原因となる異常興奮発生部位、異常興奮回路・伝導路を選択的に焼灼する治療法である。心房細動、心房粗動、発作性上室頻拍、心室頻拍など頻脈性不整脈に対する根治目的で実施している。現在では、クライオ(冷凍凝固)やレーザーなどの新しいエネルギーを用いた治療法も数多く行っている。			
医療技術名	植込み型除細動器手術(ICD・S-ICD)	取扱患者数	18
当該医療技術の概要 心室細動や心室頻拍などの心室性不整脈による心臓突然死の予防目的で用いられる。電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む(ICD)。電極カテーテルを皮下に植え込む方法もある(S-ICD)。心肺蘇生経験例のみならず、心臓突然死の危険性があると判断された症例においても使用している。			
医療技術名	心臓再同期療法手術(CRT・CRT-D)	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 薬剤抵抗性の重症心不全患者に対して適応があり、心機能の改善目的で使用される。経静脈的に電極カテーテルを心腔内に挿入し、デバイス本体は前胸部の皮下に埋め込む。同時に危険な心室性不整脈による心臓突然死をきたす可能性がある症例においては、除細動機能付きのデバイス(CRT-D)も使用している。			

医療技術名	左心耳閉鎖デバイス(Watchman)留置術	取扱患者数	11
当該医療技術の概要 心房細動患者では、左心耳に血栓が形成され、それが遊離することで、重篤な心原性脳塞栓症を発症する。通常は、経口抗凝固薬を投与して予防するが、出血傾向の高い患者においては、長期に渡って経口抗凝固薬服用することができない。そのような症例において、左心耳閉鎖デバイス(Watchman)を実施している。			
医療技術名	経カテーテル的大動脈弁置換術	扱い患者数	35
当該医療技術の概要 超高齢者、重度基礎疾患、胸部大動脈高度石灰化を有するなど、人工心肺を用いた通常の開胸手術に耐えられない症例に対し、人工心肺を用いず鼠径部の動脈を経由し経カテーテル的に行う大動脈弁置換術。			
医療技術名	複雑心奇形に対する低侵襲外科手術	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 重度心不全状態の複雑心奇形症例に対し、小切開および充填量が極めて少ない人工心肺装置を用いて生体侵襲を低減し、手術成績の向上を図っている。			
医療技術名	新生児重症心疾患の内科的管理及び外科治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGE1製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している。			
医療技術名	胸腔鏡補助下弁手術	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 胸腔鏡補助下右開胸による心臓弁手術は、従来の胸骨正中切開に比べ、傷口が目立たない、剥離が少ないので出血が少ない、縦郭肺炎のリスクがない、在院日数が短い、退院後の活動制限が少ない、早期社会復帰が可能になるなどの優位性がある。僧帽弁手術、大動脈弁手術の単弁手術で複合手術を伴わない症例や、心房に存在する心臓腫瘍に適応される。			
医療技術名	補助循環用ポンプカテーテル	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 補助循環用カテーテルは左室内にカテーテルを留置し、左室からの血液を大動脈から全身に順行性に拍出することができる。そのため、人工心肺と同等の循環補助機能を持ち、かつ、心負荷軽減および心機能改善を期待することができ、心原性ショックを伴う重症心不全が適応となっている。			
医療技術名	気管支凍結生検(クライオ生検)	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 凍結生検(クライオ生検)とは、凍結剤(二酸化炭素)で冷却したプローブを肺組織に接触させることにより、気管支・肺抹消組織及び、気管支内の異物を凍結させ、組織の採取及び異物除去を行うことができます。			
医療技術名	気道狭窄に対するステント療法	取扱患者数	9
当該医療技術の概要 気管・気管支の腫瘍性あるいは炎症性狭窄に対する内視鏡下ステント療法である。当科は硬性気管支鏡を使用しており、安全かつ高難度の処置が可能である。			

医療技術名	中等症以上のCOPD合併肺癌および続発性気胸に対する手術療法	取扱患者数	8
当該医療技術の概要 一般に積極的治療対象とならない中等症以上のCOPDを合併した肺癌症例や続発性気胸に対し、外科的治療を安定して行っている。			
医療技術名	間質性肺炎合併肺癌に対する手術療法	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 一般に積極的治療対象とならない間質性肺炎合併肺癌に対し、肺切除術を安定して行っている。			
医療技術名	フラッシュ血糖モニターFGM (Flash Glucose Monitoring)	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 皮下組織に専用のセンサを装着して、連続的に皮下のグルコース(ブドウ糖)濃度を記録し、非接触型リーダーによって血糖を確認できる技術。			
医療技術名	SAP (Sensor Augmented Pump) 療法	取扱患者数	18
当該医療技術の概要 パーソナル持続血糖モニター機能を搭載したインスリンポンプ療法で、目標血糖値に合わせ基礎インスリン注入量を自動的に調整できるシステム。			
医療技術名	甲状腺穿刺吸引細胞診	取扱患者数	132
当該医療技術の概要 超音波ガイド下に甲状腺腫瘍性病変などの位置を確認しながら、細い注射針で病変部を刺して直接細胞を吸い出し、顕微鏡で観察して良性か悪性かを判断する検査方法。			
医療技術名	選択的副腎静脈サンプリング法	取扱患者数	4
当該医療技術の概要 副腎静脈サンプリングの際に副腎内支脈別採血により、原発性アルドステロン症をより精確に診断でき手術適応か否か判断する技術。			
医療技術名	当該医療技術の概要:筋萎縮性側鎖硬化症患者に対するロボットリハビリ(HAL)	取扱患者数	24
当該医療技術の概要 2018年8月より、筋萎縮性側索硬化症ならびに球脊髄性筋萎縮症患者に対してhybrid assisted limb (HAL)というサイボーグ治療ををリハビリテーション科と共同で行っている。□			
医療技術名	レボドパ・カルビドパ配合経腸用液の経胃瘻空腸投与	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 当該医療技術の概要:パーキンソン病患者に対して、レボドパ・カルビドパ水和物製剤を経胃瘻空腸投与することを目的とした、経鼻栄養・薬剤投与チューブ挿入術、薬剤投与用胃瘻造設術、およびチューブ交換時の経管栄養・薬剤投与用カテーテル交換法			
医療技術名	三次元合成画像を用いた手術シミュレーション	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成し、各症例の手術方法に応じて、骨切りや脳のリトラクトを行い、術前手術シミュレーションを行った。これにより、手術操作の円滑化、他医師およびメディカルスタッフとの情報共有を図った。			

医療技術名	3Dプリンターによる実体モデルを用いた手術シミュレーション	取扱患者数	13
<p>当該医療技術の概要</p> <p>当該医療技術の概要: 前述の三次元合成画像の作成方法と同様に、頭部MRI、CT、DSAの画像データを用いて、三次元合成画像を作成したのち、頭蓋底腫瘍など、特に解剖学的所見の立体的特徴の把握が重要な症例には、3Dプリンターで実体模型を作製し、術前シミュレーションを行った。また、必要に応じて研究室内の手術用顕微鏡およびドリルを用いて、実際の手術手技を行った。</p>			
医療技術名	術中脳機能モニタリング	取扱患者数	25
<p>当該医療技術の概要</p> <p>当該医療技術の概要: 脳腫瘍や未破裂脳動脈瘤の手術のほとんどで、術中モニタリングとして、MEP, SEPを行った。また年間15例ほど手術を行っている脊髄腫瘍では、MEP, MEPとともに、積極的にBCRを行い、膀胱直腸障害のモニタリングを行った。</p>			
医療技術名	神経内視鏡手術	取扱患者数	10
<p>当該医療技術の概要</p> <p>当該医療技術の概要: 神経内視鏡として硬性鏡、軟性鏡を用いて、下垂体腺腫の手術を行った。また、脳内血腫に対しても用いている。</p>			
医療技術名	関節リウマチ及び膠原病に対する免疫抑制薬の適正使用	取扱患者数	700
<p>当該医療技術の概要</p> <p>種々の免疫抑制薬が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、多発性筋炎/皮膚筋炎、血管炎症候群などの膠原病に対して使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。</p>			
医療技術名	関節リウマチ及び膠原病諸疾患に対する生物学的製剤の適正使用	取扱患者数	450
<p>当該医療技術の概要</p> <p>TNF阻害薬などの生物学的製剤が、関節リウマチ、全身性エリテマトーデス、血管炎症候群、ベーチェット病、成人発症Still病、強直性脊椎炎などの膠原病諸疾患に使用されているが、安全性を十分に考慮した適正使用を行った。</p>			
医療技術名	新生児先天性心疾患の内科的管理および外科的治療	取扱患者数	10
<p>当該医療技術の概要</p> <p>新生児期に発症する重症先天性心疾患においては、適切な時期に手術を行うことが可能となるように、より専門的な内科管理が必要である。新生児に対する外科治療では、手術の難易度が高いだけでなく、術中の麻酔も含め、幼児以降の小児患者よりも綿密な管理が必要となってくる。術後においても新生児の未熟性のために回復が遅く急激な悪化を示すことが多いため、リスクを回避するために専門医による管理が必須である。</p>			
医療技術名	肺高血圧症における一酸化窒素療法	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要</p> <p>高度の肺高血圧を伴う先天性疾患において、術後に肺高血圧クリーゼを来すことがある。この発作は致命的な状態であり、一旦発症すると回復することが困難となる。術後、このクリーゼ予防のため、血行動態をより安定化させる必要があり、一酸化窒素療法が重要な治療戦略の一つになっている。適切な投与量をモニタリングしながら、副作用に留意すべき治療であり、専門医による管理が必要である。</p>			
医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル検査	取扱患者数	70
<p>当該医療技術の概要</p> <p>小児の先天性心疾患では、体格が小さいことだけではなく、その解剖学的な複雑性から、カテーテル手技の難易度は極めて高い。アクセスする血管が細く、脆弱であるため、高度の技術を要する。また、検査中に呼吸状態や血行動態が不安定になるリスクが高いため、カテーテル術者だけでなく、看護師、技師を含めたチームでの管理が必要になってくる。</p>			
医療技術名	小児先天性心疾患に対する心臓カテーテル治療	取扱患者数	10
<p>当該医療技術の概要</p> <p>動脈管開存症、肺動脈弁狭窄、肺動脈狭窄などに対する、経皮的コイル塞栓術や経皮的バルーン拡張術を行っている。これらのカテーテル治療では、乳幼児の開心術を回避することができ、先天性心疾患の術後に残存した病変に対しても、再手術を回避することができる。しかし、技術的に難易度が高く、適切な手技と治療デバイスの選択が必要であり、専門医によってのみ行うことが出来る。</p>			

医療技術名	肺高血圧症に対するEpoprostenol持続静注療法	取扱患者数	30
当該医療技術の概要 小児期に発症した肺高血圧症に対して、Epoprostenol持続静注療法の使用経験は他の施設に比して、当院では多い。100万人に1-2人程度の発症率であるが、専門施設としてより多くの症例の経験を積んでいる。本治療にあたり、埋没型カテーテルの挿入が必要であるが、血行動態が不安定な場合、術中に急変するリスクが高い。このため、麻酔科、外科とも綿密な治療計画を立てて、手術にあっている。持続静注の投与量に関しても副作用に留意しながら、症例毎に適切な			
医療技術名	小児難治性白血病に対する集学的治療	取扱患者数	15
当該医療技術の概要 小児白血病を含む小児がん患者に対して多剤併用化学療法を行う。治療は極めて強力であり、骨髄抑制をはじめとして多岐にわたる有害事象が確実に発生するため、これらへの対応が重要である。治療には小児外科、放射線科、脳神経外科、病理部などの協力が不可欠であり、これらの診療科とのカンファレンスを密に行い、最適な治療を行う。一部の患者では自家造血細胞移植も併用する。			
医療技術名	先天性甲状腺機能低下症の診断と治療	取扱患者数	50
当該医療技術の概要 新生児マススクリーニングなどで発見された先天性甲状腺機能低下症の患者さんを対象としている。尿中ヨード測定で母体からのヨード過剰の有無、甲状腺超音波検査で形態異常、位置異常の有無を確認し、病態の把握を行っている。その後、成長発達に留意しながら、甲状腺ホルモンの補充療法を行っている。			
医療技術名	成長ホルモン治療	取扱患者数	35
当該医療技術の概要 成長ホルモン治療の保険適応がある、成長ホルモン分泌不全、ターナー症候群、SGA性低身長症、軟骨異常栄養症などの患者さんを対象にしている。必要に応じて、他のホルモン分泌不全の評価、成長ホルモン分泌刺激試験や、頭部MRI、合併する疾患の有無を確認した後、副作用などに留意して、成長ホルモン治療を行っている。			
医療技術名	生体腎移植	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 高齢者および既存抗体陽性の生体腎移植は増加し、より繊細な術前術後準備を必要とする。			
医療技術名	血液型不適合腎移植	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 ABO血液型不適合腎移植は1989年に初回実施(東邦、女子医、佐賀、大阪大学)し、脾摘、血漿交換の時代を経て、普遍的になった。しかしなお、抗体除去 リツキサン術前処置が必要な高度医療である			
医療技術名	小児腎移植	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 当科は全国で一番の小児腎移植数を誇る。小児科 小児外科 泌尿器科的エキスパートを講座に備え、術前多職種カンファも充実して、これに備えている。			
医療技術名	抗M抗体による習慣性流産の妊娠期からの血漿交換療法	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 母体が抗M抗体(不規則抗体)を持つ場合、児が赤血球溶血を起こし、子宮内胎児死亡に陥る。これを、妊娠期からの血漿交換で除去を継続的にを行い、出産にいたる特殊技術			
医療技術名	自家末梢血幹細胞移植併用大量化学療法	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 再発・難治性の多発性骨髄腫や悪性リンパ腫症例に対し、さらなる治療効果の向上を目指すには強力な化学療法が必要となる。しかし、化学療法の有害事象として代表的な骨髄毒性による血球減少が問題となる。そこで、あらかじめ化学療法、顆粒球コロニー刺激因子やプレリキサホルなどの前処置を実施したうえで体外循環により造血幹細胞を採取し、その後無菌室入室の上、大量化学療法を実施。その後採取した幹細胞を戻し造血機能の回復を図る手技である。			

医療技術名	自律訓練法	取扱患者数	4
<p>当該医療技術の概要 自律訓練法は公式を用いた自己催眠により、人が本来もつ恒常性を機能させ、リラクゼーションを促進する心身医学療法。</p>			
医療技術名	バイオフィードバック療法	取扱患者数	1
<p>当該医療技術の概要 医療機器を使い、僧帽筋における筋電図、手指皮膚温をリアルタイムに測定し、被験者にフィードバックすることで心身相関の気づきを促す心身医学療法。自律訓練法や漸進的筋弛緩法などと併用する。</p>			
医療技術名	Early Psychosis Unit (イルボスコ)	取扱患者数	40
<p>当該医療技術の概要 既存の統合失調症の診断基準において、陽性症状が出現した時期が発症の時期とされている。しかし、その数年前からすでに社会機能の低下や陰性症状、さらには、脳の形態学的変化も生じることが知られている。そのため、近年、精神病前駆状態や病前期についてのサブクルニカル水準での介入が必要であると考えられている。当院イルボスコでは日本国内で、他に先駆け早期介入を行い対象者の精神病発症の予防や支援を行っている。</p>			
医療技術名	クロザピン処方	取扱患者数	30
<p>当該医療技術の概要 クロザピンは、治療抵抗性統合失調症に対し極めて有用な治療法であるが、血球障害や心筋炎をはじめとする重篤な副作用が起きる可能性も極めて高い。したがって、高度なスキルを有する精神科医のみならず、血液内科医、糖尿病専門医が居り、互いに密な連携が可能な医療機関でのみ処方が許可されている。当科ではこれらの診療科と連携し治療抵抗性統合失調症患者にクロザピンの処方を行っている。</p>			
医療技術名	修正型電気痙攣療法	取扱患者数	200
<p>当該医療技術の概要 電気けいれん療法は、前頭部に通電することで人為的にけいれん発作を誘発する治療法である。電気療法は薬剤抵抗性のうつ病などに対して極めて有効であるが、けいれん発作による、循環状態への影響や骨折の影響が生じる恐れがある。そのため当科では、麻酔科と協力し麻酔下で人工呼吸等を含めた呼吸管理、循環動態の観察を行いながら安全に通電する修正型電気けいれん療法を行っている。</p>			
医療技術名	三次救急対応となった身体合併症を有する精神疾患患者への対応	取扱患者数	40
<p>当該医療技術の概要 精神疾患患者に重篤な身体合併症が生じ、三次救急対応が必要となる場合がある。その際には、急性期の精神症状への治療介入が可能な精神科と、迅速にあらゆる身体合併症に対し高度な治療を行うことができる診療科が、緊密に連携して治療を行う必要がある。都内でも三次救急対応となった精神疾患を有する患者へ即応できる医療機関は極めて限られている。当科においては、都内の広範な地域の、三次救急対応を必要とする身体合併症を有する精神疾患患者への対応</p>			
医療技術名	遊離・有茎動脈皮弁術	取扱患者数	40
<p>当該医療技術の概要 外傷、悪性腫瘍切除後欠損、難治性潰瘍、離開創などで、保存的療法や植皮などでは閉創困難な組織欠損に対して、遊離皮弁あるいは有茎皮弁移植を用いて、整容的・機能的に満足度の高い形成手術を行っている。</p>			
医療技術名	顔面神経麻痺に対する側頭筋弁移行術・顔面神経移植術による再建	取扱患者数	2
<p>当該医療技術の概要 顔面神経麻痺による顔面表情の非対称に対して、側頭筋弁移行術・顔面神経移植術により自然な笑いの再現と、対称的な顔貌の再現が可能となる。</p>			
医療技術名	ナビゲーションシステムによる顔面骨手術・陳旧性顔面骨骨折骨切り矯正手術	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要 顔面骨骨折の術中整復位評価と陳旧性顔面骨骨折による変形治療に対する骨切り矯正手術に、ナビゲーションシステムを応用し、よりの確で精度の高い手術が可能となる。</p>			

医療技術名	難治性創傷に対する洗浄療法を併用した陰圧閉鎖療法	取扱患者数	50
<p>当該医療技術の概要</p> <p>軟膏塗布や創傷被覆材による保存的治療で創治癒が得られない難治性創傷に対して、陰圧閉鎖療法(洗浄療法を併用したものを含む)を適用し、wound bed preparationを行い、感染の鎮静化と肉芽増生を図り、適切な時期に植皮や皮弁、縫合処置を行うことで創治癒が得られる。</p>			
医療技術名	皮弁栄養血管の血流視覚化・数値化による皮弁再建手術	取扱患者数	30
<p>当該医療技術の概要</p> <p>皮弁再建手術において、皮弁栄養血管の位置、血管走行、血流量や血流速度・末梢血管抵抗指数など詳細な血行動態を評価することは安全な皮弁移植のために重要である。超音波断層検査やICG血管造影、経皮的皮膚血流測定(レーザー血流計、炭酸ガスモニタ)を用いて周術期の血流評価を行っている。</p>			
医療技術名	色素性疾患に対する治療	取扱患者数	150
<p>当該医療技術の概要</p> <p>赤あざ(血管腫、毛細血管拡張症)に対するダイレーザー(Vbeam)治療や、乳児血管腫に対するβブロッカー(ヘマンジオールシロップ)内服治療、青あざ(太田母斑・異所性蒙古斑)・茶あざ(扁平母斑・ベッカー母斑)に対するアレクサンドライトレーザー治療を行っている。</p>			
医療技術名	内視鏡下椎間板摘出術	取扱患者数	26
<p>当該医療技術の概要</p> <p>腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲手術を目指し、内視鏡視下にヘルニア腫瘍の摘出を行っている。</p>			
医療技術名	脊椎固定術	取扱患者数	155
<p>当該医療技術の概要</p> <p>脊椎変形の不安定性に対して、ケージとスクリーロッドを用いて脊椎を固定し、術前症状の改善を図っている。</p>			
医療技術名	顕微鏡下椎間板摘出術	取扱患者数	1
<p>当該医療技術の概要</p> <p>腰椎椎間板ヘルニア症例に対して、低侵襲化を目指し、顕微鏡視下にヘルニア腫瘍の摘出を行っている。</p>			
医療技術名	コンピュータナビゲーションシステムの使用	取扱患者数	50
<p>当該医療技術の概要</p> <p>脊椎インストゥルメンテーション手術時に個々に最も適したスクリーインプラントの設置を行うため、コンピュータ計測をもとにスクリー刺入を正確に行うためにナビゲーションシステムを使用している。</p>			
医療技術名	自己血回収、輸血	取扱患者数	150
<p>当該医療技術の概要</p> <p>輸血をすることが予測される患者に対して、感染症の予防、輸血量削減を目的に手術中より自己血回収装置を使用している。人工関節置換術後のドレーン血も自己血回収装置を使用し回収しているが、有用な方法である。</p>			
医療技術名	自己血回収、輸血	取扱患者数	226
<p>当該医療技術の概要</p> <p>膝、股、肩、足、肘関節の変形性変化による疼痛、可動域制限などに対して、QOLの向上を目的として人工関節置換術を行い良好な成績を得ている。</p>			

医療技術名	関節リウマチに対する生物学的製剤治療	取扱患者数	180
<p>当該医療技術の概要</p> <p>関節リウマチの関節炎には炎症性サイトカイン(IL-1,IL-6,TNF-α72など)が大きくかかわっていることが知られている。近年、関節リウマチの治療法として、これらの炎症性サイトカインに対する生物学的製剤が臨床応用されている。従来の抗リウマチ薬に抵抗性の関節リウマチ患者に対して生物学的製剤を用い治療している。</p>			
医療技術名	腹腔鏡下手術	取扱患者数	298
<p>当該医療技術の概要</p> <p>腹腔鏡下子宮付属器癒着剥離術・腹腔鏡下子宮付属器腫瘍摘出術 腹腔鏡下卵管全摘除術・腹腔鏡下子宮卵管留血腫手術・腹腔鏡下異所性妊娠手術 腹腔鏡下子宮筋腫摘出術・腹腔鏡下子宮全摘出術・子宮鏡下子宮筋腫摘出術 卵管強化卵管形成術・ロボット支援下腹腔鏡下子宮全摘術</p>			
医療技術名	胎児治療	取扱患者数	37
<p>当該医療技術の概要</p> <p>内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術 胎児胸腔羊水シャント術</p>			
医療技術名	高度生殖補助医療	取扱患者数	1019
<p>当該医療技術の概要</p> <p>採卵・胚移植</p>			
医療技術名	婦人科悪性腫瘍手術	取扱患者数	118
<p>当該医療技術の概要</p> <p>子宮悪性腫瘍手術 子宮付属器悪性腫瘍手術 円錐切除術</p>			
医療技術名	重症自己免疫水疱症の集学的治療	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要</p> <p>重症天疱瘡、類天疱瘡に対し、ステロイド大量療法が効果不十分である場合に、免疫抑制療法、血漿交換療法、大量免疫グロブリン静注療法を行い効果を上げている。</p>			
医療技術名	パッチテスト	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要</p> <p>当科では、スタンダードシリーズによる抗原検索のみならず、成分分析に基づく成分パッチテストを施行し、より詳細な原因特定を行い、患者さんのみならず社会にアレルゲンの動向を追究することにより貢献している。□</p>			
医療技術名	先天性表皮水疱症の超微細形態学的病型診断	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要</p> <p>先天性表皮水疱症は、本邦で1,000人程度の患者数の稀な疾患である。生検皮膚を用いたモノクローナル抗体による蛋白発現の検索および電子顕微鏡による超微細形態観察による病型診断を行っている。□</p>			
医療技術名	ロボット支援膀胱全摘術	取扱患者数	10
<p>当該医療技術の概要</p> <p>当該医療技術の概要:保険適応にはいるが、まだまだ実施施設が全国に普及している術式ではない</p>			

医療技術名	ロボット支援腎部分切除術	取扱患者数	27
<p>当該医療技術の概要 当該医療技術の概要:当該医療技術の概要:保険適応になりダビンチ保有施設では普及しつつあるが、通常の腹腔鏡下腎部分切除術より難易度の高い症例が選択される傾向がある。</p>			
医療技術名	内視鏡下鼻副鼻腔手術V型	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要 副鼻腔炎、副鼻腔腫瘍において前頭洞を単洞化する手術でありE難度手術である</p>			
医療技術名	顔面神経減荷術	取扱患者数	5
<p>当該医療技術の概要 決して高難度手術ではないが治癒しない顔面神経麻痺患者に施行するため、改善を期するために高度医療とした</p>			
医療技術名	喉頭形成術	取扱患者数	30
<p>当該医療技術の概要 発声障害に対する手術であり、良好な音声を得るためには難易度は高い手術と考える。</p>			
医療技術名	内視鏡下下咽頭腫瘍切除術	取扱患者数	10
<p>当該医療技術の概要 以前は外切開で喉頭を摘出し治療を行っていたが、内視鏡技術の向上で経口腔粘膜下で下咽頭評在癌の治療が可能となったが、難易度は高いと考える</p>			
医療技術名	新生児の体腔穿刺	取扱患者数	8
<p>当該医療技術の概要 新生児気胸に対する脱気、胸水腹水に対するドレナージ治療を行った</p>			
医療技術名	新生児重症心疾患の内科的管理及び外科的治療	取扱患者数	20
<p>当該医療技術の概要 チアノーゼまたは重症心不全を呈する新生児早期の先天性心疾患に対するPGE1製剤などによる内科的治療及び新生児早期の開心術、短絡術を随時施行している</p>			
医療技術名	新生児遷延性肺高血圧症における一酸化窒素吸入療法	取扱患者数	7
<p>当該医療技術の概要 新生児遷延性肺高血圧症に対し、微量のNOガスを投与した</p>			
医療技術名	肺サーファクタント補充療法	取扱患者数	35
<p>当該医療技術の概要 新生児呼吸窮迫症候群に対し、気管内人工肺サーファクタント補充療法を行った</p>			

医療技術名	気管支肺異形成症・気胸予防に対する高頻度振動換気療法	取扱患者数	21
当該医療技術の概要 気管支肺異形成症・気胸予防に対し高頻度振動換気療法を行った			
医療技術名	未熟児動脈管開存症に対する薬物的閉鎖療法	取扱患者数	17
当該医療技術の概要 未熟児動脈管開存症に対し、心エコー検査で評価した後イブプロフェン、インドメタシン静注療法で閉鎖させた			
医療技術名	臍動静脈カテーテルによる循環の管理	取扱患者数	7
当該医療技術の概要 臍動脈にカテーテルを挿入し、動脈圧を常時モニター、臍静脈からの循環作動薬を用いて7重症新生児の循環管理を行い予後を改善した			
医療技術名	新生児重症外科的疾患の治療並びに管理	取扱患者数	19
当該医療技術の概要 先天的奇形に基づく、新生児の消化器、呼吸器、体壁などの重症疾患を手術的に救命し、術後の管理を行う			
医療技術名	水頭症に対するリザーバ留置術	取扱患者数	2
当該医療技術の概要 出血後水頭症に対し、リザーバ留置による治療を行った			
医療技術名	中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)による高カロリー輸液	取扱患者数	59
当該医療技術の概要 中心静脈カテーテル(臍静脈カテーテルを含む)を挿入し、高カロリー輸液を実施することにより、低栄養状態を改善させた			
医療技術名	未熟児網膜症に対するレーザーによる光凝固療法・眼内抗VGF抗体注射	取扱患者数	6
当該医療技術の概要 重症の未熟児網膜症に対し、眼科と協力してレーザーによる光凝固療法を実施して、失明を予防した			
医療技術名	重症新生児仮死例に対する低体温療法	取扱患者数	3
当該医療技術の概要 重症仮死例に早期より低体温療法を行い予後の改善をはかる			
医療技術名	胎児(心臓)超音波検査	取扱患者数	190
当該医療技術の概要 胎児心臓超音波検査などにより 正確な胎内診断に基づく出生後の管理につなげた			

医療技術名	aEEG(長時間脳波)による新生児けいれんの記録解析	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 重症新生児仮死や新生児けいれんに対して発作型や治療効果判定に応用した			
医療技術名	実態模型を使った顎再建	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 CTのDICOMデータを用いた実態模型を石膏により作成して、そのうえで、歯肉がんなどの顎骨離断を行った予想を表現し、チタンメッシュトレーやプレートなどを屈曲して硬性再建(骨移植を含む)を行った。			
医療技術名	顎欠損に対する顎骨支持型補綴装置を用いた咬合再建	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 顎骨支持型補綴装置(インプラント埋入を含む)を用いた咬合再建を行った。			
医療技術名	心肺停止症例に対する対応及び蘇生後管理、治療	取扱患者数	100
当該医療技術の概要 東京消防庁のホットライン要請による病院前心肺停止例を24時間体制で受け入れ、二次救命処置による。蘇生術を行い心拍再開例については引き続き集中治療を行い完全社会復帰を目標に行っている。低体温療法も適応によって導入している。			
医療技術名	急性肺障害に対するVV-ECMOを用いた管理、治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 人工呼吸器、呼吸理学療法を用いても改善不能な急性呼吸不全に対して、VV-ECMOによる支持療法で薬物療法を併行して行いながら重症ARDSに対して治療をおこなっている。COVID19流行に伴い昨年度より増加している。			
医療技術名	敗血症性ショック、心原性ショックにおける体外循環(ECMO、IABP)	取扱患者数	40
当該医療技術の概要 敗血症に対してはvolume resuscitationを行い加療している。カテコラミンに反応しない症例に対して機械的補助としてVA-ECMO(PCPS)を導入し治療をしている。また、急性冠症候群、難治性心室細動に対してPCPS、IABPを挿入しCAG、PCI、その後の集中治療管理につなげ社会復帰できるよう治療している。			
医療技術名	出血性ショックに対する血管内治療	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 不安定型骨盤骨折、外傷性脾損傷、腎損傷など外傷を主に血管内治療が可能な損傷に対して気管挿管し呼吸管理をしながら血管内治療を施行し、出血のコントロールをおこなっている。			
医療技術名	腹腔内出血及び骨盤骨折に対する大動脈遮断カテーテル管理	取扱患者数	10
当該医療技術の概要 ショックを呈した横隔膜以下の外傷による出血性臓器損傷や腹部大動脈瘤破裂に対して血管内治療、手術に移行するまでのバイタル維持のために救急外来で挿入している。			
医療技術名	重症敗血症に対する病態対応、治療	取扱患者数	20
当該医療技術の概要 重症敗血症治療は呼吸・循環管理、抗菌薬投与などの集学的治療を行う必要がこの重症敗血症の患者血清から急性酸化ストレスマーカーを測定			

医療技術名	急性薬物中毒における管理、治療	取扱患者数	80
当該医療技術の概要 一般中毒はもとより、自家製の青酸中毒キット、アセトアミノファン中毒キットを常備し、中毒物値をモニターしながら治療法を選択し、特殊な急性中毒に対処している。			
医療技術名	重症熱傷に対する管理、治療	取扱患者数	5
当該医療技術の概要 BSA20%以上あるいは気道熱傷合併症例など重症熱傷に対して就学的な治療をおこなってる。初期よりデブリドマンを施行し自家皮膚培養も積極的におこない治療をおこなっている。			
医療技術名	加算的平均心電図(LP)	取扱患者数	188
当該医療技術の概要 心室細動、心室頻拍、発作性心房細動などの重症不整脈が出現する可能性を診断するために、心房、心室の遅延電位を計測する。			
医療技術名	超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた超音波検査	取扱患者数	812
当該医療技術の概要 超音波造影剤(ソナゾイド/レボビスト)を用いた消化器系腫瘍の質的診断と腫瘍凝固療法等の治療後効果判定やびまん性肝疾患(肝炎・肝硬変)の進行度評価法の検討。			
医療技術名	超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での肝腫瘍治療	取扱患者数	26
当該医療技術の概要 超音波機器を用いてのマイクロ波(PMCT)、ラジオ波(RFA、RITA)での経皮的肝腫瘍の治療。			
医療技術名	睡眠障害に対する終夜睡眠ポリグラフ検査	取扱患者数	102
当該医療技術の概要 終夜約8時間の脳波を含むポリグラフ記録を行い、不眠、過眠などの睡眠障害および睡眠随伴性の診断を行う。			
医療技術名	術中脳脊髄機能モニタリングとしてABR,SSEP,MEPの誘発電位記録	取扱患者数	103
当該医療技術の概要 ABR,SSEP,MEPの誘発電位記録を脳脊髄手術中に行い術後の神経欠落症状の出現を防ぐ。			
医療技術名	経食道心臓超音波検査(テポテ中含む)	取扱患者数	286
当該医療技術の概要 先天性疾患、弁膜症、人工弁置換術後、左心耳内血栓など通常の経胸壁エコー検査では、詳細な情報が得られない場合、経食道的アプローチは有用となる。			
医療技術名	睡眠潜時反復測定法(MSLT)	取扱患者数	1
当該医療技術の概要 客観的な日中の過度の眠気測定、特にナルコレプシーの補助診断のため、脳波記録を2時間ごとに繰り返し行い、眠りにつくまでの時間とそれに伴う臨床症状を記録する。			

医療技術名	光トポグラフィー	取扱患者数	61
当該医療技術の概要			
うつ症状における原因疾患の鑑別、脳神経外科術前における言語優位半球の同定、てんかん焦点の推定に有用。			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	106
取扱い患者数の合計(人)	7,972

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	8	56	ベーチェット病	59
2	筋萎縮性側索硬化症	91	57	特発性拡張型心筋症	20
3	脊髄性筋萎縮症	4	58	肥大型心筋症	4
4	原発性側索硬化症	5	59	拘束型心筋症	1
5	進行性核上性麻痺	11	60	再生不良性貧血	24
6	パーキンソン病	140	61	自己免疫性溶血性貧血	3
7	大脳皮質基底核変性症	8	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	2
8	ハンチントン病	1	63	特発性血小板減少性紫斑病	31
9	神経有棘赤血球症		64	血栓性血小板減少性紫斑病	1
10	シャルコー・マリー・トウス病	4	65	原発性免疫不全症候群	5
11	重症筋無力症	77	66	IgA腎症	27
12	先天性筋無力症候群		67	多発性嚢胞腎	44
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	55	68	黄色靭帯骨化症	12
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	7	69	後縦靭帯骨化症	45
15	封入体筋炎	3	70	広範脊柱管狭窄症	3
16	クロー・深瀬症候群		71	特発性大腿骨頭壊死症	22
17	多系統萎縮症	16	72	下垂体性ADH分泌異常症	9
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	17	73	下垂体性TSH分泌亢進症	
19	ライソゾーム病	2	74	下垂体性PRL分泌亢進症	2
20	副腎白質ジストロフィー		75	クッシング病	2
21	ミトコンドリア病	3	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	1
22	もやもや病	13	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	6
23	プリオン病		78	下垂体前葉機能低下症	37
24	亜急性硬化性全脳炎		79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	
26	HTLV-1関連脊髄症		81	先天性副腎皮質酵素欠損症	2
27	特発性基底核石灰化症		82	先天性副腎低形成症	
28	全身性アミロイドーシス	9	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病		84	サルコイドーシス	39
30	遠位型ミオパチー		85	特発性間質性肺炎	119
31	ベスレムミオパチー		86	肺動脈性肺高血圧症	37
32	自己食空胞性ミオパチー		87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	
33	シュワルツ・ヤンペル症候群		88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	24
34	神経線維腫症	2	89	リンパ脈管筋腫症	2
35	天疱瘡	9	90	網膜色素変性症	21
36	表皮水疱症	25	91	パッド・キアリ症候群	
37	膿疱性乾癬(汎発型)	4	92	特発性門脈圧亢進症	4
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	2	93	原発性胆汁性胆管炎	41
39	中毒性表皮壊死症		94	原発性硬化性胆管炎	5
40	高安動脈炎	21	95	自己免疫性肝炎	34
41	巨細胞性動脈炎	9	96	クローン病	79
42	結節性多発動脈炎	13	97	潰瘍性大腸炎	230
43	顕微鏡的多発血管炎	35	98	好酸球性消化管疾患	3
44	多発血管炎性肉芽腫症	12	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	30	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	
46	悪性関節リウマチ	13	101	腸管神経節細胞減少症	
47	バージャー病	3	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	5	103	CFC症候群	
49	全身性エリテマトーデス	298	104	コストロ症候群	
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	108	105	チャージ症候群	
51	全身性強皮症	94	106	クリオピリン関連周期熱症候群	
52	混合性結合組織病	34	107	若年性特発性関節炎	4
53	シェーグレン症候群	57	108	TNF受容体関連周期性症候群	
54	成人スチル病	30	109	非典型溶血性尿毒症症候群	
55	再発性多発軟骨炎	3	110	ブラウ症候群	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	1	166	弾性線維性仮性黄色腫	
112	マリネスコ・シェーグレン症候群		167	マルファン症候群	
113	筋ジストロフィー	16	168	エーラス・ダンロス症候群	
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群		169	メンケス病	
115	遺伝性周期性四肢麻痺		170	オクシピタル・ホーン症候群	
116	アトピー性脊髄炎		171	ウィルソン病	10
117	脊髄空洞症		172	低ホスファターゼ症	
118	脊髄髄膜瘤		173	VATER症候群	
119	アイザックス症候群		174	那須・ハコラ病	
120	遺伝性ジストニア		175	ウィーバー症候群	
121	神経フェリチン症		176	コフィン・ローリー症候群	
122	脳表ヘモジデリン沈着症		177	ジュベール症候群関連疾患	
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性 白質脳症		178	モワット・ウィルソン症候群	
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優 性脳動脈症		179	ウィリアムズ症候群	1
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性び まん性白質脳症		180	ATR-X症候群	
126	ペリー症候群		181	クルーゾン症候群	
127	前頭側頭葉変性症	1	182	アペール症候群	
128	ピッカースタッフ脳幹脳炎		183	ファイファー症候群	
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症		184	アントレー・ビクスラー症候群	
130	先天性無痛無汗症		185	コフィン・シリス症候群	
131	アレキサンダー病		186	ロスマンド・トムソン症候群	
132	先天性核上性球麻痺		187	歌舞伎症候群	
133	メビウス症候群		188	多脾症候群	
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群		189	無脾症候群	
135	アイカルディ症候群		190	鰓耳腎症候群	
136	片側巨脳症		191	ウェルナー症候群	
137	限局性皮質異形成		192	コケイン症候群	
138	神経細胞移動異常症		193	プラダー・ウイリ症候群	
139	先天性大脳白質形成不全症		194	ソトス症候群	
140	ドラベ症候群		195	ヌーナン症候群	
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん		196	ヤング・シンプソン症候群	
142	ミオクロニー欠伸てんかん		197	1p36欠失症候群	
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん		198	4p欠失症候群	
144	レノックス・ガストー症候群		199	5p欠失症候群	
145	ウエスト症候群		200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	
146	大田原症候群		201	アンジェルマン症候群	
147	早期ミオクロニー脳症		202	スミス・マギニス症候群	
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん		203	22q11.2欠失症候群	
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群		204	エマヌエル症候群	
150	環状20番染色体症候群		205	脆弱X症候群関連疾患	
151	ラスムッセン脳炎		206	脆弱X症候群	
152	PCDH19関連症候群	1	207	総動脈幹遺残症	
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎		208	修正大血管転位症	2
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん 性脳症		209	完全大血管転位症	1
155	ランドウ・クレフナー症候群		210	単心室症	3
156	レット症候群		211	左心低形成症候群	
157	スタージ・ウェーバー症候群	1	212	三尖弁閉鎖症	1
158	結節性硬化症	2	213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	1
159	色素性乾皮症		214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	
160	先天性魚鱗癬	1	215	ファロー四徴症	4
161	家族性良性慢性天疱瘡		216	両大血管右室起始症	2
162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	19	217	エプスタイン病	
163	特発性後天性全身性無汗症	1	218	アルポート症候群	4
164	眼皮皮膚白皮症	1	219	ギャロウェイ・モワット症候群	
165	肥厚性皮膚骨膜症		220	急速進行性糸球体腎炎	2

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
221	抗糸球体基底膜腎炎		276	軟骨無形成症	
222	一次性ネフローゼ症候群	59	277	リンパ管腫症/ゴーム病	
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	3	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	
224	紫斑病性腎炎	5	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	
225	先天性腎性尿崩症		280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	1	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	
227	オスラー病		282	先天性赤血球形成異常性貧血	
228	閉塞性細気管支炎		283	後天性赤芽球癆	2
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)		284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	
230	肺胞低換気症候群		285	ファンコニ貧血	
231	$\alpha 1$ -アンチトリプシン欠乏症		286	遺伝性鉄芽球性貧血	
232	カーニー複合		287	エプスタイン症候群	3
233	ウォルフラム症候群		288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	1
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)		289	クロンカイト・カナダ症候群	
235	副甲状腺機能低下症		290	非特異性多発性小腸潰瘍症	
236	偽性副甲状腺機能低下症		291	ヒルシュスプルング病(全結腸型又は小腸型)	1
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症		292	総排泄腔外反症	
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症		293	総排泄腔遺残	
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症		294	先天性横隔膜ヘルニア	
240	フェニルケトン尿症		295	乳幼児肝巨大血管腫	
241	高チロシン血症1型		296	胆道閉鎖症	2
242	高チロシン血症2型		297	アラジール症候群	
243	高チロシン血症3型		298	遺伝性膀胱炎	
244	メープルシロップ尿症		299	嚢胞性線維症	
245	プロピオン酸血症		300	IgG4関連疾患	22
246	メチルマロン酸血症		301	黄斑ジストロフィー	1
247	イソ吉草酸血症		302	レーベル遺伝性視神経症	
248	グルコーストランスポーター1欠損症		303	アッシュャー症候群	
249	グルタル酸血症1型		304	若年発症型両側性感音難聴	
250	グルタル酸血症2型		305	遅発性内リンパ水腫	1
251	尿素サイクル異常症		306	好酸球性副鼻腔炎	67
252	リジン尿性蛋白不耐症		307	カナバン病	
253	先天性葉酸吸収不全		308	進行性白質脳症	
254	ポルフィリン症		309	進行性ミオクローヌステんかん	
255	複合カルボキシラーゼ欠損症		310	先天異常症候群	
256	筋型糖原病		311	先天性三尖弁狭窄症	
257	肝型糖原病		312	先天性僧帽弁狭窄症	
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症		313	先天性肺静脈狭窄症	
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症		314	左肺動脈右肺動脈起始症	
260	シトステロール血症		315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)/L MX1B関連腎症	
261	タンジール病		316	カルニチン回路異常症	
262	原発性高カイロミクロン血症		317	三頭酵素欠損症	
263	脳腫黄色腫症		318	シトリン欠損症	
264	無 β リポタンパク血症		319	セピアブテリン還元酵素(SR)欠損症	
265	脂肪萎縮症	1	320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	
266	家族性地中海熱	1	321	非ケト-シス型高グリシン血症	
267	高IgD症候群		322	β -ケトチオラーゼ欠損症	
268	中條・西村症候群		323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	
269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群		324	メチルグルタコン酸尿症	
270	慢性再発性多発性骨髄炎		325	遺伝性自己炎症疾患	
271	強直性脊椎炎	22	326	大理石骨病	
272	進行性骨化性線維異形成症		327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	
273	肋骨異常を伴う先天性側弯症		328	前眼部形成異常	1
274	骨形成不全症		329	無虹彩症	1
275	タナトフォリック骨異形成症		330	先天性気管狭窄症/先天性声門下狭窄症	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾 患 名	患者数
331	特発性多中心性キャスルマン病	5
332	膠様滴状角膜ジストロフィー	
333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	
334	脳クレアチン欠乏症候群	
335	ネフロン癆	2
336	家族性低 β リポタンパク血症1(ホモ接合体)	
337	ホモシステニン尿症	
338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	

(注) 「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	122
合計患者数(人)	2566

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・歯科外来診療環境体制加算2
・特定機能病院入院基本料(一般7対1、精神7対1)	・救急医療管理加算
・超急性期脳卒中加算	・診療録管理体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1(30対1)	・急性期看護時補助体制加算(25対1 5割以上)
・看護職員夜間配置加算(12対1 配置加算1)	・急性期看護補助体制充実加算
・療養環境加算	・重症者等療養環境特別加算
・無菌治療室管理加算1・2	・緩和ケア診療加算
・精神科身体合併症管理加算	・精神科リエゾンチーム加算
・摂食障害入院医療管理加算	・栄養サポートチーム加算
・医療安全対策加算1	・感染防止向上加算
・がん診療連携拠点病院加算	・患者サポート体制充実加算
・褥瘡ハイリスク患者ケア加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・ハイリスク分娩管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・後発医薬品使用体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1・2
・データ提出加算2	・入退院支援加算
・認知症ケア加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・精神疾患診療体制加算	・精神科急性期医師配置加算2のイ
・地域医療体制確保加算	・救命救急入院料3・4
・特定集中治療室管理料2	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・総合周産期特定集中治療室管理料1・2	・新生児治療回復室入院医療管理料
・小児入院医療管理料1	・看護職員処遇改善評価料
・重症患者初期支援充実加算	・術後疼痛管理チーム加算
・脳卒中ケアユニット入院医療管理料	・
・	・
・	・
・	・

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療科)

施設基準の種類	施設基準の種類
・歯科疾患管理料の注11に規定する総合医療管理加算及び歯科治療時医療管理料	・ウイルス疾患指導料
・外来栄養食事指導料の注2に規定する施設基準	・喘息治療管理料
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・糖尿病合併症管理料
・がん性疼痛緩和指導管理料	・がん患者指導管理料イロハニ
・外来緩和ケア管理料	・移植後患者指導管理料(臓器移植後)
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・糖尿病透析予防指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・乳腺炎重症化予防ケア・指導料
・婦人科特定疾患治療管理料	・腎代替療法指導管理料
・地域連携小児夜間・休日診療料2	・地域連携夜間・休日診療料
・院内トリアージ実施料	・外来放射線照射診療料
・ニコチン依存症管理料	・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算
・がん治療連携計画策定料	・肝炎インターフェロン治療計画料
・ハイリスク妊産婦連携指導料1・2	・薬剤管理指導料
・医療機器安全管理料1・2	・医療機器安全管理料(歯科)
・精神科退院時共同指導料1及び2	・在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2
・在宅血液透析指導管理料	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・遺伝学的検査	・骨髄微小残存病変量測定
・BRCA1/2遺伝子検査	・がんゲノムプロファイリング検査
・先天性代謝異常症検査	・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・検体検査管理加算(1)(4)
・国際標準検査管理加算	・遺伝カウンセリング加算
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・一般不妊治療管理料
・生殖補助医療管理料1・2	・外来腫瘍化学療法診療料1
・連携充実加算(外来腫瘍化学療法診療料)	・染色体検査の注2に規定する基準

施設基準の種類	施設基準の種類
・療養生活継続支援加算	・導入期加算3及び腎代替療法実績加算
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法
・下肢創傷処置管理料	
・胎児心エコー法	・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト
・ヘッドアップティルト試験	・人工膵臓検査、人工膵臓療法
・長期継続頭蓋内脳波検査	・脳波検査判断料1
・光トポグラフィー	・終夜睡眠ポリグラフィー(安全精度管理下で行うもの)
・神経学的検査	・ロービジョン検査判断料
・黄斑局所網膜電図	・内服・点滴誘発試験
・小児食物アレルギー負荷検査	
・経気管支凍結生検法	・画像診断管理加算1・2
・ポジトロン断層撮影	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影
・CT撮影及びMRI撮影	・冠動脈CT撮影加算
・血流予備量比コンピューター断層撮影	・外傷全身CT加算
・心臓MRI撮影加算	・乳房MRI撮影加算
・小児鎮静下MRI撮影加算	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
・外来化学療法加算1	・連携充実加算
・無菌製剤処理料	・心大血管疾患リハビリテーション料(1)
・脳血管疾患等リハビリテーション料(1)	・運動器リハビリテーション料(1)
・呼吸器リハビリテーション料(1)	・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下支援加算
・がん患者リハビリテーション料	・歯科口腔リハビリテーション料2
・児童思春期精神科専門管理加算	・認知療法・認知行動療法1
・精神科ショート・ケア「大規模なもの」	・精神科デイ・ケア「大規模なもの」
・抗精神病特定薬剤治療指導管理料(治療抵抗性統合失調症治療指導管理料に限る。)	・医療保護入院等診療料
・硬膜外自家血注入	・エタノールの局所注入(甲状腺)
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・人工腎臓
・導入期加算2及び腎代替療法実績加算	・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算
・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)	・CAD/CAM冠
・センチネルリンパ節加算	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・椎間板内酵素注入療法	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術	・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(過活動膀胱)	・角膜移植術(内皮移植加算)
・羊膜移植術	・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))
・緑内障手術(水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術
・喉頭形成手術(甲状軟骨固定用器具を用いたもの)	・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)
・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(乳がんセンチネルリンパ節加算1)	・乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)(センチネルリンパ節生検(併用))
・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(乳がんセンチネルリンパ節加算2)	・乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検(単独)(センチネルリンパ節生検(単独))
・内視鏡下筋層切開術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・胸腔鏡下弁形成術	・経カテーテル大動脈弁置換術
・胸腔鏡下弁置換術	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・経皮的中隔心筋焼灼術	・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術	・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)
・補助人工心臓	・経皮的下肢動脈形成術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(傍大動脈)	・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下肝切除術
・体外衝撃波膵石破碎術	・腹腔鏡下膵腫瘍摘出術
・腹腔鏡下膵体尾部腫瘍切除術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

施設基準の種類	施設基準の種類
・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・同種死体腎移植術	・生体腎移植術
・膀胱水压拡張術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	・人工尿道括約筋植込・置換術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下仙骨腫固定術	・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・内視鏡的胎盤吻合血管レーザー焼灼術
・胎児胸腔・羊水腔シャント術	・胎児輸血術
・胃瘻造設術(経皮的内視鏡下胃瘻造設術、腹腔鏡下胃瘻造設術を含む。)(医科点数表第2章第10部手術の通則の16に規定する手術)	・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に規定する手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	
・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)	・角結膜悪性腫瘍切除手術
・緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術)	・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・内視鏡下鼻・副鼻腔手術5型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うもの)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・不整脈手術 左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・内視鏡的逆流防止粘膜切除術
・腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合))及び腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)
・内視鏡的小腸ポリープ切除術	・膀胱頸部形成術(膀胱頸部吊上術以外)、埋没陰茎手術及び陰嚢水腫手術(鼠径部切開によるもの)
・精巣内精子採取術	・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術
・体外式膜型人工肺管理料	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・輸血管理料1	
・輸血適正使用加算	・自己生体組織接着剤作成術
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・同種クリオプレシピテート作製術

施設基準の種類	施設基準の種類
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・胃瘻造設時嚥下機能評価加算
・歯周組織再生誘導手術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・麻酔管理料(1)(2)	・放射線治療専任加算
・外来放射線治療加算	・高エネルギー放射線治療
・1回線量増加加算	・強度変調放射線治療(IMRT)
・画像誘導放射線治療(IGRT)	・体外照射呼吸性移動対策加算
・定位放射線治療	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・病理診断管理加算2	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・口腔病理診断管理加算2	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・保険医療機関間の連携による病理診断	・デジタル病理画像による病理診断
・保険医療機関の連携におけるデジタル病理画像による術中迅速病理組織標本作成	

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
1	独自に発見した全く新しいphenotypeのNK様細胞を用いた養子免疫技術の実用化開発:第I相医師主導治験	島田 英昭	医学部医学科外科学講座 一般・消化器外科学分野	1,300	補助元: 委託元:国立研究開発法人日本医療研究開発機構 橋渡し研究プログラム
2	新開発超音波用穿刺ガイドを用いた腹腔鏡下肝内門脈穿刺術トレーニングシステムの構築	大塚由一郎	医学部医学科外科学講座 一般・消化器外科学分野	1,430	補助元:独立行政法人日本学術振興会 学術研究助成基金助成金 基盤研究C 委託元:
3	AIを用いた心臓CTイメージングによる冠動脈硬化の新たな定量的評価システムの構築	中西 理子	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,560	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
4	慢性肺血栓塞栓性肺高血圧症における効果的な治療のための画像評価方法の開発	橋本 英伸	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,300	補助元:令和2年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
5	123I-BMIPPを用いた下肢閉塞性動脈硬化症における新たな診断法の構築	大久保 亮	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,300	補助元:令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
6	がん治療関連心筋障害の早期検出における高分解能心電計を用いた新規心電学指標の同定	木下 利雄	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	780	補助元:令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
7	心筋脂肪酸代謝シンチグラフィによる心房細動合併HFpEFの新たな予後予測法の開発	篠原 正哉	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,430	補助元:令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
8	ABCG2阻害とインドキシル硫酸の蓄積からみた尿酸降下薬の心血管病予防効果の解明	小池 秀樹	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,430	補助元:令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
9	癌患者の深部静脈血栓症の発症・進展におけるACE2の関与の解明	久武 真二	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	2,080	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
10	冠微小循環と画像診断を駆使した冠動脈慢性完全閉塞の多角的評価と治療効果判定の解明	矢部 敬之	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	2,730	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
11	HFpEF合併心房細動の予後改善における冠微小循環を指標とした治療戦略の確立	和田 遼	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	1,820	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
12	安定狭心症における運動負荷カテーテル法を駆使した心筋虚血の層別化と治療の最適化	松本 新吾	東邦大学 医学部(内科学 講座循環器内科学分野)	3,900	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金)(基盤研究 委託元:
13	循環腫瘍細胞を用いたEGFR遺伝子変異陽性肺癌におけるLINC0046の研究	磯部 和順	呼吸器内科	910	補助元:文部科学省 委託元:
14	気管支末梢部に自動で到達可能な自走式カテーテルの創製	高井 雄二郎	呼吸器内科	1,000	補助元:科学研究費助成事業 委託元:
15	肺線維症におけるmicroRNA機能に着目した分子標的治療法開発に向けた基盤研究	一色 琢磨	呼吸器内科	429	補助元:文部科学省科学研究費補助金 委託元:
16	メタボローム解析を用いた特発性間質性肺炎急性増悪の病態解明	三好 嗣臣	呼吸器内科	2,340	補助元:文部科学省科学研究費補助金 委託元:
17	下気道細菌叢が肺MAC症の治療効果に与える影響の検討	卜部 尚久	呼吸器内科	2,200	補助元:文部科学省科学研究費補助金 委託元:

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
18	慢性炎症性肺疾患合併肺癌における microbiomeの機能解析	東 陽子	呼吸器外科	4550 (千円)	補助元:令和3年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 委託元:
19	小型肺腺癌における血中循環腫瘍細胞の 意義と個別化医療への応用	肥塚 智	呼吸器外科	4680 (千円)	補助元:令和4年度科学研究費助成事業 (学術研究助成基金助成金) 委託元:
20	皮下3次元情報を用いたインスリン・認知症 ワクチン機序の解明	内野泰	東邦大学医療センター大森 病院 糖尿病・代謝・内分 泌センター	1,950千円(直接経 費:1,500千円、間接 経費:450千円)	補助元:日本学術振興会(文科省科研 費) 委託元:
21	酸化ストレス性細胞死抑制因子を指標とし た神経変性疾患のバイオマーカーの同定	狩野 修	脳神経内科	1,000	補助元:文科省科研費 委託元:
22	2種類の方位選択性網膜神経細胞の機能 における差異の同定を目指して	狩野 修	脳神経内科	50	補助元:文科省科研費 委託元:
23	拡散時間を用いた組織微細構造イメージン グ:筋萎縮性側索硬化症での検討	花城里依	脳神経内科	500	補助元:文科省科研費 委託元:
24	MRIによる脳白質微細構造解析をもとにし た新規ALS診断ツールの開発	花城里依	脳神経内科	1,000	補助元:公益信託宮田幸比古記念ALS研 究助成基金 委託元:
25	「ロボットスーツによる ALS の歩行障害に 対する機能維持環境の最適化	平山剛久	脳神経内科	500	補助元:ALS基金 委託元:
26	難治性血管炎の医療水準・患者QOL向上 に資する研究	分担:南木敏宏	膠原病科	200	補助元:厚生労働科学研究費補助金(難 治性疾患等政策研究事業) 委託元:
27	ステロイド性骨粗鬆症におけるWntシグナ ルを標的とした治療法の有効性の解明	代表:川添麻衣	膠原病科	1,066	補助元:科学研究費補助金(若手研究) 委託元:
28	RAIに併発する間質性肺炎に関与する細胞 老化機構の解明	代表:渡邊萌理	膠原病科	1,950	補助元:科学研究費補助金(若手研究) 委託元:
29	関節リウマチに合併する間質性肺炎の気 道細菌叢による制御機構	代表:西尾純子	免疫疾患病態制御学講座 (寄付講座)	1,910	補助元:科学研究費補助金(基盤研究C) 委託元:
30	腸上皮細胞による腸内細菌叢の調節と免 疫恒常性の維持機構	代表:西尾純子	免疫疾患病態制御学講座 (寄付講座)	700	補助元:学術研究振興資金 委託元:
31	川崎病冠動脈瘤を予防するための急性期 難治例予測診断法の開発研究	高月晋一	小児科	200	補助元:AMED 委託元:
32	先天性心疾患を伴う肺高血圧症例の多施 設症例登録研究	高月晋一	小児科		補助元:AMED 委託元:
33	胆汁酸取込みを利用した白血病細胞の新 規悪性度評価法の確立	羽賀洋一	小児科	500	補助元:独立行政法人日本学術振興会 委託元:
34	小児腎領域の希少・難治性疾患群の診療・ 研究体制の発展(20FC1028)	濱崎祐子	腎臓学	350	補助元:厚労科研費 委託元:北里大学医学部

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
35	「R4年度厚生労働行政推進事業費補助金(腎疾患政策研究事業)分担)研究報告書 診療水準向上・高齢CKD患者・透析・移植患者のQOL向上に関する研究」	酒井 謙	腎臓学	400	補助元:厚労行政推進事業 委託元:川崎医科大学
36	種々の症状を呈する難治性疾患における中枢神経感作の役割の解明と患者ケアの向上を目指した複数疾患領域統合多施設共同疫学研究	端詰勝敬	心身医学講座	300	補助元:厚生労働科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業) 委託元:
37	非定型うつ病と中枢性感作症候群の心理社会的特徴と関連性の研究	竹内武昭	心身医学講座	2,600	補助元:日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 委託元:
38	デジタルデバイスによる機能性めまいの難治化の要因解明と心理データベースの構築	橋本和明	心身医学講座	2,860	補助元:日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究 委託元:
39	精神障害にも対応した地域包括ケアシステムにおける若年者等に対する早期相談・支援サービスの導入及び検証のための研究	根本隆洋	精神神経医学講座	6,000	補助元:厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(研究課題番号:19010001) 委託元:
40	AYA世代の精神疾患高リスク群における予防的睡眠マネジメントに関する研究	根本隆洋	精神神経医学講座	5,175	補助元:国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)障害者対策総合研究事業 委託元:
41	社会認知機能に関する新たな検査バッテリーの開発	根本隆洋	精神神経医学講座	1,300	補助元:日本医療研究開発機構 障害者対策総合研究開発事業 委託元:
42	統合失調症の病前診断のマーカー開発:世界初AMPA受容体PET研究	根本隆洋	精神神経医学講座	1,040	補助元:日本学術振興会 科学研究費助成事業 挑戦的研究(開拓)(研究課題番号:19010001) 委託元:
43	精神病発症危険状態(ARMS)の回復と皮質-線条体-視床回路の変化に関する研究	片桐直之	精神神経医学講座	1,713	補助元:科学研究費助成事業(学術研究助成基金助成金)(研究課題番号:19010001) 委託元:
44	若年メンタルヘルス援助希求者の包括的臨床ステージと社会機能の評価	内野敬	精神神経医学講座	1,690	補助元:日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(研究課題番号:19010001) 委託元:
45	地域で見過ごされている社会的ひきこもりに「あるがまま」の心を育む包括的支援方法の開発	内野敬	精神神経医学講座	300	補助元:公益財団法人メンタルヘルス岡本記念財団 研究・活動助成 委託元:
46	血管新生能を有する骨髄間葉系前駆細胞を用いた血管新生療法の開発	荻野 晶弘	形成外科	1,430	補助元:文部省科学研究費 委託元:
47	一絨毛膜双胎における胎児循環不全の病態解明についての研究	中田 雅彦	産婦人科	900	補助元:文部科学省 学術研究助成基金助成金 基盤研究(C) 委託元:
48	胎児心拍数モニタリングによる胎児酸血症の予測法の確立	伊藤 歩	産婦人科	1,500	補助元:公益財団法人今井精一記念財団 委託元:
49	稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	石河 晃	皮膚科学講座	500,000	補助元:厚生労働省科研費 委託元:
50	拡散時間を用いた組織微細構造イメージング:筋萎縮性側索硬化症での検討	神谷 昂平	放射線科	1,000	補助元:日本学術振興会(科研費) 委託元:
51	新生児低酸素性虚血性脳症の早期重症度診断法の開発	増本健一	新生児科	500	補助元:AMED 委託元:

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

No.	研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額 (単位:千円)	補助元又委託元
52	乳児における母乳型脂質摂取の評価	増本健一	新生児科	2,000	補助元: 委託元:糧食研究会
53	成果が実証された口腔トリアージ法を基盤とした周術期口腔管理支援AIアプリの開発	関谷秀樹	口腔外科学研究室	4,160	補助元:科学研究費 2022年度 基盤研究(C) 委託元:
54	One Healthに基づくクロストリディオイデス・ディフィシル伝播様式の解明	吉澤 定子	臨床検査部	直接経費30万円、間接経費9万円	補助元:文科省学術研究助成基金助成金 委託元:
55					補助元: 委託元:
56					補助元: 委託元:
57					補助元: 委託元:
58					補助元: 委託元:
59					補助元: 委託元:

計 54件

- (注) 1. 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
2. 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
3. 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別
1	Taniguchi R, Muramatsu H, Okuno Y, Yoshida T, Wakamatsu M, Hamada M, Shirota C, Sumida W, Hinoki A, Tainaka T†, Gotoh Y, Tsuzuki T, Tanaka Y, Kojima S, Uchida H, Takahashi Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	A patient with very early onset FH-deficient renal cell carcinoma diagnosed at age seven.	Familial cancer	20220700	Original Article
2	Morise Z, Aldrighetti L, Belli G, Ratti F, Cheung TT, Lo CM, Tanaka S, Kubo S, Okamura Y, Uesaka K, Monden K, Sadamori S, Hashida K, Kawamoto K, Gotohda N, Chen KH, Kanazawa A, Takeda Y, Ohmura Y, Ueno M, Ogura T, Suh KS, Kato Y, Sugioka A, Belli A, Nitta H, Yasunaga M, Cherqui D, Halim NA, Laurent A, Kaneko H †, Otsuka Y†, Kim KH, Cho HD, Lin CC, Ome Y, Seyama Y, Troisi RI, Berardi G, Rotellar F, Wilson GC, Geller DA, Soubrane O, Yoh T, Kaizu T, Kumamoto Y, Han HS, Ekmekcigil E, Dagher I, Fuks D, Gayet B, Buell JF, Ciria R, Briceno J, O'Rourke N, Lewin J, Edwin B, Shinoda M, Abe Y, Abu Hilal M, Alzoubi M, Tanabe M, Wakabayashi G	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	An International Retrospective Observational Study of Liver Functional Deterioration after Repeat Liver Resection for Patients with Hepatocellular Carcinoma.	Cancers	20220524	Original Article
3	Yamada K, Saiki Y, Komori K, Shiomi A, Ueno M, Ito M, Hida K, Yamamoto S, Shiozawa M, Ishihara S, Kanemitsu Y, Ueno H, Kinjo T, Maeda K, Kawamura J, Fujita F, Takahashi K, Mizushima T, Shimada Y, Sasaki S, Sunami E, Ishida F, Hirata K, Ohnuma S, Funahashi K†, Watanabe J, Kinugasa Y, Yamaguchi S, Hashiguchi Y, Ikeda M, Sudo T, Komatsu Y, Koda K, Sakamoto K, Okajima M, Ishida H, Hisamatsu Y, Masuda T, Mori S, Minami K, Hasegawa S, Endo S, Iwashita A, Hamada M, Ajioka Y, Usuku K, Ikeda T, Sugihara K.	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Characteristics of anal canal cancer in Japan.	Cancer medicine	20220700	Original Article
4	Tainaka T†, Shirota C, Sumida W, Yokota K, Makita S, Amano H, Okamoto M, Takimoto A, Kano Y, Yasui A, Nakagawa Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Laparoscopic definitive surgery for choledochal cyst is performed safely and effectively in infants.	Journal of minimal access surgery	20220700	Original Article
5	Nakagawa Y, Uchida H, Amano H, Hinoki A, Tainaka T†, Shirota C, Sumida W, Yokota K, Makita S, Okamoto M, Takimoto A, Yasui A, Takada S, Kato D	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Patients with gastric volvulus recurrence have high incidence of wandering spleen requiring laparoscopic gastropexy and splenopexy.	Pediatric surgery international	20220600	Original Article
6	Nakada S†, Otsuka Y* †, Ishii J†, Maeda T †, Kubota Y†, Matsumoto Y†, Ito Y†, Funahashi K†, Ohtsuka M, Kaneko H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Predictors of a difficult Pringle maneuver in laparoscopic liver resection and evaluation of alternative procedures to assist bleeding control.	Surgery today	20221200	Original Article
7	Sakaguchi H, Konishi KI, Yasuda R, Sasaki H, Yoshimaru K, Tainaka T†, Fukahori S, Sanada Y, Iwama I, Shoji H, Kinoshita M, Matsuura T, Fujishiro J, Uchida H, Nio M, Yamashita Y, Mizuochi T	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Serum matrix metalloproteinase-7 in biliary atresia: A Japanese multicenter study.	Hepatology Research	20220500	Original Article

8	Shirota C, Tainaka T†, Sumida W, Yokota K, Makita S, Amano H, Okamoto M, Takimoto A, Yasui A, Nakagawa Y, Hinoki A, Uchida H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Single-incision laparoscopic percutaneous extraperitoneal closure (SILPEC) for inguinal hernia with prolapsed ovary.	Surgical endoscopy	20220600	Original Article
9	Satoi S, Takahara N, Fujii T, Isayama H, Yamada S, Tsuji Y, Miyato H, Yamaguchi H, Yamamoto T, Hashimoto D, Yamaki S, Nakai Y, Saito K, Baba H, Watanabe T, Ishii S, Hayashi M, Kurimoto K, Shimada H†, Kitayama J	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Synopsis of a clinical practice guideline for pancreatic ductal adenocarcinoma with peritoneal dissemination in Japan; Japan Peritoneal Malignancy Study Group	Journal of hepato-biliary-pancreatic sciences	20220600	Original Article
10	Kagami S†, Funahashi K†, Koda T†, Ushigome M†, Kaneko T†, Suzuki T†, Miura Y†, Nagashima Y†, Yoshida K†, Kurihara A†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Transanal down-to-up dissection of the distal rectum as a viable approach to achieve total mesorectal excision in laparoscopic sphincter-preserving surgery for rectal cancer near the anus: a study of short- and long-term outcomes of 123 consecutive patients from a single Japanese institution	World journal of surgical oncology	20221115	Original Article
11	Nagashima Y†, Funahashi K†, Kagami S†, Ushigome M†, Kaneko T†, Miura Y†, Yoshida K†, Koda T†, Kurihara A†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森)	Which preoperative immunonutritional index best predicts postoperative mortality after palliative surgery for malignant bowel obstruction in patients with late-stage cancer? A single-center study in Japan comparing the modified Glasgow prognostic score (mGPS), the prognostic nutritional index (PNI), and the controlling nutritional status (CONUT)	Surgery today	20230100	Original Article
12	Narushima K, Nishii R, Okazumi S†, Shimada H†, Akutsu Y, Maeda T, Yasuda S, Yamada S, Shuto K, Tamura K, Yamazaki K, Shinoto M, Ishikawa H, Mori M, Matsubara H	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 外科学講座 (佐倉), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	[S-methyl-11C]-L-methionine positron emission tomography/computed tomography imaging parameters to evaluate early response for esophageal cancer with neoadjuvant carbon ion radiotherapy.	Scientific Reports	20220811	Original Article
13	Matsuno T†, Mikami T†, Hayashi H, Funahashi K†, Okazumi S†, Hiruta N†, Shibuya K†, Igarashi Y†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 (佐倉), 医学部 医学科 病院病理学講座 (佐倉)	Estrogen receptor beta expression in colitis-associated carcinoma in comparison with sporadic colonic tumor: An immunohistochemical study.	JGH open : an open access journal of gastroenterology and hepatology	20230105	Original Article
14	Takagi-Maeda S, Yajima S†, Suzuki T†, Usami K, Takahashi N, Niwa R, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	A novel cancer-specific EGFR antibody obtained from the serum of esophageal cancer patients with long-term survival.	Cancer science	20220600	Original Article
15	Nakajima Y†, Tachimori H, Miyawaki Y, Fujiwara N, Kawada K, Sato H, Miyata H, Sakuramoto S, Shimada H†, Watanabe M, Kakeji Y, Doki Y, Kitagawa Y	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	A survey of the clinical outcomes of cervical esophageal carcinoma surgery focusing on the presence or absence of laryngectomy using the National Clinical Database in Japan.	Esophagus	20221000	Original Article
16	Suzuki T†, Oshima Y†, Shiratori F†, Nanami T†, Yajima S†, Sumazaki M†, Ushigome M†, Sugita H, Eberl M, Ogata H†, Hayashida T, Nakamura S, Nakagawa T, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Comparison between a new assay system, Elecsys® Anti-p53, and conventional MESACUP™ for the detection of serum anti-p53 antibodies: A multi-institutional study.	Molecular and Clinical Oncology	20220622	Original Article
17	Takahashi M, Tsuchikawa T, Hiwasa T, Nakamura T, Hontani K, Kushibiki T, Inoko K, Takano H, Hatanaka Y, Matsushita K, Matsubara H, Hoshino T, Ohtsuka M, Shimada H†, Tanaka K, Nakanishi Y, Asano T, Noji T, Okamura K, Shichinohe T, Hirano S	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Identification of antibody against wingle-type MMTV integration site family member 7B as a biliary cancer tumor marker.	Oncology reports	20230100	Original Article

18	Shiratori F†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Nanami T†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Is High Score of Preoperative Lactate Dehydrogenase to Albumin Ratio Predicting Poor Survivals in Esophageal Carcinoma Patients?	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20230301	Original Article
19	Ito M†, Hiwasa T†, Yajima S†, Suzuki T†, Oshima Y†, Nanami T†, Sumazaki M†, Shiratori F†, Li SY, Iwadate Y, Sugimoto K, Mori M, Kuwabara S, Takizawa H, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Low anti-CFL1 antibody with high anti-ACTB antibody is a poor prognostic factor in esophageal squamous cell carcinoma.	Esophagus	20221000	Original Article
20	Moriyama J†, Suzuki T†, Oshima Y†, Nanami T†, Yajima S†, Shiratori F†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Postrecurrence prognostic impact of squamous cell carcinoma antigen and serum p53 antibody at the time of recurrence on the patients with esophageal squamous cell carcinoma.	Toho Journal of Medicine	20220601	Original Article
21	Ushigome M†, Shimada H†, Kaneko T†, Miura Y†, Nagashima Y†, Suzuki T†, Kagami S†, Kurihara A†, Funahashi K†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Preoperative CRP(-)/CEA(-)/CA19-9(-)/non-T4 in Stage III Colorectal Cancer Is Favorable Risk for Recurrence.	Journal of the anus, rectum and colon	20221027	Original Article
22	Shiratori F†, Suzuki T†, Yajima S†, Oshima Y†, Nanami T†, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Preoperative low serum calcium levels predict poor prognosis for patients with esophageal cancer.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20220420	Original Article
23	Yoshida K†, Hiwasa T†, Ito M†, Ushigome M†, Takizawa H, Li SY, Zhang BS, Iwadate Y, Funahashi K†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Prognostic and diagnostic significance of preoperative Jumonji domain-containing 6 antibodies in colorectal cancer.	Oncology letters	20230300	Original Article
24	Suzuki T†, Yajima S†, Okamura A, Yoshida N, Taniyama Y, Murakami K, Ohkura Y, Nakajima Y, Yagi K, Fukuda T, Ogawa R, Hoshino I, Kunisaki C, Narumiya K, Tsubosa Y, Yamada K, Shimada H†*: Japan Esophageal Society Promotion Research: p53 Antibody Multicenter Research Group.	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Prognostic impact of carcinoembryonic antigen in 1822 surgically treated esophageal squamous cell carcinoma: multi-institutional study of the Japan Esophageal Society.	Diseases of the esophagus	20221214	Original Article
25	Ishioka N†, Suzuki T†, Yajima S†, Murakami K, Ohkura Y, Fukuda T, Yagi K, Okamura A, Hoshino I, Kunisaki C, Nakajima Y, Narumiya K, Ogawa R, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Prognostic Impact of Pretreatment Serum CYFRA Status in 1047 Patients with Esophageal Squamous Cell Carcinoma Who Underwent Radical Resection: A Japan Esophageal Society Promotion Research.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20220620	Original Article
26	Nagata Y, Kageyama S, Ishikawa T, Kokura S, Okayama T, Abe T, Murakami M, Otsuka K, Ariyoshi T, Kojima T, Taniguchi K, Kobayashi S, Shimada H†, Yajima S†, Suzuki T†, Hirano S, Tsuchikawa T, Shichinohe T, Ueda S, Kanetaka K, Yoneda A, Wada H, Doki Y, Yamaue H, Katsuda M, Ohi M, Yasuda H, Kondo K, Kataoka M, Kodera Y, Koike M, Shiraishi T, Miyahara Y, Goshima N, Fukuda E, Yamaguchi K, Sato E, Ikeda H, Yamada T, Osako M, Hirai K, Miyamoto H, Watanabe T, Shiku H	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Prognostic significance of NY-ESO-1 antigen and PIGR expression in esophageal tumors of CHP-NY-ESO-1-vaccinated patients as adjuvant therapy.	Cancer immunology, immunotherapy	20221100	Original Article
27	Yamazaki N†, Oshima Y†, Shiratori F†, Nanami T†, Suzuki T†, Yajima S†, Funahashi K†, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Prognostic significance of preoperative low serum creatine kinase levels in gastric cancer.	Surgery today	20221100	Original Article
28	Hu L, Liu J, Shimada H†, Ito M†, Sugimoto K, Hiwasa T†, Zhou Q, Li J, Shen S, Wang H.	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Serum Anti-BRAT1 is a Common Molecular Biomarker for Gastrointestinal Cancers and Atherosclerosis.	Frontiers in Oncology	20220517	Original Article
29	Okada R†, Otsuka Y†, Yokosuka O, Kato N, Imazaki F, Hoshino I, Sugiura N, Mizumoto H, Azemoto R, Kato K, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 外科学分野 (大森), 医学部 腫瘍学講座	一般・消化器 医学科 臨床	Six autoantibodies as potential differential biomarkers of hepatocellular carcinoma versus liver cirrhosis and chronic hepatitis: a prospective multi-institutional study.	Oncology letters	20220831	Original Article

30	Ito M†, Yajima S†, Suzuki T†, Oshima Y†, Nanami T†, Sumazaki M†, Shiratori F†, Wang H, Hu L, Takizawa H, Li SY, Iwadate Y, Hiwasa T†, Shimada H*†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The combination of positive anti-WDR1 antibodies with negative anti-CFL1 antibodies in serum is a poor prognostic factor for patients with esophageal carcinoma.	Medicine international.	20230131	Original Article
31	Hirokawa S, Araki K, Yamashita T, Uno K, Tomifuji M, Shimada H†, Shiotani A	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The value of serum p53 antibody as a biomarker in oral and pharyngeal squamous cell carcinoma.	Acta oto-laryngologica	20230100	Original Article
32	Li SY, Yoshida Y, Kubota M, Zhang BS, Matsutani T, Ito M†, Yajima S†, Yoshida K†, Mine S, Machida T, Hayashi A, Takemoto M, Yokote K, Ohno M, Nishi E, Kitamura K, Kamitsukasa I, Takizawa H, Sata M, Yamagishi K, Iso H, Sawada N, Tsugane S, Iwase K, Shimada H†, Iwadate Y, Hiwasa T†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	The value of serum p53 antibody as a biomarker in oral and pharyngeal squamous cell carcinoma.	Frontiers in Cardiovascular Medicin	20230210	Original Article
33	Nagaoka S, Yamashita H, Seto Y, Fujisaki M, Mitsumori N, Oshima Y†, Yajima S†, Kikuchi Y†, Otsuka K, Murakami M, Fujita S, Futawatari N†, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大橋)	Taxane-based versus platinum-based chemotherapy in early recurrent gastric cancer after radical surgery with S-1 adjuvant chemotherapy: A multi-institutional retrospective analysis.	Asia-Pacific journal of clinical oncology	20221200	Original Article
34	Onagi C†, Oba M†, Oshima Y†, Shimada H†	医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 社会医学講座 / 医療統計学	Systematic review and meta-analysis of reports of patients with gastric cancer aged 80 years and older.	International Cancer Conference Journal	20220706	Review
35	Hiroyuki Kuwano, Takehiko Yokobori, Tatsuya Miyazaki, Makoto Sohda, Tomonori Yoshida, Yoko Azuma†, Hironori Tatsuki, Yasunari Ubukata, Nobuhiro Nakazawa, Kengo Kuriyama, Akihiko Sano, Makoto Sakai, Hiroomi Ogawa, Hiroshi Saeki, Ken Shirabe	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Field Carcinogenesis and Biological Significance of Bystander Effects' Potential -Carcinogenesis, Therapeutic Response, and Tissue Regeneration	Surgery Today	20220516	Review
36	Eiichi Morii, Yutaka Hatanaka, Noriko Motoi, Akihiko Kawahara, Shinji Hamakawa, Takeshi Kuwata, Tadasuke Nagatomo, Yoshinao Oda, Aikou Okamoto, Ryota Tanaka, Akira Iyoda†, Maeda Ichiro, Yukiko Matsuo, Nobuyuki Nakamura, Tokiko Nakai, Mei Fukuhara, Kazuya Tokita, Tomohiko Yamaguchi, Masataka Takenaka, Ayako Kawabata, Kanako C Hatanaka, Kaho Tsubame, Yukitoshi Satoh	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Guidelines for Handling of Cytological Specimens in Cancer Genomic Medicine	Pathobiology .	20230208	Review
37	Shuhei Ishii, Manabu Takamatsu, Hironori Ninomiya, Kentaro Inamura, Takeshi Horai, Akira Iyoda†, Naoko Honma, Rira Hoshi, Yuko Sugiyama, Noriko Yanagitani, Mingyon Mun, Hitoshi Abe, Tetuo Mikami, Kengo Takeuchi	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Machine learning-based gene alteration prediction model for primary lung cancer using cytologic images.	Cancer Cytopathology	20220620	Original Article
38	Takashi Sakai†, Atsushi Sano†, Hiroshige Shimizu, Yoko Azuma†, Naohisa Urabe, Kazutoshi Isobe, Susumu Sakamoto, Yujiro Takai, Yoshitaka Murakami, Kazuma Kishi, Akira Iyoda†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Multifocal locules including the anterior mediastinum side as a surgical indicator in pleural infection	Journal of Thoracic Disease	20220614	Original Article
39	Akira Iyoda†, Yoko Azuma†, Takashi Sakai†, Satoshi Koezuka†, Hajime Otsuka†, Atsushi Sano†	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	Necessity of multi-step surgical treatment for patients with interstitial lung disease and a pneumothorax.	Annals of Thoracic and Cardiovascular Surgery	20220802	Original Article
40	Navchaa Gombodorj, Yoko Azuma†, Takehiko Yokobori, Bilguun Erkhem-Ochir, Takayuki Kosaka, Yoichi Ohtaki, Seshiru Nakazawa, Akira Mogi, Toshiki Yajima, Hiroyuki Kuwano, Hiroshi Saeki, Ken Shirabe	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科(大森)	RAB11A Expression is Associated with Cancer Aggressiveness Through Regulation of FGFR-Signaling in Lung Squamous Cell Carcinoma	Annals of Surgical Oncology	20220529	Original Article

41	Yuya Nobori, Masaki Anraku, Yoshikane Yamauchi, Mingyon Mun, Ichiro Yoshino, Jun Nakajima, Norihiko Ikeda, Haruhisa Matsuguma, Takekazu Iwata, Yasushi Shintani, Mitsuo Nakayama, Takahiko Oyama, Masayuki Chida, Hiroaki Kuroda, Hiroshi Hashimoto, Yoko Azuma †, Kazuhito Funai, Makoto Endoh, Yukari Uemura, Masafumi Kawamura, for the Metastatic Lung Tumor Study Group of Japan	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森)	Risk-adjusted hazard analysis of survival after pulmonary metastasectomy for uterine malignancies in 319 cases	JTCVS Open	20230128	Review
42	Yoko Azuma	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森)	Second surgery for complications of major pulmonary resection—the technique of thoracoplasty with muscle flap	Shanghai Chest	20221227	Review
43	Haruhisa Matsuguma, Mingyon Mun, Atsushi Sano †, Ichiro Yoshino, Hiroshi Hashimoto, Yasushi Shintani, Tomohiko Iida, Satoshi Shiono, Masayuki Chida, Hiroaki Kuroda, Mitsuo Nakayama, Yuji Shiraishi, Kazuhito Funai, Masafumi Kawamura	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森)	Time to Incurable Recurrence for Patients Treated With Pulmonary Metastasectomy for Colorectal Cancer	Annals of Surgical Oncology	20220618	Original Article
44	Takashi Sakai †, Keiju Aokage, Tomohiro Miyoshi, Kenta Tane, Genichiro Ishii, Koichi Goto, Masahiro Tsuboi	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森)	Tumor size exceeding 5 cm as a valid prognostic factor in all stages of thymic epithelial tumors	Surgery Today	20220730	Original Article
45	Yoko Azuma †, Susumu Sakamoto †, Sakae Homma †, Atsushi Sano †, Takashi Sakai †, Satoshi Koezuka †, Hajime Otsuka †, Naobumi Tochigi †, Kazuma Kishi †, Akira Iyoda †	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Impact of accurate diagnosis of interstitial lung diseases on postoperative outcomes in lung cancer	General Thoracic and Cardiovascular Surgery (2022)	20220823	Original Article
46	Hajime Otsuka †, Atsushi Sano †, Yoko Azuma †, Takashi Sakai †, Satoshi Koezuka †, Keishi Sugino, Susumu Sakamoto †, Naobumi Tochigi †, Sakae Homma, Akira Iyoda †	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森), 医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Surgical lung biopsy for interstitial lung diseases—a single center study of 129 patients	Journal of Thoracic Disease	20220614	Original Article
47	Takashi Sakai †, Yoko Azuma †, Satoshi Koezuka †, Hajime Otsuka †, Atsushi Sano †, Naobumi Tochigi †, Akira Iyoda †	医学部 医学科 外科学講座 呼吸器外科 (大森), 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Adenocarcinoma in situ detected on a thin-walled lung cavity: a case report	Surg Case Rep	20220404	Original Article
48	Takashi Itokawa, Yukinobu Okajima, Hiroko Iwashita, Koji Kakisu, Takashi Suzuki, Yuichi Hor i	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Association between mask-associated dry eye (MADE) and corneal sensations	Scientific Reports	20230128	Original Article
49	Yuichi Hor i, Koji Oka, Maya Inai	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Efficacy and Safety of the Long-Acting Diquafosol Ophthalmic Solution DE-089C in Patients with Dry Eye: A Randomized, Double-Masked, Placebo-Controlled Phase 3 Study	Advances in therapy	20220815	Original Article
50	Saiko Matsumura, Kazuhiko Dannoue, Momoko Kawakami, Keiko Uemura, Asuka Kameyama, Anna Takei, Yuichi Hor i	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Prevalence of Myopia and Its Associated Factors Among Japanese Preschool Children	Frontiers in Public Health	20220622	Original Article
51	Saiko Matsumura, Tadashi Matsumoto, Yuji Katayama, Masahiko Tomita, Hazuki Morikawa, Takashi Itokawa, Momoko Kawakami, Yuichi Hor i	医学部 医学科 眼科学講座 (大森)	Risk factors for early-onset high myopia after treatment for retinopathy of prematurity	Japanese Journal of Ophthalmology	20220430	Original Article
52	Kento Takaya 1, Hirokazu Shido 2, Shun Yamazaki 2	医学部 医学科 形成外科学講座 (大森・大橋・佐倉)	New Method for Umbilicoplasty with Bilateral Square Flap and Caudal Deep Inferior Epigastric Artery Perforator Flap	Eplasty	20220412	Original Article
53	Kento Takaya 1 2, Hirokazu Shido 2, Shun Yamazaki 2	医学部 医学科 形成外科学講座 (大森・大橋・佐倉)	Resection and Abdominal Wall Reconstruction for Cesarean Scar Endometriosis.	Case Reports in Medicine	20220429	Case report
54	Kurasawa Y, Iida A, Narimatsu K, Sekiya H, Maruoka Y and Michiwaki Y	医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Effects of Perioperative Oral Management in Patients with Cancer	Journal of Clinical Medicine	20221106	Original Article

55	Mayumi Takano, Sumito Nagasaki, Junya Sakuma, Makiko Shimabukuro, Hikari Kotaki, Masahiko Nakata	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Association of amniotic fluid natriuretic peptide levels with ductus venosus Doppler flow in recipient twins with twin-to-twin transfusion syndrome	Journal of Medical Ultrasonics	20220716	Original Article
56	Mayumi Takano, Kotaro Hine, Sumito Nagasaki, Junya Sakuma, Makiko Shimabukuro, Hikari Kotaki, Keiko Saito, Kohei Ogata, Hitoshi Yoda, Masahiko Nakata	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Different expression of cardiac biomarkers between different types of acquired right ventricular outflow tract abnormality in monozygotic twins	Prenatal diagnosis	20221000	Original Article
57	Tomoyuki Araki 1, Masaru Nagashima 2, Hajime Hirasawa 3, Fuminobu Tamalu 3, Yukiko Katagiri 2, Naofumi Miwa 4	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Epigenome-wide association analysis of pancreatic exocrine cells from high-fat- and normal diet-fed mice and its potential use for understanding the oncogenesis of human pancreatic cancer	Biochemical and Biophysical Research Communication	20221001	Original Article
58	Ito A†, Hayata E†, Nagasaki S†, Kotaki H†, Shimabukuro M†, Sakuma J†, Takano M†, Oji A†, Maemura T†, Nakata M†	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Optimal duration of cardiocography assessment using the iPREFACE score to predict fetal acidemia	Scientific Reports	20220729	Original Article
59	Eijiro Hayata†, Masahiko Nakata†, Mineto Morita†	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Time trend analysis of perinatal mortality, stillbirth, and early neonatal mortality of multiple pregnancies for each gestational week from the year 2000 to 2019: A population-based study in Japan	PLoS One	20220725	Original Article
60	Rikitake Takayuki†, Hayata Eijiro†, Morita Mineto, Nakata Masahiko†, Matsumoto Kunichika†, Hasegawa Tomonori†	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森) , 医学部 医学科 社会医学講座/医療政策・経営科学	Characteristics of the Learning Curve for Cesarean Section: A Retrospective Study	Toho Journal of Medicine	20230301	Original Article
61	Maemura T†, Fujita S†, Morita N†, Furusawa K, Mitamura K, Nishizawa K, Ota K	医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森) , 医学部 医学科 臨床支援室	Successful laparoscopic management of acute abdominal pain due to spontaneous rupture of subserosal vessels overlying a uterine fibroid: a case report and surgical video	BMC Womens Health	20220900	Case report
62	Ohira S, Komori M, Nakamura M, Matsuura K, Osafune H, Kajiwara R, Wada K	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座 (大森)	Morphological relationships between external auditory canal and vital structures of tympanic cavity	Head & Face Medicine	20221118	Original Article
63	Watanabe Y, Matsuba I, Watanabe K, Kunishima T, Takeda	医学部 医学科 耳鼻咽喉科学講座 (大森)	Heterogeneity assessment of vaccine-induced effects using point-of-care surrogate neutralization test for severe acute respiratory syndrome coronavirus 2	J Clin Lab Anal.	20220701	Original Article
64	Keiko Aso*†, Takehiko Soutome†, Mari Satoh†, Takako Aoki, Hiromi Ogura, Toshiyuki Yamamoto, Hitoshi Kanno, Hiroyuki Takahashi†	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Association of autosomal-recessive-type distal renal tubular acidosis and Glanzmann thrombasthenia as a consequence of runs of homozygosity	Clinical Case Reports	20220719	Case report
65	Yukiko Ueta*†, Keiko Aso†, Youichi Haga†, Hiroyuki Takahashi†, Mari Satoh†	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Congenital hypogonadotropic hypogonadism complicated by neuroblastoma	Clinical Pediatric Endocrinology	20220721	Case report
66	Ariyasu D, Nagamatsu F, Aso K†, Akiba K, Hasegawa Y	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Longitudinal clinical course in patients with 5 α -reductase type 2 deficiency treated with testosterone and dihydrotestosterone during infancy and puberty	Endocrine Journal	20230130	Original Article
67	Dan Tomomasa, Eitaro Hiejima, Takayuki Miyamoto, Kay Tamita, Masaki Matsuoka, Daiki Niizato, Noriko Mituiki, Takeshi Isoda, Takahiro Yasumi, Mennno C, van Zelm, Tomohiro Morio, Hirokazu Kanegane	医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Recurrent tandem duplication of<I> UNC13D</I>in familial hemophagocytic lymphohistiocytosis type 3	Clinical immunology (Orlando, Fla.)	20220827	Original Article
68	Kazuaki Hashimoto†, Takeaki Takeuchi†, Maya Murasaki†, Miki Hiragi†, Akiko Koyama†, Yuzo Nakamura†, Masahiro Hashizume†	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Psychosomatic symptoms related to exacerbation of fatigue in patients with medically unexplained symptoms	Journal of General and Family Medicine	20230100	Original Article

69	Kazuaki Hashimoto †, Takeaki Takeuchi †, Miki Hiiragi †, Akiko Koyama †, Yuzo Nakamura †, Masahiro Hashizume †	医学部 医学科 心身医学講座 (大森)	Utility and optimal cut-off point of the Somatic Symptom Scale-8 for central sensitization syndrome among outpatients with somatic symptoms and related disorders	BioPsychoSocial Medicine	20221122	Original Article
70	Miyoshi T, Maeno Y, Matsuda T, Ito Y, Inamura N, Kim KS, Shiraishi I, Kurosaki K, Ikeda T, Sago H, Horigome H, Yoda H †, Tsukahara S, Teramachi Y, Takahashi K, Toyoshima K, Nakai M, Katsuragi S	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	Neurodevelopmental outcome after antenatal therapy for fetal supraventricular tachyarrhythmia: 3-year follow-up of multicenter trial	Ultrasound Obstet Gynecol	20230100	Original Article
71	Takahashi N, Shoji H, Arai H †, Tanaka K, Kakiuchi S, Tsuchida S, Yoda H †, Shimizu T	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	The effect of biotin supplementation to infant formula in Japan: A Single-blind Non-Randomized Study	PEDIATRICS INTERNATIONAL	20220900	Original Article
72	Nakashima Y, Sugiura H, Hirose E, Toyoshima K, Masutani S, Tanaka Y, Yoda H †	医学部 医学科 新生児学講座 (大森)	Very Low Birth Weight Infants with Congenital Heart Disease: A Multicenter Cohort Study in Japan	Journal of Cardiology	20221200	Original Article
73	Hashimoto J †, Hamasaki Y * †, Aoki Y †, Kubota M †, Muramatsu M †, Kawamura T †, Shishido S †, Sakai K †.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Changes in graft function after living donor kidney transplantation in children	Pediatric nephrology (Berlin, Germany)	20220428	Original Article
74	Kei Sakurabayashi, Masaki Muramatsu, Yoshihiro Itabashi, Hideyo Oguchi, Takeshi Kawamura, Yuko Hamasaki, Tetsuo Mikami, Naobumi Tochigi, Seiichiro Shishido and Ken Sakai	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Effects of antirejection therapies for early subclinical acute rejection in renal transplant protocol biopsies	renal replacement therapy	20220428	Original Article
75	Harada R, Hamasaki Y, Okuda Y, Hamada R, Ishikura K.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Epidemiology of pediatric chronic kidney disease/kidney failure: learning from registries and cohort studies.	Pediatric nephrology (Berlin, Germany)	20220600	Original Article
76	Kubota M, Hamasaki Y, Hashimoto J, Aoki Y, Kawamura T, Saito A, Yuasa R, Muramatsu M, Komaba H, Toyoda M, Fukagawa M, Shishido S, Sakai K.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Fibroblast growth factor 23-Klotho and mineral metabolism in the first year after pediatric kidney transplantation: A single-center prospective study.	Pediatric transplantation	20230300	Original Article
77	Deki S, Hamada R, Mikami N, Terano C, Harada R, Hamasaki Y, Ishikura K, Honda M, Hataya H.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Half of children with IgA vasculitis-associated nephritis with nephrotic state spontaneously recover.	Nephrology (Carlton, Vic.)	20220800	Original Article
78	©Hamasaki Y, Hashimoto J, Aoki Y, Kubota M, Muramatsu M, Kawamura T, Shishido S, Sakai K.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Long-term social outcome after pediatric kidney transplantation: a single-center experience.	Clinical and Experimental Nephrology	20220400	Original Article
79	Ravichandran R*, Itabashi Y*, Fleming T, Bansal S, Bowen S, Poulson C, Bharat A, Bremner R, Smith M, Mohanakumar T.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Low-dose IL-2 prevents murine chronic cardiac allograft rejection: Role for IL-2-induced T regulatory cells and exosomes with PD-L1 and CD73.	American journal of transplantation	20220523	Original Article
80	Itabashi Y*, Ravichandran R*, Bansal S, Chin C, Poulson C, Sureshbabu A, Nair SS, Perincheri S, Mohanakumar T.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Role for exosomes with self-antigens and immune regulatory molecules in allo- and auto-immunity leading to chronic immune injury following murine kidney transplantation	Transplant immunology	20220826	Original Article
81	Takizawa K, Ueda K, Sekiguchi M, Nakano E, Nishimura T, Kajiho Y, Kanda S, Miura K, Hattori M, Hashimoto J †, Hamasaki Y †, Hisano M, Omori T, Okamoto T, Kitayama H, Fujita N, Kuramochi H, Ichiki T, Oka A, Harita Y	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Urinary extracellular vesicles signature for diagnosis of kidney disease	iScience	20221108	Original Article
82	Gotoh Y, Uemura O, Fujita N, Hamasaki Y, Honda M, Ishikura K: Pediatric CKD Study Group in Japan in conjunction with the Committee of Measures for Pediatric CKD of the Japanese Society of Pediatric Nephrology.	医学部 医学科 腎臓学講座 (大森)	Validation of the estimated glomerular filtration rate equation for Japanese children younger than 2 years.	Clinical and Experimental Nephrology	20220400	Original Article
83	Fushimi J †, Fukutake K †, Mitsuda A †, Nakamura K †, Wada A †, Takahashi H †	医学部 医学科 整形外科学講座 (大森), 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	A rare case of completely calcified lumbar Juxta-facet cyst: A case report	Journal of Orthopaedic Case Reports	20220400	Case report

84	Uchino T†, Kotsuji Y, Kitano T†, Shiozawa T, Iida S, Aoki A†, Iwai M†, Shirahata M, Seki A, Mizuno M, Tanaka K, Nemoto T* †	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	An integrated youth mental health service in a densely populated metropolitan area in Japan: Clinical case management bridges the gap between mental health and illness services	Early Intervention in Psychiatry	20220502	Original Article
85	Nemoto T* †	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Anxiety symptoms in early psychosis and achievement of recovery	Psychiatry and Clinical Neurosciences	20221100	Original Article
86	Takubo Y†, Tsujino N* †, Aikawa Y, Fukiya K, Iwai M†, Uchino T†, Ito M, Akiba Y, Mizuno M, Nemoto T†	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Changes in thoughts of self-harm among postpartum mothers during the prolonged COVID-19 pandemic in Japan	Psychiatry and Clinical Neurosciences	20221000	Original Article
87	Muraoka H, Kodaka F, Hasegawa N, Yasui-Furukori N, Fukumoto K, Kashiwagi H, Tagata H†, Hori H, Atake K, Iida H, Ichihashi K, Furihata R, Tsuboi T, Takeshima M, Komatsu H, Kubota C, Ochi S, Takaesu Y, Usami M, Nagasawa T, Makinodan M, Nakamura T, Kido M, Ueda I, Yamagata H, Onitsuka T, Asami T, Hishimoto A, Ogasawara K, Katsumoto E, Miura K, Matsumoto J, Ohi K, Yamada H, Watanabe K, Inada K, Nishimura K, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Characteristics of the treatments for each severity of major depressive disorder: A real-world multi-site study	Asian journal of psychiatry	20220800	Original Article
88	Ochi S, Tagata H†, Hasegawa N, Yasui-Furukori N, Iga JI, Kashiwagi H, Kodaka F, Komatsu H, Tsuboi T, Tokutani A, Numata S, Ichihashi K, Onitsuka T, Muraoka H, Iida H, Ohi K, Atake K, Kishimoto T, Hori H, Takaesu Y, Takeshima M, Usami M, Makinodan M, Hashimoto N, Fujimoto M, Furihata R, Nagasawa T, Yamada H, Matsumoto J, Miura K, Kido M, Hishimoto A, Ueno SI, Watanabe K, Inada K, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Glozapine treatment is associated with higher prescription rate of antipsychotic monotherapy and lower prescription rate of other concomitant psychotropics: A real-world nationwide study	The international journal of neuropsychopharmacology	20221025	Original Article
89	Mori R†, Uchino T†, Mizuno M†, Yamaguchi T†, Katagiri N†, Nemoto T* †	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Effectiveness of a comprehensive mental health literacy educational programme for junior high school students: A randomised controlled trial examining changes in their knowledge, attitudes, and behaviour	Journal of Personalized Medicine	20220804	Original Article
90	Hui CLM, Chen EYH, Verma S, Tagata H†, Mizuno M, Liu CC, Takeuchi H, Kim SW, Chung YC	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Guidelines for discontinuation of antipsychotics in patients who recover from first-episode schizophrenia spectrum disorders: derived from the aggregated opinions of Asian network of early psychosis experts and literature review	The international journal of neuropsychopharmacology / official scientific journal of the Collegium Internationale Neuropsychopharmacologicum (CINP)	20220928	Original Article

91	Baldwin H, Radua J, Antoniadou M, Haas SS, Frangou S, Agartz I, Allen P, Andreassen OA, Atkinson K, Bachman P, Baeza I, Bartholomeusz CF, Chee MWL, Colibazzi T, Cooper RE, Corcoran CM, Cropley VL, Ebdrup BH, Fortea A, Glenthøj LB, Hamilton HK, Haut KM, Hayes RA, He Y, Heekeren K, Kaess M, Kasai K, Katagiri N† (28/78), Kim M, Kindler J, Klaunig MJ, Koike S, Koppel A, Kristensen TD, Bin Kwak Y, Kwon JS, Lawrie SM, Lebedeva I, Lee J, Lin A, Loewy RL, Mathalon DH, Michel C, Mizrahi R, Møller P, Nelson B, Nemoto T† (47/78), Nordholm D, Omelchenko MA, Pantelis C, Raghava JM, Rössberg JI, Rössler W, Salisbury DF, Sasabayashi D, Schall U, Smigielski L, Sugranyes G, Suzuki M, Takahashi T, Tamnes CK, Tang J, Theodoridou A, Thomopoulos SI, Tomyshev AS, Uhlhaas PJ, Værnes TG, van Amelsvoort TAMJ, Van Erp TGM, Waltz JA, Westlye LT, Wood SJ, Zhou JH, McGuire P, Thompson PM, Jalbrzikowski M, Hernaus D, Fusar-Poli P; ENIGMA Clinical High Risk for Psychosis Working Group	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Neuroanatomical heterogeneity and homogeneity in individuals at clinical high risk for psychosis	Translational Psychiatry	20220726	Original Article
92	Uchino T†, Okubo R, Takubo Y†, Aoki A†, Wada I†, Hashimoto N, Ikezawa S, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Perceptions of and subjective difficulties with social cognition in schizophrenia from an internet survey: Knowledge, clinical experiences, and awareness of association with social functioning	Psychiatry and Clinical Neurosciences	20220629	Original Article
93	Yamada Y, Okubo R, Tachimori H, Uchino T†, Kubota R, Okano H, Ishikawa S, Horinouchi T, Takanobu K, Sawagashira R, Hasegawa Y, Sasaki Y, Nishiuchi M, Kawashima T, Tomo Y, Hashimoto N, Ikezawa S, Nemoto T†, Watanabe N, Sumiyoshi T	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Pharmacological interventions for social cognitive impairments in schizophrenia: A protocol for a systematic review and network meta-analysis	Frontiers in Psychology	20220803	Original Article
94	Hori H, Yasui-Furukori N, Hasegawa N, Iga JI, Ochi S, Ichihashi K, Furihata R, Kyo Y, Takaesu Y, Tsuboi T, Kodaka F, Onitsuka T, Okada T, Murata A, Kashiwagi H, Iida H, Hashimoto N, Ohi K, Yamada H, Ogasawara K, Yasuda Y, Muraoka H, Usami M, Numata S, Takeshima M, Yamagata H, Nagasawa T, Tagata H†, Makinodan M, Kido M, Katsumoto E, Komatsu H, Matsumoto J, Kubota C, Miura K, Hishimoto A, Watanabe K, Inada K, Kawasaki H, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Prescription of Anticholinergic Drugs in Patients With Schizophrenia: Analysis of Antipsychotic Prescription Patterns and Hospital Characteristics	Frontiers in psychiatry	20220517	Original Article
95	Takubo Y†, Tsujino N*, Aikawa Y, Fukiya K, Uchino T†, Katagiri N†, Ito M, Akiba Y, Mizuno M, Nemoto T†	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Relationship between antenatal mental health and facial emotion recognition bias for children's faces among pregnant women	Journal of Personalized Medicine	20220827	Original Article
96	Okada T, Hori H, Hasegawa N, Murata A, Kyo Y, Kodaka F, Iida H, Ochi S, Takaesu Y, Tsuboi T, Iga JI, Ichihashi K, Muraoka H, Furihata R, Yasui-Furukori N, Usami M, Onitsuka T, Ogasawara K, Tagata H†, Takeshima M, Ohi K, Numata S, Hashimoto N, Yamada H, Makinodan M, Komatsu H, Hishimoto A, Yamagata H, Kido M, Kubota C, Atake K, Yamada H, Nagasawa T, Matsumoto J, Miura K, Inada K, Watanabe K, Suda S, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Second-Generation Antipsychotic Monotherapy Contributes to the Discontinuation of Anticholinergic Drugs in Hospitalized Patients With Schizophrenia	Journal of Clinical Psychopharmacology	20221100	Original Article

97	Ogasawara K, Numata S, Hasegawa N, Nakataki M, Makinodan M, Ohi K, Takeshima M, Tsuboi T, Hashimoto N, Onitsuka T, Muraoka H, Hori H, Ichihashi K, Inagaki T, Yasui-Furukori N, Hishimoto A, Sugiyama N, Fukumoto K, Nagasawa T, Matsumoto J, Takaesu Y, Furihata R, Nemoto K, Nakamura T, Usami M, Miura K, Fujimoto M, Tagata H†, Yamada H, Komatsu H, Ochi S, Atake K, Katsumoto E, Kido M, Kishimoto T, Suwa T, Yamamura S, Iga JI, Iida H, Inada K, Watanabe K, Hashimoto R	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Subjective assessment of participants in education programs on clinical practice guidelines in the field of psychiatry	Neuropsychopharmacology reports	20220600	Original Article
98	Fukui E†, Uchino T†, Onozaka M, Kawashimo T, Iwai M†, Takubo Y†, Maruyama A, Miura S, Sekizaki R†, Mizuno M†, Katagiri N†, Tsujino N†, Nemoto T*†	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	The mental health of young return migrants with ancestral roots in their destination country: A cross-sectional study focusing on the ethnic identities of Japanese-Brazilian high school students living in Japan	Journal of Personalized Medicine	20221107	Original Article
99	Yoichiro Takayanagi, Sue Kulason, Daiki Sasabayashi, Tsutomu Takahashi, Naoyuki Katagiri, Atsushi Sakuma, Noriyuki Ohmuro, Masahiro Katsura, Shimako Nishiyama, Mikio Kido, Atsushi Furuichi, Kyo Noguchi, Kazunori Matsumoto, Masafumi Mizuno, J. Tilak Ratnanather, Michio Suzuki	医学部 医学科 精神神経医学講座 (大森・大橋)	Volume Reduction of the Dorsal Lateral Prefrontal Cortex Prior to the Onset of Frank Psychosis in Individuals with an At-Risk Mental State	Cerebral Cortex	20220514	Original Article
100	Sasaki Y†, Kashiwagi K†, Maeda T†, Shigeta T†, Sato T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Black esophagus as an indicator of diabetes and cirrhosis	Journal of hospital general medicine	20220500	Case report
101	Sasaki Y†, Nakajima H, Maeda T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Clinical differentiation of bacterial and viral enterocolitis:a Japanese, single center, post hoc analysis	Journal of hospital general medicine	20220900	Original Article
102	Tago M, Hirata R, Shikino K, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Nakamura T, Kiyota M, Yabuki T, Ie K, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Common foundations of hospital general medicine and family medicine in Japan: harmonizing and merging	Journal of hospital general medicine	20220900	Others
103	Shikino K, Tago M, Hirata R, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Educational strategies for general medicine education in accordance with the model core curriculum for medical education in Japan	Journal of General and Family Medicine	20230321	Others
104	Sasaki Y†, Shigeta T†, Maeda T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Fibroma caused by years of carrying a portable Shinto shrine: Mikoshi-kobu	Japanese society of hospital general medicine	20220700	Original Article
105	Shikino K, Tago M, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Five tips on clinical research mentorship for Japanese generalists	Jorunal of hospital general medicine	20220500	Others
106	Tago M, Hirata R, Watari T, Shikino K, Sasaki Y†, Takahashi H, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Future Research in General Medicine Has Diverse Topics and is Highly Promising: Opinions Based on a Questionnaire Survey	International Journal of General Medicine	20220801	Original Article
107	Ichibayashi R*†, Watanabe M†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Intramucosal esophageal dissection caused by gastric tube insertion	Clinical Case Reports	20220624	Case report
108	Sasaki Y†, Eguchi Y†, Maeda T†, Shigeta T†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Pancoast tumor overlooked by chest X-ray	Journal of Hospital Medicine	20230300	Original Article
109	Tago M, Shikino K, Watari T, Sasaki Y†, Takahashi H, Katsukura S, Watanuki S, Kondo K, Shimizu T	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Teaching general hospitalists appropriate leadership skills and helping them acquire these skills for use in diverse settings	Jornal of Hospital General Medicine	20230300	Others
110	Sasaki Y†, Nanami T†, Mizumura S†, Urita Y†, Shimada H†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 放射線医学講座 (大森), 医学部 医学科 臨床腫瘍学講座	Axillary lymphadenopathy detected by FDG/PET-CT after COVID-19 mRNA vaccination.	Journal of hospital general medicine	20220500	Case report

111	Ichibayashi R†, Hideki Sekiya H*†, Kaneko K†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Use of Maximum Tongue Pressure Values to Examine the Presence of Dysphagia after Extubation and Prevent Aspiration Pneumonia in Elderly Emergency Patients	journal of clinical medicine	20221107	Original Article
112	Nishie R†, Sasaki Y†, Nagashima M†, Urita Y†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 産科婦人科学講座 (大森)	Umbilical metastasis of Endometrial Adenocarcinoma	Japanese society of hospital general medicine	20221100	Case report
113	Takehara S†, Ichibayashi R*†, Watanabe M†, Takatsuki S†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 小児科学講座 (大森)	Fulminant Myocarditis in a Child Requiring Extracorporeal Cardiopulmonary Resuscitation: A Case Report	Cureus	20221116	Case report
114	Nagase D†, Sasaki Y†, Hirota A†, Urita Y†, Irita H†, Onda N†, Natori K†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 内科学講座 血液・腫瘍学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床支援室	Clinical characteristics of Hodgkin lymphoma in adolescents and young adults	Journal of hospital general medicine	20220500	Original Article
115	Ichibayashi R*†, Yamamoto S†, Nakamichi Y†, Masuyama Y†, Serizawa H†, Watanabe M†, Yabe T†, Honda M†	医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森), 医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Urinary liver-type fatty acid-binding protein: A hemodynamic index during extracorporeal membrane oxygenation	Clinical Case Reports	20221106	Case report
116	Sekiguchi R†, Nakamura Y†, Usui Y†, Miyoshi S†, Urabe N†, Sakamoto S†, Akasaka Y, Homma S†, Kishi K.†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	A 52-Year-Old Obese Man With Persistent Cough	Chest	20221208	Case report
117	©Usui Y†, Sasada S, Kirita K, Nagayama S, Murata S, Tsuchiya Y, Ishioka K, Takahashi S, Nakamura M, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	A Prospective Observational Study on the Tolerability of Transnasal Bronchoscopy With a Surgical Mask for Aerosol Control	Cureus	20220820	Original Article
118	Miyamoto A, Michimae H, Nakahara Y, Akagawa S, Nakagawa K, Minegishi Y, Ogura T, Hontsu S, Date H, Takahashi K, Homma S†, Kishi K†; Investigators Group for Lung Cancer and IIP	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	CHEMOTHERAPY VERSUS BEST SUPPORTIVE CARE IN ADVANCED LUNG CANCER AND IDIOPATHIC INTERSTITIAL PNEUMONIAS: A RETROSPECTIVE MULTI-CENTRE COHORT STUDY	Respiratory Investigation	20221207	Original Article
119	©Tokita N†, Urabe N†, Sakamoto S†, Yamaguchi A†, Sekiguchi R†, Kishi K†,	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Co-infection with Nocardia spp. in a patient with Mycobacterium avium complex pulmonary disease: A case report	Respirology Case Reports	20220907	Case report
120	Okuda R, Ogura T, Hisata S, Baba T, Kondoh T, Suda T, Johkoh T, Iwasawa T, Tomioka T, Bando M, Azuma A, Inoue Y, Arai T, Nakamura Y, Miyamoto A, Miyazaki Y, Chiba H, Ishii H, Hamada N, Terasaki Y, Kuwahira I, Sato S, Kato S, Suzuki T, Sakamoto S, Nishioka Y, Hattori N, Hashimoto N, Morita S, Ichihara N, Miyata H, Hagiwara H, Nukiwa T, Kobayashi K	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Design and rationale of the Japanese Idiopathic Interstitial Pneumonias (JIPS) Registry	Respiratory Investigation	20221115	Original Article
121	Urabe N†, Sakamoto S†, Masuoka M†, Kato C†, Yamaguchi A†, Tokita N†, Homma S†, Kishi K†.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Efficacy of three sputum specimens for the diagnosis of <I>Mycobacterium avium</I> complex pulmonary disease.	BMC Pulmonary Medicine	20230119	Original Article
122	Goto Y, Tamura A, Matsumoto H, Isobe K†, Ozaki T, Santorelli ML, Taniguchi K, Kamitani T, Irisawa M, Kanda K, Abe M, Burke T, Nokihara H.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	FIRST-LINE PEMBROLIZUMAB MONOTHERAPY FOR ADVANCED NSCLC WITH PROGRAMMED DEATH-LIGAND 1 EXPRESSION GREATER THAN OR EQUAL TO 50%: REAL-WORLD STUDY INCLUDING OLDER PATIENTS IN JAPAN	JTO Clin Res Rep	20220805	Original Article
123	Imasaka K, Isobe K†, Hamanaka N, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	FIXATION RATE OF FIDUCIAL GOLD MARKERS IN EACH SEGMENTAL BRONCHUS FOR STEREOTACTIC BODY RADIOTHERAPY	Respiratory Investigation	20230203	Original Article
124	©Urabe N†, Sakamoto S†, Shimanuki Y†, Kanokogi T†, Motohashi T†, Anzai N†, Kato C†, Yamaguchi A†, Tokita N†, Homma S†, Kishi K†,	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Impact of chronic co-infection in pulmonary Mycobacterium avium complex disease after treatment initiation	BMC Pulmonary Medicine	20220425	Original Article

125	Yasuhiko Nishioka, Yuko Toyoda, Ryoko Egashira, Takeshi Johkoh, Yasuhiro Terasaki, Akira Hebisawa, Kinya Abe, Tomohisa Baba, Yuji Fujikura, Etsuo Fujita, Naoki Hamada, Tomohiro Handa, Yoshinori Hasegawa, Koko Hidaka, Takeshi Hisada, Shu Hisata, Chisato Honjo, Kazuya Ichikado, Yoshikazu Inoue, Shinyu Izumi, Motoyasu Kato, Takumi Kishimoto, Masaki Okamoto, Keisuke Miki, Masamichi Mineshita, Yutaro Nakamura, Susumu Sakamoto†, Masaaki Sano, Yoshikazu Tsukada, Mari Yamasue, Yoshimi Bando, Sakae Homma†, Koichi Hagiwara, Takafumi Suda, Naohiko Inase,	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Nationwide retrospective observational study of idiopathic dendriform pulmonary ossification: clinical features with a progressive phenotype.	BMJ Open Respiratory Research	20220913	Original Article
126	Minegishi Y, Akagami T, Arai M, Saito R, Arai D, Murase K, Miura K, Watanabe S, Sakashita H, Miyabayashi T, Honda R, Jingu D, Hotta T, Isobe K†, Nakazawa K, Ito K, Takamura K, Inomata M, Harada T, Sakakibara R, Nakagawa T, Shibuya H, Takenaka K, Kobayashi K, Seike M.	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	REAL-WORLD OUTCOMES OF CHEMOTHERAPY FOR LUNG CANCER PATIENTS UNDERGOING HEMODIALYSIS: A MULTICENTER RETROSPECTIVE COHORT STUDY (NEJ-042)	Lung Cancer	20230101	Original Article
127	Isshiki T†, Shimizu H†, Sakamoto S†, Yamasaki A†, Miyoshi S†, Nakamura Y†, Homma S†, Kishi K†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Serum autotaxin levels in chronic disease and acute exacerbation of fibrosing interstitial lung disease	ERJ open research	20220411	Original Article
128	©Yui Shimanuki†, Shion Miyoshi†, Nanami Anzai†, Yusuke Usui†, Nobuyuki Shiraga†, Kazuma Kishi†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Utility of contrast-enhanced magnetic resonance lymphangiography for yellow nail syndrome with lymphangiopathy: a case report	Oxford Medical Case Reports	20220726	Case report
129	Iwanami Y†, Ebihara K†, Nakano K†, Sato N†, Miyagi M†, Nakamura Y†, Sakamoto S†, Kishi K†, Homma S†, Ebihara S†,	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森)	Benefits of Pulmonary Rehabilitation in Patients with Idiopathic Pulmonary Fibrosis Receiving Antifibrotic Drug Treatment	Journal of clinical medicine	20220911	Original Article
130	Sato N†, Iwanami Y†, Ebihara K†, Nakao K†, Miyagi M†, Nakamura Y†, Kishi K†, Homma S†, Ebihara S†	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森)	Determinants of Six-Minute Walk Distance in Idiopathic Pulmonary Fibrosis and Idiopathic Pleuroparenchymal Fibroelastosis	Biomedicines	20221013	Original Article
131	Kajiwara C, Shiozawa A, Urabe N†, Yamaguchi T, Kimura S, Akasaka Y, Ishii Y, Tateda K	医学部 医学科 内科学講座 呼吸器内科学分野 (大森)	Apoptosis Inhibitor of Macrophages Attenuates the Antimicrobial Response to Mycobacterium avium by Promoting Foamy Macrophages	Journal of Immunology	20230104	Original Article
132	Yamashita T, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Ikeda T†, Mo M, Yamazaki T, Okumura Y, Hirayama A:	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Clinical Outcome After Discontinuation of Anticoagulation Therapy in Japanese Patients With Venous Thromboembolism - Insights From the J' exactly Study	Circulation Report	20220810	Original Article
133	Suzuki S, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Okumura K, Koretsune, Shimizu W, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Clinical phenotypes of older adults with non-valvular atrial fibrillation not treated with oral anticoagulants by hierarchical cluster analysis in the ANAFIE Registry	PLoS One	20230208	Original Article
134	Sakamoto K, Matoba T, Nakai M, Tahara Y, Nakashima T, Hosoda H, Miyamoto Y, Nishimura K, Sumita Y, Yagi T, Ichimura K, Yonemoto N, Tachibana E, Nagao K, Ikeda T†, Sato N, Tsutsui H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Clinical picture of the duration of venoarterial extracorporeal membrane oxygenation: analysis from JROAD-DPC	Heart and Vessels	20220929	Original Article
135	Noike R†, Amano H†, Hirano S†, Tsubono M†, Kojima Y†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, YabeT†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Combined assessment of frailty and nutritional status can be a prognostic indicator after percutaneous coronary intervention	Heart and vessels	20230500	Original Article

136	©Lohendran Baskaran , Jing Kai Lee , Michelle Shi Min Ko , Subhi J Al'Aref , Yu Pei Neo , Jien Sze Ho , Weiting Huang , Yeonyee Elizabeth Yoon , Donghee Han , Rine Nakanishi †, Swee Yaw Tan , Mouaz Al-Mallah , Matthew J Budoff , Leslee J Shaw	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Comparing the pooled cohort equations and coronary artery calcium scores in a symptomatic mixed Asian cohort	Frontiers in Cardiovascular Medicin	20230117	Original Article
137	©Kiuchi S†, Hisatake S†, Kabuki T†, Oka T†, Dobashi S†, Murakami Y†, Sano T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Early initiation of tolvaptan is associated with early discharge in patients with heart failure regardless of age	BMC cardiovascular disorders	20220426	Original Article
138	Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effect of Polypharmacy on Clinical Outcomes in Elderly Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation	Circulation Journal	20221200	Original Article
139	Hisatake S, Ikeda T, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Mo M, Yamazaki T, Okumura Y, Hirayama A	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effectiveness and safety of rivaroxaban in patients with venous thromboembolism and active cancer: A subanalysis of the J'xactly study	Journal of Cardiology	20221115	Original Article
140	Mo M, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T†, Yamazaki T, Okumura Y, Hirayama A, J'xactly Investigators	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effectiveness and safety of the direct oral anticoagulant in acute distal deep vein thrombosis: From the prospective multicenter observational study, J'xactly, in Japan	Observational Study	20230200	Original Article
141	Yamashita A, Hisatake S, Kiuchi S, Kabuki T, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effectiveness of Fondaparinux in the Japanese Population with Acute Venous Thromboembolism –A Study Comparing Patients with and without Cancer	Internal Medicine	20221102	Original Article
142	©Yamashita A†, Hisatake S†, Kiuchi S†, Kabuki T†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effectiveness of Fondaparinux in the Japanese Population with Acute Venous Thromboembolism –A Study Comparing Patients with and without Cancer	Internal Medicine	20221100	Original Article
143	©Baskaran L, Neo YP, Lee JK, Yoon YE, Jiang Y, Al'Aref SJ, van Rosendaal AR, Han D, Lin FY, Nakanishi R†, Maurovich Horvat P, Tan SY, Villines TC, Bittencourt MS, Shaw LJ.	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Evaluating the Coronary Artery Disease Consortium Model and the Coronary Artery Calcium Score in Predicting Obstructive Coronary Artery Disease in a Symptomatic Mixed Asian Cohort	J Am Heart Assoc	20220419	Original Article
144	©Hashimoto H†, Oka T†, Nakanishi R†, Mizumura S†, Dobashi S†, Hashimoto Y†, Okamura Y†, Ota K†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Evaluation of balloon pulmonary angioplasty using lung perfusion SPECT in patients with chronic thromboembolic pulmonary hypertension	J Nucl Cardiol	20220426	Original Article
145	Shaikh K, Ahmed A, Gransar H, Lee J, Leipsic J, Nakanishi R†, Alla V, Bax JJ, Chow BJW, Berman DS, Maffei E, Lin FY, Ahmad A, DeLago A, Pontone G, Feuchtner G, Marques H, Min JK, Hausleiter J, Hadamitzky M, Kaufmann PA, de Araújo Gonçalves P, Cury RC, Kim YJ, Chang HJ, Rubinshtein R, Villines TC, Lu Y, Shaw LJ, Acenbach S, Al Mallah MH, Andreini D	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Extent of subclinical atherosclerosis on coronary computed tomography and impact of statins in patients with diabetes without known coronary artery disease: Results from CONFIRM registry	Journal of diabetes and its complications	20221200	Original Article
146	Akishita M, Suzuki S, Inoue H, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka A, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Yamashita T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Frailty screening index and atrial fibrillation outcomes in the All Nippon AF In the Elderly registry	Geriatrics & Gerontology International	20221022	Original Article

147	Noike R†, Amano H†, Suzuki S, Kano H, Oikawa Y, Yajima J, Hirano S†, Kojima Y†, Oka Y†, Aikawa H, †, Matsumoto S†, Yabe T†, Okubo R†, Nakanishi R†, Arita T, Yagi N, Kishi M, Semba H, Matsuno S, Kato Y, Otsuka T, Uejima T, Matsuhama M, Iida M, Yamashita T, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Glasgow prognostic score can be a prognostic indicator after percutaneous coronary intervention: a two-center study in Japan	Heart and vessels	20220600	Original Article
148	Amano H†, Kojima Y†, Hirano S†, Oka Y†, Aikawa H†, Matsumoto S†, Noike R†, Yabe T†, Okubo R†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Healed neointima of in-stent restenosis lesions in patients with stable angina pectoris: an intracoronary optical coherence tomography study	Heart and vessels	20220700	Original Article
149	Kario K, Hasebe N, Okumura K, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H:	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Home Blood Pressure Can Predict the Risk for Stroke/Bleeding Events in Elderly Patients With Nonvalvular Atrial Fibrillation From the ANAFIE Registry	Hypertension	20221009	Original Article
150	Nagata K, Inoue H, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T†, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Yasaka M	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Impact of cognitive impairment on clinical outcomes in elderly patients with atrial fibrillation: ANAFIE Registry	BMJ Neurol Open	20230125	Original Article
151	©Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Importance of Vascular Function in Patients with Heart Failure with Preserved Ejection Fraction	Medical Research Archives	20220418	Original Article
152	©Yabe T†, Noike R†, Okubo R†, Amano H†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Infarct Size and Long-Term Clinical Outcomes of Prasugrel versus Clopidogrel in Patients with Acute Coronary Syndrome Undergoing Coronary Artery Stenting: A Prospective Randomized Study	The International Journal of angiology:official publication of thw International College of Angiology, Inc	20220719	Original Article
153	Kozuma K, Chikamori T, Hashimoto J, Honye J, Ikeda T†, Ishiwata S, Kato M, Kondo H, Matsubara K, Matsumoto K, Matsumoto N, Motoyama S, Obunai K, Sakamoto H, Soejima K, Suzuki S, Abe K, Amano H, Hioki H, Iimori T, Kawai H, Kosuge H, Nakama T, Suzuki Y, Takeda K, Ueda A, Yamashita T, Hirao K, Kimura T, Nagai R, Nakamura M, Shimizu W, Tamaki N, Japanese Circulation Society Joint Working Group	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	JCS 2021 Guideline on Radiation Safety in Cardiology	Circulation Journal	20220400	Review
154	19. 〇〇 K, Iwasaki Y, Akao M, Ikeda T†, Ishii K, Inden Y, Kusano K, Kobayashi Y, Koretsune Y, Sasano T, Sumitomo N, Takahashi N, Niwano S, Hagiwara N, Hisatome I, Furukawa T, Honjo H, Maruyama T, Murakawa Y, Yasaka M, Watanabe E, Aiba T, Amino M, Itoh H, Ogawa H, Okumura Y, Aoki-Kamiya C, Kishihara J, Kodani E, Komatsu T, Sakamoto Y, Satomi K, Shiga T, Shinohara T, Suzuki A, Suzuki S, Sekiguchi Y, Nagase S, Hayami N, Harada M, Fujino T, Makiyama T, Maruyama M, Miake J, Muraji S, Murata H, Morita N, Yokoshiki H, Yoshioka K, Yodogawa K, Inoue H, Okumura K, Kimura T, Tsutsui H, Shimizu W: Japanese Circulation Society and; Japanese Heart Rhythm Society Joint Working Group	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	JCS/JHRS 2020 Guideline on Pharmacotherapy of Cardiac Arrhythmias	J Arrhythm	20221025	Review
155	Matsumoto S†, Nakamura N, Konishi M, Shibata A, Kida K, Ishii S, Ikeda T†, Ikari Y	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Neuroendocrine hormone status and diuretic response to atrial natriuretic peptide in patients with acute heart failure	ESC Heart Failure	20220831	Original Article

156	Okumura K, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Shimizu W, Suzuki S, Tsusui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Oral Anticoagulants in Very Elderly Nonvalvular Atrial Fibrillation Patients With High Bleeding Risks: ANAFIE Registry	JACC Asia	20221115	Original Article
157	Okubo R†, Nakanishi R†, Oka Y†, Kojima Y†, Matsumoto S†, Aikawa H†, Noike R†, Yabe T†, Amano H†, Toda M†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Predictive value of lipoprotein(a) for assessing the prevalence and severity of lower-extremity peripheral artery disease among patients with acute coronary syndrome	Heart and vessels	20230200	Original Article
158	Aonuma K, Ando K, Kusano K, Asai T, Inoue K, Inamura Y, Ikeda T†, Mitsuhashi T, Murohara T, Nishii N, Nogami A, Shimizu W, Beaudoint C, Simon T, Kayser T, Azlan H, Tachapong N, Chan J, Kutiyifa V, Sakata Y	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Primary results from the Japanese Heart Failure and Sudden Cardiac Death Prevention Trial (HINODE)	ESC Heart Failure	20220600	Original Article
159	Yoshimasa Kojima, Ryosuke Higuchi, Kenichi Hagiya, Mike Saji, Itaru Takamisawa, Nobuo Iguchi, Shuichiro Takanashi, Shinichiro Doi, Shinya Okazaki, Kei Sato, Harutoshi Tamura, Morimasa Takayama, Takanori Ikeda, Mitsuaki Isobe	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Prognosis of patients with active cancer undergoing transcatheter aortic valve implantation: An insight from Japanese multicenter registry	International Journal of Cardiology Heart & Vasculature	20220502	Original Article
160	Ikeda T†, Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsui H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Prognostic impact of heart rate during atrial fibrillation on clinical outcomes in elderly non-valvular atrial fibrillation patients: ANAFIE Registry sub-cohort study	J Cardiol	20221122	Original Article
161	Juhwan Lee MD, Kashif Shaikh MD, Rine Nakanishi MD†, Heidi Gransar MSc, Stephan Achenbach MD, Stephan Achenbach MD, Mouaz H. Al-Mallah MD, Mouaz H. Al-Mallah MD, Daniele Andreini MD, PhD, Jeroen J. Bax MD, Daniel S. Berman MD, Filippo Cademartiri MD, PhD, Tracy Q. Callister MD, Hyuk-Jae Chang MD, PhD, Kavitha Chinnaiyan MD, Benjamin J.W. Chow MD, Ricardo C. Cury MD, Ricardo C. Cury MD, Augustin DeLago MD, Gudrun Feuchtner MD, Martin Hadamitzky MD, Joerg Hausleiter MD, Philipp A. Kaufmann MD, Matthew J. Budoff MD	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Prognostic Significance of Nonobstructive Left Main Coronary Artery Disease in Patients With and Without Diabetes: Long-Term Outcomes From the CONFIRM Registry	Heart, lung & circulation	20221103	Original Article
162	©Okamura Y†, Nakanishi R†, Hashimoto H†, Mizumura S†, Homma S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Relationship Between 18F-fluorodeoxyglucose Uptake on Positron Emission Tomography and Aortic Calcification	Annals of Nuclear Cardiology	20220800	Original Article
163	Migita S, Okumura Y, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Ikeda T†, Mo M, Yamazaki T, Hirayama A, on behalf of the J' xactly Investigators	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Relationship between baseline D-dimer and prognosis in Japanese patients with venous thromboembolism: Insights from the J' xactly study	Cardiovasc. Med	20230209	Original Article
164	Hisatake S†, Ikeda T†, Fukuda I, Nakamura M, Yamada N, Takayama M, Maeda H, Yamashita T, Mo M, Yamazaki T, Okumura Y, Hirayama A, J' xactly Investigators	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Rivaroxaban Treatment for Patients With Unprovoked or Provoked Venous Thromboembolism – Subanalysis of the J' xactly Study	Circulation Report	20220913	Original Article
165	Rine Nakanishi†, Kazuhiro Osawa, Akira Kurata, Toru Miyoshi	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Role of coronary computed tomography angiography (CTA) post the ISCHEMIA trial: Precision prevention based on coronary CTA-derived coronary atherosclerosis	Journal of Cardiology	20220500	Review
166	Matsumoto S†, Noda S, Torii S†, Ikari Y, Kuroda S, Kitai T, Yonetsu T, Kohsaka S, Node K, Ikeda T†, Matsue Y	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Sex Differences in Clinical Outcomes Among Patients With COVID-19 and Cardiovascular Disease - Insights From the CLAVIS-COVID Registry	Circulation Journal	20220528	Original Article

167	Wada R†, Shinohara M†, Fujino T†, Matsumoto S†, Yao S†, Yano K†, Dobashi S†, Akitsu K†, Koike H†, Ohara H†, Kinoshita T†, Yuzawa H†, Nakanishi R†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Significance of mitral L-waves in predicting late recurrences of atrial fibrillation after radiofrequency catheter ablation	Pacing and clinical electrophysiology : PACE	20230100	Original Article
168	©Kiuchi S†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	The Prevention of the New Onset of Heart Failure in Hypertensive Patients	Internal Medicine	20221019	Review
169	Matsumoto S†, Nakanishi R†, Ichibayashi R†, Honda M†, Hayashida K†, Sakurai A†, Kitamura N†, Tagami T†, Nakada T†, Takeda M†, Ikeda T†	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座 (大森)	Heart Rate and Mortality After Resuscitation in Patients With Out-of-Hospital Cardiac Arrest - Insights From the SOS-KANTO Registry	Circulation journal : official journal of the Japanese Circulation Society	20220922	Original Article
170	Yamashita T, Akao M, Atarashi H, Ikeda T, Koretsune Y, Okumura K, Shimizu W, Suzuki S, Tsutsumi H, Toyoda K, Hirayama A, Yasaka M, Yamaguchi T, Teramukai S, Kimura T, Morishima Y, Takita A, Inoue H	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Causes of Death in Elderly Patients With Non-Valvular Atrial Fibrillation - Results From the ANAFIE Registry	Circ J	20230117	Original Article
171	Kojima Y, Saji M, Ohara H, Noike R, Yabe T, Ikeda T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Effective balloon dilation of a separated atrial septum during transcatheter edge-to-edge repair with MitraClip	Cardiovasc Interv Ther	20230122	Original Article
172	Hashimoto H, Soma T, Mizumura S, Kokubo T, Nakanishi R, Ikeda T	医学部 医学科 内科学講座 循環器内科学分野 (大森)	Evaluation of lung perfusion by using lung perfusion SPECT and lung CT with breathing synchronization software	Eur J Hybrid Imaging	20221125	Original Article
173	Kawamura T, Sekiguchi M, Takamaru H, Mizuguchi Y, Horiguchi G, Kato M, Kobayashi K, Sada M, Oda Y, Yokoyama A, Utsumi T, Tsuji Y, Ohki D, Takeuchi Y, Shichijo S, Ikematsu H, Matsuda K, Teramukai S, Kobayashi N, Matsuda T†, Saito Y, Tanaka K.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	"Endoscopic" adenoma detection rate as a quality indicator of colonoscopy: First report from the J-SCOUT study	Dig Endosc	20221100	Original Article
174	Ito K†, Okano N†, Takuma K†, Iwasaki S†, Watanabe K†, Kimura Y†, Yamada Y†, Yoshimoto K†, Hara S†, Kishimoto Y†, Matsuda T†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Are Newer Extracorporeal Shock Wave Lithotripsy Models Truly Improving Pancreatolithiasis Lithotripsy Performance? A Japanese Single-Center Study Using Endoscopic Adjunctive Treatment	Gut Liver	20221213	Original Article
175	Naoyuki Yoshimine, Noritaka Wakui, Hidenari Nagai, Yoshinori Igarashi	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Arrival-Time Parametric Imaging in Contrast-Enhanced Ultrasound for Diagnosing Fibrosis in Primary Biliary Cholangitis	Ultrasound quarterly.	20220601	Original Article
176	Yoshida N, Ishikawa H, Otani T, Goto C, Matsuda T†, Takeuchi Y, Sano Y, Itoh Y, Suzuki S, Mutoh M	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Aspirin-Mediated Prevention of Colorectal Adenomas Recurrence is Affected by Blood Biochemistry and Nutritional Intake	Cancer Prev Res	20221201	Original Article
177	Yusuke Fujiyoshi 1, Haruhiro Inoue 1, Yuto Shimamura 1, Mary Raina Angeli Fujiyoshi 1, Enrique Rodriguez de Santiago 2, Yohei Nishikawa 1, Akiko Toshimori 1, Mayo Tanabe 1, Kazuya Sumi 1, Masashi Ono 1, Yugo Iwaya 1, Haruo Ikeda 1, Manabu Onimaru 1	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Association between endoscopic pressure study integrated system (EPSIS) and high-resolution manometry	Endoscopy	20220600	Original Article

178	Sekiguchi M, Hotta K, Takeuchi Y, Tanaka S, Yamamoto H, Shinmura K, Harada K, Uraoka T, Hisabe T, Sano Y, Kondo H, Horimatsu T, Kikuchi H, Kawamura T, Nagata S, Yamamoto K, Tajika M, Tsuji S, Kusaka T, Okuyama Y, Yoshida N, Moriyama T, Hasebe A, So S, Kobara H, Kashida H, Miyanaga R, Kato S, Hayashi Y, Sada M, Fukuzawa M, Kato H, Takayama T, Konishi J, Matsushita HO, Narasaka T, Ohata K, Togashi K, Nakamura H, Moriichi K, Oda Y, Kanda N, Kuwai T, Terai S, Sanomura M, Kitamura S, Miyamoto H, Kiriyama S, Mizuno C, Saito Y, Sekine S, Ito S, Nakahira H, Oka S, Hayashi Y, Yoshimura K, Ishikawa H, Matsuda T †	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Characteristics of colorectal neuroendocrine tumors in patients prospectively enrolled in a Japanese multicenter study: a first report from the C-NET STUDY	J Gastroenterol	20220800	Original Article
179	Takamaru H, Saito Y, Hammoud GM, Mizuguchi Y, Cho H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T †	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Comparison of postpolypectomy bleeding events between cold snare polypectomy and hot snare polypectomy for small colorectal lesions: a large-scale propensity score-matched analysis	Gastrointest Endosc	20220500	Original Article
180	Higurashi T, Ashikari K, Tamura S, Takatsu T, Misawa N, Yoshihara T, Ninomiya Y, Okamoto Y, Taguri M, Sakamoto T, Oka S, Nakajima A, Tanaka S, Matsuda T †	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Comparison of the diagnostic performance of NBI, Laser-BLI and LED-BLI: a randomized controlled noninferiority trial	Surg Endosc	20221000	Original Article
181	Takamaru H, Stammers M, Yanagisawa F, Mizuguchi Y, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T †, Saito Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Conditional inference tree models to perceive depth of invasion in T1 colorectal cancer	Surg Endosc	20221200	Original Article
182	Koyama Y, Fukuzawa M, Kono S, Madarame A, Morise T, Uchida K, Yamaguchi H, Sugimoto A, Nagata N, Kawai T, Takamaru H, Sekiguchi M, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T †, Saito Y, Itoi T	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Diagnostic efficacy of the Japan NBI Expert Team classification with dual-focus magnification for colorectal tumors	Surg Endosc	20220700	Original Article
183	Suzuki K, Yamaguchi T, Kohda M, Tanaka M, Takemura H, Wakita M, Tabu Y, Kato S, Nasu M, Hashimoto T, Mine S, Serizawa N, Tomishima K, Nagahara A, Matsuda T, Yamaji T, Tsugane S, Saito Y, Daiko H, Yoshikawa T, Kato K, Okusaka T, Ochiya T, Yamamoto Y, Yotsui S, Yamamoto T, Yamasaki T, Miyata H, Yasui M, Omori T, Ohkawa K, Ikezawa K, Nakabori T, Sugimoto N, Kudo T, Yoshida K, Ohue M, Nishizawa T.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Establishment of preanalytical conditions for microRNA profile analysis of clinical plasma samples	PLoS One	20221214	Original Article
184	Matsuda T * †	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Expectations for and challenges in population-based endoscopic gastric and colorectal cancer screening	Dig Endosc	20220500	Original Article
185	Fukushi G †, Fujimoto A †, Hara K †, Nishikawa Y †, Matsuno T †, Matsuda T †, Igarashi Y †	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Fluoroscopic balloon dilatation with antegrade and retrograde endoscopes is useful for complete pharyngoesophageal obstruction after radiation therapy	Endoscopy	20221200	Original Article
186	Takuma K †, Okano N †, Ito K †, Ujiita W †, Iwata S †, Mizutani S †, Nakagawa H †, Watanabe K †, Yamada Y †, Kimura Y †, Yoshimoto K †, Iwasaki S †, Hara S †, Kishimoto Y †, Igarashi Y †, Matsuda T †, Amemiya K †.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Focal pancreatic ductal change induced by 10-Fr S-type plastic stent in chronic pancreatitis	Journal of gastroenterology and hepatology	20221116	Others
187	Fukushi G †, Yamada M, Kakugawa Y, Gotoh M, Tanabe N, Ushiyama M, Watanabe T, Yamazaki T, Matsumoto M, Hirata M, Nakajima T, Sugano K, Yoshida T, Matsuda T †, Igarashi Y †, Saito Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Genotype-phenotype correlation of small-intestinal polyps on small-bowel capsule endoscopy in familial adenomatous polyposis	Gastrointestinal endoscopy	20220907	Others

188	Ainechi D, Misawa M, Barua I, Larsen SLV, Paulsen V, Garborg KK, Aabakken L, Tønnesen CJ, Løberg M, Kalager M, Kudo SE, Hotta K, Ohtsuka K, Saito S, Ikematsu H, Saito Y, Matsuda T†, Itoh H, Mori K, Bretthauer M, Mori Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Impact of artificial intelligence on colorectal polyp detection for early-career endoscopists: an international comparative study	Scand J Gastroenterol	20221000	Original Article
189	Yusuke Fujiyoshi 1 2, Haruhiro Inoue 1, Mary Raina Angeli Fujiyoshi 1 2, Enrique Rodriguez de Santiago 3 4, Yohei Nishikawa 1, Akiko Toshimori 1, Mayo Tanabe 1, Yuto Shimamura 1, Kazuya Sumi 1, Masashi Ono 1, Hironari Shiwaku 5, Haruo Ikeda 1, Manabu Onimaru 1	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Learning curve for peroral endoscopic myotomy in therapeutic endoscopy experts and nonexperts: Large single-center experience	Digestive Endoscopy	20220900	Original Article
190	Nagai H†, Mukozu T†, Kobayashi K†, Nogami A†, Nagumo H†, Mohri K†, Watanabe G†, Amanuma M†, Yoshimine N†, Ogino Y†, Matsui D†, Daido Y†, Matsukiyo Y, Matsui T†, Wakui N†, Momiyama K†, Higai K†, Matsuda T†.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Lenvatinib Might Induce Activation of Host Immunity in Patients with Hepatocellular Carcinoma	Annals of surgical oncology : the official journal of the Society of Surgical Oncology	20221003	Others
191	Matsui T, Nagai H, Watanabe G, Mouri K, Yoshimine N, Amanuma M, Kobayashi K, Ogino Y, Mukozu T, Matsukiyo Y, Daidou Y, Wakui N, Nakano S, Momiyama K, Matsuda T, Igarashi Y.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Measurement of skeletal muscle volume is useful for predicting prognosis in patients with liver cirrhosis.	European journal of gastroenterology and hepatology	20221101	Original Article
192	Koyama Y, Yamada M, Makiguchi ME, Sekiguchi M, Takamaru H, Sakamoto T, Kono S, Fukuzawa M, Sylvia Wu SY, Sugumaran A, Kawai T, Matsuda T†, Itoi T, Saito Y	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	New scoring system to distinguish deep invasive submucosal and muscularis propria colorectal cancer during colonoscopy: a development and global multicenter external validation study (e-T2 Score)	Gastrointest Endosc	20220800	Original Article
193	Takamaru H, Saito Y, Toyoshima N, Yamada M, Sakamoto T, Matsuda T†.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Polyglycolic acid sheet with clipping for closing delayed perforation after colonic endoscopic submucosal dissection	Endoscopy	20221118	Others
194	Sekiguchi M, Matsuda T†, Hotta K, Saito Y	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Post-polypectomy surveillance: the present and the future	Clin Endosc	20220700	Review
195	Asokkumar R, Chiu HM, Kaltenbach T, Matsuda T, Soetikno R	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Proximal serrated polyp detection rate and interval post-colonoscopy colorectal cancer risk	Lancet Gastroenterol Hepatol	20221100	Others
196	Mary Raina Angeli Fujiyoshi, corresponding author 1 Yuto Shimamura, 1 Yusuke Fujiyoshi, 1 Kei Ushikubo, 1 Yuki Shibata, 1 Yohei Nishikawa, 1 Masashi Ono, 1 Haruo Ikeda, 1 Manabu Onimaru, 1 and Haruhiro Inoue 1	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Treatment of achalasia with peroral endoscopic myotomy in situs inversus totalis	Digestive Endoscopy	20220400	Original Article
197	Sato Y†, Kaneko R, Yano Y, Kamada K, Kishimoto Y†, Ikehara T, Sato Y, Matsuda T†, Igarashi Y†.	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森)	Volume–Outcome Relationship in Cancer Survival Rates: Analysis of a Regional Population–Based Cancer Registry in Japan	Healthcare (Basel)	20221221	Others
198	Nakagomi E†, Mikami T†, Funahashi K†, Okazumi S†, Shibuya K†, Hiruta N†, Igarashi Y†	医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野 (大森), 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野 (大森), 医学部 医学科 外科学講座 (佐倉), 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 病院病理学講座 (大森)	Cancer stem cell markers CD44v9+/CD133- are associated with low apoptosis in both sporadic and ulcerative colitis-associated colorectal cancers.	Histology and histopathology	20220600	Original Article
199	Takahashi F, Kano O†, Nagano Y, Yoneoka T, Nelson S, Ushirogawa Y	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Associations between the ALSFRS-R score and urate levels during 12 months of edaravone treatment for amyotrophic lateral sclerosis: Post hoc analysis of ALSFRS-R scores in clinical studies MCI186-16, MCI186-17, and MCI186-19	Muscle & nerve	20220811	Original Article

200	Takahashi F, Kano O†, Nagano Y, Yoneoka T, Nelson S, Ushirogawa Y	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Associations between urate levels and amyotrophic lateral sclerosis functional score with edaravone treatment: Post hoc analysis of studies MCI186-16, MCI186-17, and MCI186-19	Muscle & nerve	20220811	Original Article
201	Oki R, Izumi Y, MD, Fujita K, MD, Miyamoto R, Nodera H, MD, Sato Y, Sakaguchi S, MD, Nokihara H, MD, Kanai K, Tsunemi T, Hattori N, MD, Hatanaka Y, Sonoo M, Atsuta N, Sobue G, Shimizu T, MD, Shibuya K, Ikeda K, Kano O†, Nishinaka K, Kojima Y, Oda M, MD, Komai K, Kikuchi H, Kohara N, Urushitani M, Nakayama Y, Ito H, Nagai M, Nishiyama K, Kuzume D, Shimohama S, Shimohata T, Abe K, Ishihara T, Onodera O, Iose S, Araki N, MD, Morita M, Noda K, Toda T, Maruyama H, Furuya H, Teramukai S, Kagimura T, Noma K, Yanagawa H, Kuwabara S, Kaji R, Japan Early-Stage Trial of Ultrahigh-Dose Methylcobalamin for ALS (JETALS) Collaborators	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Efficacy and Safety of Ultrahigh-Dose Methylcobalamin in Early-Stage Amyotrophic Lateral Sclerosis: A Randomized Clinical Trial	JAMA : the journal of the American Medical Association	20220600	Original Article
202	Hirayama T†, Shibukawa M†, Yanagihashi M†, Warita H, Atsuta N, Yamanaka K, Kano O*†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Investigation of non-motor symptoms in patients with amyotrophic lateral sclerosis	Acta neurologica Belgica	20220820	Original Article
203	Hashimoto Y, Kano O†, Ebihara S	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Noise pareidolia test for predicting delirium in hospitalized older patients with cognitive decline	Geriatrics & Gerontology International	20220907	Original Article
204	Kano O*†, Tsuda H†, Hayashi A, Arai M	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Rasagiline as Adjunct to Levodopa for Treatment of Parkinson's Disease: A Systematic Review and Meta-Analysis	Parkinsons Disease	20220830	Original Article
205	Morioka H†, Hirayama T†, Sugisawa T†, Murata K†, Shibukawa†M, Ebina J†, Sawada M, Hanashiro S†, Nagasawa J†, Yanagihashi M†, Uchi M†, Kawabe K†, Washizawa N†, Ebihara S†, Nakajima T, Kano O*†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	Robot-assisted training using hybrid assistive limb ameliorates gait ability in patients with amyotrophic lateral sclerosis	Journal of Clinical Neuroscience	20220510	Original Article
206	Yokoi S, Ito T, Sahashi K, Nakatochi M, Nakamura R, Tohnai G, Fujioka Y, Ishigaki S, Udagawa T, Izumi Y, Morita M, Kano O†, Oda M, Sone T, Okano H, Atsuta N, Katsuno M, Okada Y, Sobue G	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森)	The SYNGAP1 3' UTR variant in ALS patients causes aberrant SYNGAP1 splicing and dendritic spine loss by recruiting HNRNPK	JOURNAL OF NEUROSCIENCE	20221019	Original Article
207	Sugisawa T†, Morioka H†, Hirayama T†, Kano O†, Ebihara S	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森)	Multidisciplinary clinic contributes to the decreasing trend in the number of emergency hospitalizations for amyotrophic lateral sclerosis in Japan	Journal of clinical neuroscience : official journal of the Neurosurgical Society of Australasia	20230100	Original Article
208	Otsubo Y†, Miyagi M†, Sekiya H†, Kano O†, Ebihara S*	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森), 医学部 医学科 口腔外科学研究室 (大森)	Improving taste sensitivity in healthy adults using taste recall training: a randomized controlled trial	Scientific Reports	20220816	Original Article
209	Morioka H†, Murata K†, Sugisawa T†, Shibukawa M†, Ebina J†, Sawada M†, Hanashiro S†, Nagasawa J†, Yanagihashi M†, Hirayama T†, Uchi M†, Kawabe K†, Ebihara S, Murakami Y†, Nakajima T, Kano O*†	医学部 医学科 内科学講座 神経内科学分野 (大森), 医学部 医学科 リハビリテーション医学研究室 (大森), 医学部 医学科 社会医学講座/医療統計学	Effects of Long-term Hybrid Assistive Limb Use on Gait in Patients with Amyotrophic Lateral Sclerosis	Internal Medicine	20220515	Original Article
210	Sato G†, Uchino H†*, Shimizu Y†, Tatebe J†, Morita T†, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 (大森)	Quantitative evaluation of insulin-induced abdominal subcutaneous dystrophic tissue using shear wave elastography.	Journal of Diabetes Investigation	20220600	Original Article
211	Igarashi H, Uchino H†*, Kanaguchi M, Hisanaga K†, Sato G†, Yoshikawa F†, Furuta M†, Washizawa N†, Usui S, Miyagi M†, Hirose T†	医学部 医学科 内科学講座 糖尿病・代謝・内分泌学分野 (大森), 医学部 医学科 臨床支援室	SGLT2 inhibitor versus carbohydrate-restricted isocaloric diet: Reprogramming substrate oxidation in type 2 diabetes.	Diabetology & Metabolic Syndrome	20230200	Original Article

212	Kaneko K, Shikano K, Kawazoe M, Kawai S, Nanki T	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (佐倉), 医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Efficacy of Denosumab for Osteoporosis in Patients with Rheumatic Diseases	Internal medicine (Tokyo, Japan)	20220815	Original Article
213	Kameda H, Nishida K, Nanki T, Watanabe A, Oshima Y, Momohara S.	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大橋), 医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Safety and Effectiveness of Certolizumab Pegol in Japanese Patients with Rheumatoid Arthritis: Results from a 24-Week Post-Marketing Surveillance Study	Modern Rheumatology	20220700	Original Article
214	Eri Watanabe, Youhei Sugiyama, Hiroaki Sato, Toshiyuki Imanishi, Akinari Fukuda, Kenjiro Takagi, Tomoyuki Asano, Kiyoshi Migita, Toshihiro Nanki, Shigeru Kotake	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	An adult-onset Still's disease during pregnancy that delivered a neonate with hemophagocytic lymphohistiocytosis and severe liver failure requiring liver transplantation: A case report and literature review	Modern Rheumatology Case Reports	20220600	Original Article
215	Mari Kihara, Takahiko Sugihara, Junichi Asano, Midori Sato, Hiroshi Kaneko, Sei Muraoka, Shiro Ohshima, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Clinical characteristics of COVID-19 patients with underlying rheumatic diseases in Japan: data from a multicenter observational study using the COVID-19 Global Rheumatology Alliance physician-reported registry	Clinical Rheumatology	20221200	Original Article
216	Mai Kawazoe, Toshihiro Nanki, Noboru Hagino, Noriko Ikegaya, Satoshi Ito, Masanari Koderu, Naoko Nakano, Miki Suzuki, Shinya Kaname, Masayoshi Harigai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Clinical characteristics of patients with polyarthritis nodosa based on a nationwide database in Japan	Mod. Rheumatol	20220400	Original Article
217	Naoto Tamura, Takanori Azuma, Kenta Misaki, Rei Yamaguchi, Fuminori Hirano, Eiji Sugiyama, Daisuke Kanai, Yohko Murakawa, Motohiro Oribe, Takahito Kimata, Kazutoshi Aoki, Tomoko Sugiura, Koji Takasugi, Yuya Takakubo, Yasuyuki Tomita, Takeo Isozaki, Toshihiro Nanki, Naooki Katsuyama, Takanori Kuroiwa, Hideto Oshikawa, Motohide Kaneko, Hiroshi Fujinaga, Kiwamu Saito, Eiichi Tanaka, Eisuke Inoue, Yuri Yoshizawa, Shigeru Matsumoto, Hisashi Yamanaka, Masayoshi Harigai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Effectiveness and safety of subcutaneous abatacept in biologic-naïve RA patients at week 52: A Japanese multicenter investigational study (ORIGAMI Study)	Modern Rheumatology	20220900	Original Article
218	Toshihiro Nanki, Mai Kawazoe, Kiyoko Uno, Wataru Hirose, Hiroaki Dobashi, Hiroshi Kataoka, Toshihide Mimura, Hiroshi Hagino, Hajime Kono	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Improvement in glucocorticoid-induced osteoporosis on switching from bisphosphonates to once-weekly teriparatide: a randomized open-label trial	Journal of Clinical Medicine	20230100	Original Article
219	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Long-term evaluation of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody, in Patients with Rheumatoid Arthritis Inadequately Responding to Biological Disease-modifying Antirheumatic Drugs	Modern Rheumatology	20230200	Original Article
220	Yoshiya Tanaka, Tsutomu Takeuchi, Hisashi Yamanaka, Toshihiro Nanki, Hisanori Umehara, Nobuyuki Yasuda, Fumitoshi Tago, Yasumi Kitahara, Makoto Kawakubo, Kentaro Torii, Seiichiro Hojo, Tetsu Kawano, Toshio Imai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Long-term Safety and Efficacy of E6011, an Anti-Fractalkine Monoclonal Antibody, in Patients with Rheumatoid Arthritis Inadequately Responding to Methotrexate	Modern Rheumatology	20230200	Original Article
221	Kenji Nagasaka, Shinya Kaname, Koichi Amano, Masaru Kato, Yasuhiro Katsumata, Yoshinori Komagata, Ken-Ei Sada, Eiichi Tanaka, Naoto Tamura, Hiroaki Dobashi, Toshihiro Nanki, Yasuaki Harabuchi, Masashi Bando, Sakae Homma, Takashi Wada, Masayoshi Harigai	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Nation-wide survey of the treatment trend of microscopic polyangiitis and granulomatosis with polyangiitis in Japan using the Japanese Ministry of Health, Labour, and Welfare Database	Modern Rheumatol	20220900	Original Article

222	Wataru Hirose, Masayoshi Harigai, Koichi Amano, Toshihiko Hidaka, Kenji Itoh, Kazutoshi Aoki, Masahiro Nakashima, Hayato Nagasawa, Yukiko Komano, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Real-world effectiveness and safety of tofacitinib and abatacept in patients with rheumatoid arthritis	Rheumatology Advance Practice	20221029	Original Article
223	Zento Yamada, Junko Nishio, Kaori Motomura, Satoshi Mizutani, Soichi Yamada, Tetuo Mikami, Toshihiro Nanki	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Senescence of alveolar epithelial cells impacts the initiation and chronic phase of murine fibrosing interstitial lung disease	Frontiers in Immunology	20220800	Original Article
224	Ken-ei Sada, Shinya Kaname, Tomoaki Higuchi, Shunsuke Furuta, Kenji Nagasaka, Toshihiro Nanki, Naotake Tsuboi, Koichi Amano, Hiroaki Dobashi, Keiju Hiromura, Masashi Bando, Takashi Wada, Yoshihiro Arimura, Hirofumi Makino, Masayoshi Harigai, for the Research Committee of Intractable Vasculitis Syndrome (JPVAS) and Research Committee of Intractable Renal Disease of the Ministry of Health, Labour, and Welfare of Japan	医学部 医学科 内科学講座 膠原病学分野 (大森)	Validation of new ACR/EULAR 2022 classification criteria for anti-neutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis using data from cohort studies	Modern Rheumatology	20230200	Original Article
225	Sakaeyama Y, Morisako H, Ohata H, Nakajo K, Johan Carlos Valenzuela, Juan Carlos Fernandez-Miranda, Goto T	医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森)	Endoscopic contralateral interhemispheric transfalcal keyhole approach for large falx meningioma	World Neurosurgery	20220707	Original Article
226	Chie Matsuura, Yutaka Fuchinoue, Sayaka Terazono, Kosuke Kondo, Naoyuki Harada, Nobuo Sugo.	医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森)	Intraperitoneal hemorrhage due to segmental arterial mediolysis associated with cerebral vasospasm after subarachnoid hemorrhage.	Clin Case Rep.	20220900	Case report
227	Fukushima D, Kondo K, Harada N, Terazono S, Uchino K, Shibuya K, Sugo N,	医学部 医学科 脳神経外科学講座 (大森) , 医学部 医学科 病理学講座, 医学部 医学科 脳神経外科学講座 (佐倉)	Relationship between Quantitative Hardness of Carotid Plaque and Histopathological Findings	Diagnostic Pathology. 2022 Jul	20220700	Original Article
228	Mizuki Kasahara, Tomo Shimizu, Hiroshi Aoki, † Mizuho Okawa †, Fumito Yamabe †, Hideyuki Kobayashi †, Koichi Nagao †, Koichi Nakajima †, Yoza Mitsui †	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Colon Cancer Metastasis to the Right Testis: Case Report and Review of Literature	Case Report in Urology	20220800	Case report
229	Rupin Shah , Ashok Agarwal, Koichi Nagao, The Global Andrology Forum	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Consensus and Diversity in the Management of Varicocele for Male Infertility: Results of a Global Practice Survey and Comparison with Guidelines and Recommendations	The world journal of men's health	20220600	Original Article
230	Kobayashi H †	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Editorial Comment on a case of hypogonadotropic hypogonadism due to hypophysitis discovered by secondary male infertility. IJU Case	IJU Case Reports	20230100	Others
231	Shunsuke Hori, Hideo Otsuki, Kei Fujio, Koichi Nakajima †, Yoza Mitsui †	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Impact of eliminating urethral catheterization following ureterorenoscopic lithotripsy	International Journal of Urology	20220429	Original Article
232	Mitsui Y* †, Yamabe F †, Hori S, Uetani M †, Aoki H †, Sakurabayashi K †, Okawa M †, Kobayashi H †, Nakajima K †, Nagao K †	医学部 医学科 泌尿器科学講座 (大森)	Significant inverse association of testosterone level with penile deformity severity in Japanese males with Peyronie's disease	International Journal of Urology	20230130	Original Article
233	Imafuku S, Ohata C, Okubo Y, Tobita R, Saeki H, Mabuchi T, Hashimoto Y †, Murotani K, Kitabayashi H, Kanai Y	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Effectiveness of brodalumab in achieving treatment satisfaction for patients with plaque psoriasis: The ProLOGUE study.	J Dermatol Sci.	2022. 3.	Original Article
234	Saida K, Chong PF, Yamaguchi A, Saito N, Ikehara H, Koshimizu E, Miyata R, Ishiko A †, Nakamura K, Ohnishi H, Fujioka K, Sakakibara T, Asada H, Ogawa K, Kudo K, Ohashi E, Kawai M, Abe Y, Tsuchida N, Uchiyama Y, Hamanaka K, Fujita A, Mizuguchi T, Miyatake S, Miyake N, Kato M, Kira R, Matsumoto N.	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Monogenic causes of pigmentary mosaicism	Hum Genet	2022. 11.	Original Article

235	Saeki H, Kanai Y, Murotani K, Ito K, Miyagi T, Takahashi H, Tada Y, Higashiyama M, Hashimoto Y†, Kitabayashi H, Imafuku S	医学部 医学科 皮膚科学講座 (大森)	Work productivity in real-life employed patients with plaquepsoriasis: Results from the ProLOGUE study.	J Dermatol	2022. 10.	Original Article
236	Shiori Amemiya, Naoyuki Takei, Tsuyoshi Ueyama, Keita Fujii, Hidemasa Takao, Koichiro Yasaka, Yusuke Watanabe, Kouhei Kamiya, Osamu Abe	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Accelerated Two-Point Dixon MR Angiography Improves Diagnostic Performance for Cervical Artery Diseases.	Journal of Magnetic Resonance Imaging	20220901	Original Article
237	Koji Kamagata, Christina Andica, Kaito Takabayashi, Yuya Saito, Toshiaki Taoka, Hayato Nozaki, Junko Kikuta, Shohei Fujita, Akifumi Hagiwara, Kouhei Kamiya, Akihiko Wada, Toshiaki Akashi, Katsuhiko Sano, Mitsuo Nishizawa, Masaaki Hori, Shinji Naganawa, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Association of MRI Indices of Glymphatic System With Amyloid Deposition and Cognition in Mild Cognitive Impairment and Alzheimer Disease.	Neurology	20220901	Original Article
238	Tomoko Maekawa, Masaaki Hori, Katsutoshi Murata, Thorsten Feiweier, Kouhei Kamiya, Christina Andica, Akifumi Hagiwara, Shohei Fujita, Koji Kamagata, Akihiko Wada, Osamu Abe, Shigeki Aoki	医学部 医学科 放射線医学講座 (大森)	Time-dependent Diffusion in Brain Abscesses Investigated with Oscillating-gradient Spin-echo.	Magnetic Resonance in Medical Sciences	20221001	Original Article
239	Murai S, Hishikawa T, Takeda Y†, Okura Y, Fushimi M, Kawase H†, Takahashi Y, Haruma J, Hiramatsu M, Sugiu K, Morimatsu H	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Depolarization time and extracellular glutamate levels aggravate ultraearly brain injury after subarachnoid hemorrhage	Scientific Reports	20220617	Case report
240	Satomoto M†, Hasegawa M, Adachi YU.	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Predicting postoperative delirium from the heart rate variability of patients in elective cardiac surgery	Eur J Anaesthesiology	20220603	Others
241	Satomoto M†	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Predicting Postoperative Emergence Delirium From the Heart Rate Variability of Patients Undergoing Elective Cardiac Surgery	Cureus	20230203	Original Article
242	Adachi Y, Satomoto M†, Kuroiwa K.	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Unilateral transversus abdominis plane block reduced dose of remifentanil during peritoneal dialysis catheter implantation	Eur J Anaesthesiology	20220603	Others
243	Shichinohe T, Date H, Hirano S, Kobayashi E, Izawa Y, Shirakawa Y, Hiramatsu M, Mase M, Taneichi H, Yaginuma H, Fujimoto T, Tsurumoto T, Watanabe M, Kurita H, Hato N, Kato T, Kanayama H, Suzuki T, Yamaguchi K, Takeda Y†	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Usage of cadavers in surgical training and research in Japan over the past decade	Anatomical Science International	20220700	Review
244	Fushimi M, Takeda Y, Mizoue R, Sato S, Kawase H, Takasugi Y, Murai S, Morimatsu	医学部 医学科 麻酔科学講座 (大森)	Cardiopulmonary resuscitation may not stop glutamate release in the cerebral cortex	J Neurosurg Anesthesiol	202203	Original Article
245	Goto A†, Kambayashi R†, Chiba K†, Nunoi Y†, Izumi-Nakaseko H†, Takei Y†, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野 (大森), 医学部 医学科 東洋医学研究室 (大森)	Impact of head-up position on the efficacy of cardiac massage assessed by the physical heart simulator Dock-kun.	Toho Journal of Medicine	20230100	Original Article
246	Goto A†, Kambayashi R†, Chiba K†, Nunoi Y†, Izumi-Nakaseko H†, Kawai S, Takei Y†, Matsumoto A†, Lurie K, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 外科学講座 心臓血管外科学分野 (大森), 医学部 医学科 東洋医学研究室 (大森)	Mechano-physiological analysis of active compression-decompression cardiac massage technique using the physical heart simulator.	Toho Journal of Medicine	20220905	Original Article
247	Chiba K†, Kambayashi R†, Goto A†, Izumi-Nakaseko H†, Takei Y†, Matsumoto A†, Chojimts G, Tanaka K†, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 東洋医学研究室 (大森)	Cardiovascular effects of Mongolian medical plant Aconitum barbatum in rats.	Toho Journal of Medicine	20220614	Original Article
248	Chiba K†, Kambayashi R†, Onozato M†, Goto A†, Izumi-Nakaseko H†, Takei Y†, Matsumoto A†, Tanaka K†, Kanda Y, Fukushima T†, Sugiyama A*†	医学部 医学科 薬理学講座, 医学部 医学科 東洋医学研究室 (大森), 薬学部 薬品分析学教室	Imatinib induces diastolic dysfunction and ventricular early-repolarization delay in the halothane-anesthetized dogs: Class effects of tyrosine kinase inhibitors.	Journal of pharmacological sciences	20220700	Original Article

249	Yasui Y†, Ishii T, Tatebe J, Morita T†.	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森)	Yasui Y†, Ishii T, Tatebe J, Morita T†. Comparative analysis on characteristics of two activated partial thromboplastin time reagents	Journal of clinical laboratory analysis	20220900	Original Article
250	Hanai Y†*, Yoshizawa S†, Matsuo K†, Uekusa S†, Miyazaki T†, Nishimura K, Mabuchi T, Ohashi H, Ishii Y†, Tateda K†, Yoshio T†, Nishizawa K	医学部 医学科 臨床検査医学講座(大森), 医学部 医学科 微生物・感染症学講座, 医学部 医学科 総合診療・救急医学講座(大森)	Evaluation of risk factors for uric acid elevation in COVID-19 patients treated with favipiravir.	Diagnostic Microbiology and Infectious Disease	20220422	Original Article
251	Masaru Tsuchiya, Naohiro Washizawa, Tetsuya Maeda, Jun Ishii, Kazutaka Kimura, Yu Matsumoto, Rei Okuda, Kimihiko Funahashi and Yuichiro Otsuka	医学部 医学科 臨床支援室, 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森)	Preoperative Nutrition Index and Prognosis in Unresectable Pancreatic Cancer Treated with Palliative Bypass Surgery Based on the Intraoperative Diagnosis	Toho Med	20221201	Original Article
252	Kikuchi Y*†, Yamaguchi K†, Funahashi K†, Arita Y†, Shimojo N†, Watanabe K†, Koshikawa I†, Wakabayashi M†, Izawa A†, Kagami S†, Kaneko T†, Ushigome M†, Shimada H†	医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 外科学講座 一般・消化器外科学分野(大森), 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Management of Postoperative Patients with Colorectal Cancer Using Information and Communication Technology: A Pilot Study	Toho Journal of Medicine	20220901	Original Article
253	Dan Nobuhiro, Yamaguchi Kazuhisa, Fuchinoue Kazuhiro Hijikata Kazunori Toba, Takahito, Kikuchi Yoshinori, Igarashi Yoshinori	医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Clinical Changes in Emergency Endoscopic Hemostasis for Gastroduodenal Ulcer	Toho Journal of Medicine	20220601	Original Article
254	Matsui T, Nagai H, Amanuma M, Kobayashi K, Ogino Y, Mukozu T, Wakui N, Okano N, Kikuchi Y, Matsumoto T, Igarashi Y	医学部 医学科 臨床腫瘍学講座, 医学部 医学科 内科学講座 消化器内科学分野(大森)	Usefulness of partial splenic embolization for left-sided portal hypertension in a patient with a pancreatic neuroendocrine neoplasm: a case report and review of the literature	Clinical Journal of Gastroenterology	20220801	Case report

計 254件

- (注) 1・当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2・報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3・「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4・「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5・「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名 出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6・「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

No.	著者・共著者	講座名	表題	掲載誌名	発行年月日	論文種別

- (注) 1・当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2・記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 委員会設置について、医学部長および病院長の責務について 倫理委員会の役割について、委員ならびに事務に従事する者の責務について 教育・研修について、申請の手続について、審査事項について、報告について 記録の保存について、審査結果等の公表について 実施状況の報告、調査・中止および変更命令について、臨時の専門部会の設置について	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年10回

- (注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。
2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 (手順書：見出し抜粋) 設置について、目的について、構成員について、職務について、予算について、事務について、規程改定について	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年10回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年1回
-----------------------	-----

・研修の主な内容

「APRIN e-ラーニングプログラム」 (W e b 講習につき受講は常時可能)

「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針および利益相反について」 (W e b 動画につき視聴常時可能)

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

東邦大学医学部は「より良き臨床医の育成」を学是としている。「より良き臨床医」とは、患者さんを全人的にかつ高い技術と適切な態度で診ることができる医師と考えている。卒後2年間の初期臨床研修が修了し、3年目以降は各自それぞれの専門分野に所属し研修を行うが、この後期臨床研修は、将来の医師としての質を決定する重要な期間である。

当院では、後期研修開始の卒後3年目以降は院内助教の職位を設け、大学付属病院においては専門性を求めた研修を行い、教育関連病院においては、それぞれの科の一般性を軸とした研修を行うことにより、幅広くかつ専門性の高い両輪での教育を実践している。

現在、具体的な後期研修プログラムには19の基本領域の他、多数のコース（口腔外科含む）があり（<https://www.trainee.med.toho-u.ac.jp/kouki/p2024.html>）、臨床医としての基礎から専門性の高い領域までの教育が行われ、各分野の認定医・専門医・指導医などの資格を取得できる教育体制を整えている。もちろん、臨床のみならず、研究活動を同時に行い、学位を取得することも可能である。さらに、後輩の教育も重要な責務であり、医学生や初期臨床研修医の教育を通じて、「より良き臨床医」としての基盤を構築できる研修体制を確立している。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	185.75 人
-------------	----------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

(2023.4.1 現在)

研修統括者	診療科	職位	臨床経験年数	特記事項
池田 隆徳	内科	教授	37	
高月 晋一	小児科	教授	26	
石河 晃	皮膚科	教授	37	
根本 隆洋	精神科	教授	28	
船橋 公彦	外科	教授	37	
高橋 寛	整形外科	教授	35	
中田 雅彦	産婦人科	教授	33	
堀 裕一	眼科	教授	28	
和田 弘太	耳鼻咽喉科	教授	27	
中島 耕一	泌尿器科	教授	29	
周郷 延雄	脳神経外科	教授	35	
堀 正明	放射線科	教授	26	
武田 吉正	麻酔科	教授	36	
栃木 直文	病理診断科	教授	23	

盛田 俊介	臨床検査科	教授	39	
本多 満	救急科	教授	40	
荻野 晶弘	形成外科	教授	24	
大國 生幸	リハビリテーション科	准教授	26	
瓜田 純久	総合診療科	教授	38	
松田 尚久	消化器内科	教授	29	
池田 隆徳	循環器内科	教授	37	
岸 一馬	呼吸器内科	教授	33	
竹林 ちあき	血液腫瘍科	臨床准教授	27	
弘世 貴久	糖尿病・内分泌科	教授	38	
酒井 謙	腎センター	教授	37	
狩野 修	脳神経内科	教授	24	
南木 敏宏	膠原病科	教授	33	
船橋 公彦	消化器外科	教授	37	
伊豫田 明	呼吸器外科	教授	31	
藤井 毅郎	心臓血管外科	教授	33	
高橋 正貴	小児外科	臨床准教授	18	
緒方 秀昭	乳腺・内分泌科	教授	35	
堀 正明	放射線科	教授	26	
寺原 敦朗	放射線科	教授	37	
端詰 勝敬	心療内科	教授	30	
田中 耕一郎	東洋医学科	准教授	21	
関谷 秀樹	口腔外科	准教授	31	

- (注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。
- (注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。
- (注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

◇医療安全全体研修（医療安全、感染管理、医薬品、医療機器、放射線被ばく、個人情報、インフォームド・コンセント、医療倫理など）：第1回目33日間、第2回目43日間：第1回目2385人、第2回目2381人

◇ 輸液ポンプ等医療機器に関する研修・3日・151名

◇ BLS・AED研修（看護師）・4.5日（半日計8回）・142名

◇ BLS・AED研修（クラーク、ヘルパーコメディカル等）・14回 378名

◇ インフォームドコンセント：2日（半日3回）・132名

◇ 看護倫理研修Ⅰ・2日（半日2回）・91名

◇ 看護倫理研修Ⅱ・2日（半日2回）・29名

◇ がん看護基礎研修・1月30日～2月26日の期間（e-learning）103名

・研修の主な内容：頭頸部領域における放射線治療の一連の過程を復習し、放射線技師等が自施設での手法を振り返り、さらなる技術・知識の更新を図る。

・研修の期間・実施回数：令和5年2月10日から3月3日 5回

・研修の参加人数：5名

② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）

・研修の主な内容

・研修の期間・実施回数

・研修の参加人数

◇クオリティマネジメント研修Ⅰ（医療ガス・医療安全）：1回：192名

◇ メンバーシップ研修：1日（1.5h×4回）・87名

◇ コミュニケーション研修：2日（半日2回）・20名

◇ プリセプター研修：1ヶ月（オンデマンド配信）・115名

◇ 看護補助者研修（各種）：7日（2h）・36名、12月3日～12月31日90分・88名
10月11日～12月3日・92名

- ◇ 看護管理者研修（各種）：8日（2h：8回）・124名
- ◇ 看護教育担当・指導者研修：3日（1.5h：3回）・62名
- ◇ クオリティマネジメント研修：1日（半日2回）・146名

③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況

- ・研修の主な内容：循環器疾患に関する高度かつ専門的な医療情報についての研修
- ・研修の期間・実施回数：1日・2回
- ・研修の参加人数：全体で50名（内研修医10名前後）
- ◇第155回心臓の会、2022年6月30日開催、新しい薬物を用いた心不全治療
- ◇第156回心臓の会、2023年1月26日開催、心臓弁膜症に対するカテーテル治療
- ◇東邦大学3病院合同医療安全研修（医療倫理・医療安全）：1回：49名
- ・第155回心臓の会：新しい心不全治療-僧帽弁閉鎖不全症に対するMitralClip-
2022. 6. 30、40名
- ・第156回心臓の会：新しい心不全治療-僧帽弁閉鎖不全症に対するMitralClip-
2023. 1. 27、40名

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ○ 2. 現状	(令和5年10月1日時点)
管理責任者氏名	病院長 瓜田純久	
管理担当者氏名	医療安全管理部・部長 前村俊満、感染管理部・部長 舘田一博、薬剤部・部長 松本高広、臨床工学部 副技師長 吉岡祐滋、総合相談部 部長 廣井直樹、中央放射線部 次長 中野秀治、医療情報管理センター 課長補佐 草道裕子、総務課 事務次長 平松武昌、人事課 課長 樋山恵、医事課 課長 原田将則、医事課 課長 涌井芳樹	

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務課
		各科診療日誌	医療情報管理センター
		処方せん	医療情報管理センター
		手術記録	医療情報管理センター
		看護記録	医療情報管理センター
		検査所見記録	医療情報管理センター
		エックス線写真	医療情報管理センター
		紹介状	医療情報管理センター
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	人事課
		高度の医療の提供の実績	診療科及び総務課
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	診療科及び総務課
		高度の医療の研修の実績	診療科及び総務課
		閲覧実績	医療情報管理センター
	規則第一條の十一第一項に掲げる事項	紹介患者に対する医療提供の実績	医事課
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	薬剤部及び医事課
		医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	総務課及び医療安全管理部	
			<p>・書面綴りキャビネットでの施錠保管管理</p> <p>・電子保存およびターミナルデジット方式にて分類</p> <p>・診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定</p> <p>※診療録の学外への持出は原則禁止（「診療記録・診療諸記録取り扱いに関する規定」に準ずる）</p> <p>・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。</p> <p>・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。</p>

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染管理部	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染管理部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染管理部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	薬剤部	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	臨床工学部および中央放射線部	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	臨床工学部および中央放射線部	
医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	臨床工学部および中央放射線部			
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	臨床工学部および中央放射線部			

		保管場所	管理方法	
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	医療安全管理部および総務課	・当該規程・規約等に準じ、担当部門において、コンピュータ又はファイル等により保管、管理している。
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務課及び感染管理部	
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部	
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	医療安全管理部	
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	医療情報管理センター	
		医療安全管理部門の設置状況	医療安全管理部	
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術管理部	
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等管理部	
		監査委員会の設置状況	法人本部および病院総務課	
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部	
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部	
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	総合相談部	
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	医療安全管理部	
		職員研修の実施状況	医療安全管理部	
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	医療安全管理部および総務課	
管理者が有する権限に関する状況	法人本部および総務課			
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	法人本部および総務課			
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	法人本部および総務課			

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. <input checked="" type="radio"/> 現状
閲覧責任者氏名	事務部総務課 事務次長 平松 武昌
閲覧担当者氏名	事務部総務課 課長 安江 紀治
閲覧の求めに応じる場所	・個人情報管理室
閲覧の手続の概要 病院宛てまたは病院長宛の公文書(書面)による依頼・照会に基づき、閲覧の申込みを受け付ける。受け付けられた内容に対し、病院長が認めた内容について閲覧を実施する。 なお、閲覧は、管理部署(事務部総務課)職員ならびに関係の教職員が立ち会い、指定の閲覧場所(個人情報管理室)にて行う。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>I 医療安全管理に関する基本的方針 II 組織および体制 III 職員研修 IV 報告等に基づく医療に係る安全確保を目的とした改善方策 V 医療事故発生時の対応 VI 医療従事者と患者との間の情報共有 VII 患者等からの苦情・相談への対応 VIII 医療安全のための外部評価 IX 本指針の見直し</p>	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（有・無）【医療安全管理委員会】 ・ 開催状況：年 45回（週 1回） ・ 活動の主な内容：</p> <p>1) 重大な問題、医療安全管理委員会において取り扱うことが適当な問題が発生した場合は、速やかに原因究明のための調査及び分析を行うこと。原因究明のための調査及び分析は、客観的事実から構造的原因を分析するものであり、個人の責任追及を行うものではないことに留意すること。</p> <p>2) 分析の結果を活用した医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知を行うこと。医療安全の確保を目的とした改善方策の立案及び実施並びに従業者への周知とは、組織としての改善方策を企画立案及び実施し、医療機関において情報を共有するものであること。また、改善方策は、背景要因及び根本原因を分析し検討された効果的な再発防止策等を含むものであること。</p> <p>3) 改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しを行うこと。改善方策の実施状況の調査及び必要に応じた当該方策の見直しとは、同様の事故等の発生状況の確認や、医療安全管理委員会の構成員が定期的に関係部署の巡回を行うなどをして調査を行い、必要に応じて医療安全の知見に基づいた見直しを行うものであること。</p> <p>4) 必要な検討内容について患者への対応状況を含め管理者へ報告すること。</p>	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 2 回
<p>・ 研修の内容（すべて）：</p> <p>医療安全管理、感染管理、医薬品、医療機器、放射線被ばく、産業保健 個人情報、インフォームド・コンセント</p> <p>・ 第1回 全体研修（Webセミナー） 2385 名（8/29～9/30） ・ 第2回 全体研修（Webセミナー） 2381 名（12/20～1/31）</p>	

④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況

- ・ 医療機関内における事故報告等の整備 (有 無)
- ・ その他の改善のための方策の主な内容 :

- 1) 院内での医療事故やヒヤリハット、その他報告が必要な事象に遭遇した場合インシデント・アクシデント支援システム(あんしん君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
入院患者の死亡・死産は、院内死亡報告として、院内報告システム(モニタ君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
- 2) 管理者が定める22項目に該当する症例は、毎日報告(院長報告)として、院内報告システム(モニタ君)へ入力し、医療安全管理部へ報告する。
その後、医療安全管理上の課題が認められる事例等は、関係者にMMカンファレンスの開催、また必要時、医療安全報告書の提出を求める。
- 3) 毎週開催される医療安全管理委員会において、あんしん君と毎日報告(院長報告)で報告され全事例を評価する。その内、改善が必要と思われる事例については、関係者へ改善策の策定を求める。院内で協議・調整が必要な改善策は、医療の質統括会議へ提出する。

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>骨子「院内感染より患者及び医療従事者の身を守るために、手指衛生及び感染予防策を徹底させる」</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 感染対策に関する基本的考え方 2. 感染対策のための委員会等の組織に関する基本事項 3. 感染対策のための従事者に対する研修に関する基本指針 4. 感染症の発生状況の報告に関する基本方針 5. 感染症発生時の対応に関する基本方針 6. 他病院との連携に関する基本方針 7. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 8. その他の感染対策の推進のために必要な指針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 12 回
<p>・ 活動の主な内容：毎月1回定例として委員会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 厚労省・東京都等からの通達 ・ 感染症報告書の集計報告 ・ 主要菌サーベイランス報告 ・ 抗菌薬使用状況、耐性菌発生件数報告 ・ ICTラウンド結果報告 ・ 耐性菌警告書発行報告 ・ マニュアル改定・作成報告 ・ 研修報告 ・ 感染防止対策加算における連携に関する活動報告等を行い、院内感染上問題となる状況やその徴候について審議。また、衛生委員会、医療安全管理部と連携し、感染対策の推進を図っている。 	

③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 17 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）： <ul style="list-style-type: none"> ・ 全職員対象とした全体研修を年2回実施 ・ 新型コロナウイルス感染症の研修 ・ 新規採用者対象の院内感染の基礎知識等 ・ 微生物検査の提出と結果の解釈 ・ 感染症診療の基本とTDM・届出 ・ 結核画像診断・空気感染予防策 ・ カテーテル関連血流感染対策 ・ 静脈注射研修 ・ 耐性菌伝播予防策の知識の習得 ・ 院内清掃を行う職員のための感染対策 	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院における発生状況の報告等の整備 (<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 各検査部における各種耐性菌の早期発見 ・ 電子カルテシステムを利用した感染情報の共有 ・ 臨床現場における感染予防策の徹底と耐性菌警告文書の発行 ・ 各種サーベイランスの実施 ・ 病棟・外来・その他施設の環境ラウンド及び耐性菌検出患者のラウンドの実施 ・ 抗菌薬適正使用の教育・推進活動 ・ 感染対策関連マニュアルの見直しと改訂 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 12 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 医薬品の有効性・安全性に関する情報 ・ 使用方法に関する事項 ・ 業務手順書に関する事項 ・ 副作用が発生した場合の対応に関する情報 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： ・ 医薬品の業務手順書の作成 ・ 医薬品の安全使用のための研修 ・ 業務手順書に基づく実施状況の確認・記録 ・ 改善のための方策の実施 	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例(あれば)： SARS-Cov-2に起因するHLH(血球貪食性リンパ組織球症)の小児症例におけるアクテムラ注の使用 ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>1) PMDAおよび製薬企業からの医薬品安全情報を速やかに伝達(お知らせの配布・院内ネット(メール配信)の利用・会議報告)。</p> <p>2) クオリティマネージャー会議等を通じて報告内容を全職員に閲覧し周知を図っている。</p> <p>3) 院内副作用報告は医薬品情報室で一元化し、薬事委員会で報告後職員にも情報を発信している(14件)。</p> <p>以上の情報は、院内イントラネットで職員が全て随時入手できる体制となっている</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 39回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 除細動器の院内配置と使用時の留意点について講義 ・ 人工呼吸器の操作、注意事項についての講義および実技指導 ・ 放射線治療装置の操作、注意事項についての講義 ・ 閉鎖式保育器の操作、注意事項についての講義 	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る計画の策定 (有・無) ・ 機器ごとの保守点検の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> ・ 外部委託（メーカー）定期保守：人工呼吸器、放射線治療装置、血液浄化装置、閉鎖式保育器、人工心肺装置、補助循環装置、除細動器 ・ 院内実施定期保守：輸液・シリンジポンプ、血液浄化装置、除細動器 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）： ・ その他の改善のための方策の主な内容： <ul style="list-style-type: none"> 前年度の実績は無し 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全・医療の質に関わる担当者を指揮し、当院の医療安全を統括する。当院では安全担当副院長がその役割を担う。毎週開催される医療安全管理委員会に、医療安全管理部、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者、医療放射線安全管理責任者等が参加、各担当業務の状況を医療安全管理責任者に報告している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（1名）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況 薬剤部</p> <p>・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は、医療法施行規則第9条20の2第3項第3号イ、ロに掲げる措置を適切に実施するとともに、その担当者に医療安全管理室専従の薬剤師を配置している。 ・医療安全管理室専従の薬剤師を活用し、新規採用職員・中途採用職員に対する医薬品安全使用のための教育を実施している。 ・医薬品に関する情報の収集・整理は、医薬品情報室に行わせる。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品安全管理責任者は医療安全管理室専従薬剤師に指示し、各部署からの未承認や適応外・禁忌に使用する医薬品情報を収集し報告を受ける。医療安全管理室専従薬剤師は医療安全管理委員会にて報告を行う。これらの報告から医薬品安全管理責任者は、必要に応じ医薬品の適正使用にかかる注意喚起（禁忌等や緊急安全性情報等）を院内全体に行わせ、必要に応じ手順の見直しを行っている。 <p>・担当者の指名の有無 <input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無</p> <p>・担当者の所属・職種：</p> <p>（所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p> <p>（所属： ， 職種 ） （所属： ， 職種 ）</p>	

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	(有) 無
<p>・ 医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (有) 無)</p> <p>・ 説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容 :</p>	

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	(有) 無
<p>・ 診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容 :</p> <p>【診療録等の記載内容の確認】</p> <p>全退院患者の診療録・診療諸記録について確認を行う〔量的監査〕と全診療科の診療録・診療諸記録について確認を行う〔質的監査〕にて診療録等の記載内容を確認している。記載内容の監査については、以下の項目を中心に「診療録・診療諸記録監査マニュアル」に則って確認を行い、不備等があれば当該診療責任者と記載医へ通知を行っている。</p> <p>○確認項目：診療記録（検閲状況・経過記録の適時記載等）、インフォームド・コンセント、カンファレンス記録、手術記録、退院サマリー、書類（入院診療計画書・検査等承諾書・手術承諾書・麻酔承諾書）</p> <p>【主な指導（通知）内容】</p> <p>各項目の未記載・不備、病名の訂正・追加、日付の誤り、略語の訂正、I Cや書類の不備 等</p>	

⑥ 医療安全管理部門の設置状況	(有) 無
<p>・ 所属職員：専従（12）名、専任（ ）名、兼任（13）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（4）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>うち看護師：専従（3）名、専任（ ）名、兼任（1）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 医療安全管理に関する基本的考え方や組織に関する基本的事項について明示した指針の策定に関すること 2) インシデント及びアクシデントの実態の把握と、その背景要因の分析と評価に関すること 3) 医療の質の向上に関すること 	

- 4) 院長報告基準に該当する事例が発生した場合、診療録その他の記録棟が正確かつ十分になされていることの確認及び指導、事例の記録、保管に関すること
- 5) 医療事故発生時の患者や家族の説明など対応状況についての確認、及び事故等の原因究明が適切に実施されていることの確認及び、指導に関すること
- 6) 医療に係る安全の確保に資する診療状況の把握及び、職員の医療の安全に関する意識の向上の状況を確認し記録すること
- 7) 医療安全に関わる連絡調整に関すること
- 8) 医療の質統括会議の記録事務に関すること
- 9) 相談窓口等の担当者と密接な連携を図り、医療安全に係る患者・家族の相談に適切に応じる体制を支援すること
- 10) 定期的に院内を巡回し各部門における医療安全対策の実施状況を把握・分析し、医療安全確保のために必要な業務改善等の具体的な対策に関すること
- 11) 医療安全管理部に関わる研修会の企画・運営に関すること
- 12) 医療安全管理委員会で用いられる資料及び議事録の作成及び保存、その他医療安全管理委員会の庶務に関すること
- 13) 医療安全文化の醸成に関すること
- 14) その他医療安全の推進に関すること

※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。

※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。

⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（ 12 件）、及び許可件数（ 11 件）
- ・ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（ 有・無 ）
- ・ 高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（ 有・無 ）

・ 活動の主な内容：

高難度新規医療技術の導入を行う際には、各診療科から書類で高難度新規医療技術管理部門に申告する。高難度新規医療技術管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。

評価委員会は管理部門とは独立しており、導入の可否、導入の方法を審議しその結果を管理部へ報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会の審議結果を含めて病院長に報告し、最終的な導入の決定を行う。

実施前と実施後、3ヶ月後、6ヶ月後、1年後に患者の状況の確認（モニタリング）を行い、病院長に報告する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（有・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

- ・ 前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（24件）、及び許可件数（24件）
- ・ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）

・ 活動の主な内容：

国内未承認の医薬品・医療機器または国内承認済みの医薬品・医療機器を保険適応外で使用した場合は、各診療科から書類で未承認新規医薬品等管理部に申請を行う。未承認新規医薬品等管理部は内容を確認し、評価委員会での審議が必要か否かを審議する。評価委員会は使用の可否を検討し管理部へ検討結果を報告する。報告を受けた管理部は、評価委員会での結果を評価し、最終的な使用開始の決定を行う。使用を認めた医薬品や医療機器について、患者への説明および医療行為が適切に行われているかをモニタリングし評価する。

- ・ 規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（有・無）
- ・ 未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（有・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

- ・ 入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 443 件
- ・ 上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実

及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 285 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

(入院患者が死亡した場合の報告事項)

名称：院内死亡報告

システム：モニタ君

報告内容：入院患者の死亡および死産

対応：担当医は、入院患者の死亡および死産を、医療安全管理部へ報告する。医療安全管理部は、死亡・死産症例の診療記録を確認し、予期せぬ死亡かどうか、医療行為に起因するかどうかを確認する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

(入院患者の死亡以外の水準)

名称：毎日報告（院長報告）

システム：モニタ君

報告内容：濃厚な処置や治療が必要となる(3b以上となり得る)22項目を院長が設定、毎日病棟等関係部署より発生があったかどうか、あった場合は項目番号が医療安全管理部へ報告される。

対応：医療安全管理部内で毎日、現病等による病状の悪化か、予期したものか、加えられた追加治療は何か、3b以上であるか、等を検討する。医療安全管理部内の検討結果を、毎週開催される医療安全管理委員会で報告し、必要な対応等について審議する。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

・他の特定機能病院等への立入り

((有) (病院名：国立がんセンター東病院、東京女子医科大学病院) ・無)

・他の特定機能病院等からの立入り受入れ ((有) (病院名：国立がんセンター東病院、東京女子医科大学病院) ・無)

・技術的助言の実施状況

・国立がんセンター東病院からの助言

コロナ以前に行われていたような、診療科横断的に情報共有されるようなM&Mカンファレンスの開催を検討していただきたい。

・東京女子医科大学病院からの助言

Web形式でピアレビューを実施したが、技術的助言はなかった。

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

・体制の確保状況

窓口の名称：総合相談・がん相談支援センター

相談日・時間：月曜日から金曜日 9:00 から 17:00

土曜日 9:00 から 14:00

(祝日・第3土曜日・年末年始・創立記念日 6/10 は除く)

責任者氏名：廣井直樹(医師)

(活動状況等)

●患者等への明示方法

- ・ポスターを1号館・2号館・3号館・5号館入り口付近、各科外来、検査施設等、全病棟に掲示し案内している。
- ・病院リーフレット「総合相談のご案内」を配布用として9か所に配置している。
- ・入院受付で配布している「入院のご案内」に掲載している。
- ・総合相談部入口横にカウンターを設け積極的に対応を行っている。
- ・院内案内図「A0(総合相談部)」場所(窓口)を案内している。
- ・ホームページに総合相談部の「主な活動」「相談内容」などを掲載している。

●患者等が不利益を受けないよう適切に配慮の具体的方策

- ・東邦大学医療センター大森病院 総合相談部規約第14条(相談情報の秘密保護)の規定順守。
- ・ポスター、リーフレット、ホームページに「個人情報を厳守し、不利益が生じないよう配慮しています」と記載している。

●相談窓口以外の相談方法

- ・ご意見箱の設置(23か所)
- ・電話相談
- ・大森病院ホームページ上にご意見・お問い合わせを受け取れる
- ・入力フォームの設置

⑫ 職員研修の実施状況

・研修の実施状況

- ・全体研修 Web セミナー（医療安全、感染管理、医薬品、医療機器、放射線被ばく、個人情報インフォームド・コンセント、医療倫理など）
- ・新入職者対象クオリティーマネジメント研修（2回／医療ガス、医療安全）
- ・新研修医対象 医療安全研修（医療安全・医療機器）
- ・CVC挿入認定医研修、CVCインストラクター指導医養成研修会
- ・PICC挿入研修
- ・東邦大学3病院合同医療安全研修会（医療倫理・医療安全）

(注) 前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

・研修の実施状況

大森病院全体研修（オンデマンド）の中で「医薬品の安全使用」をテーマに実施した（2022/8/29～9/30）

管理者（病院長）

【研修時期】2023年2月2日

【研修内容】2022年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療安全管理責任者

【研修時期】2023年1月16日

【研修内容】2022年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療機能評価機構

医薬品安全管理責任者

【研修時期】2022年12月7日

【研修内容】2022年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】公益財団法人 日本医療機能評価機構

医療機器安全管理責任者

【研修時期】 2022年11月30日

【研修内容】 2022年度 特定機能病院管理者研修

【主催者名】 公益財団法人 日本医療機能評価機構

(注) 前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

令和3年3月24～26日に公益財団法人 日本医療機能評価機構受審

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

結果について、病院ホームページにて公表。

・ 評価を踏まえ講じた措置

①患者説明・承諾書の改訂文書使用の徹底・継続的なモニタリングを実施。

②BLS・AED講習会の年次計画を立て、実施。

(注) 記載時点の状況を記載すること

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

管理者に必要な資質及び能力に関する基準
<ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <p>東邦大学医学部附属病院長選任規程（内規）（令和3年1月1日 一部改訂）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 特定機能病院の被選任権者については前項に加え医療の安全の確保のために必要な資質及び能力（医療安全管理業務の経験や患者安全を第一に考える姿勢及び指導力を含む）及び組織管理能力等の当該病院を管理運営する上で必要な資質及び能力（当該病院内外での組織管理経験を含む）を有する者とする。また、選考に当たって、選考委員会は、求める資質及び能力についてあらかじめ当該病院のホームページに公表しなければならない。 ・ 医療安全管理業務の経験とは、各号のいずれかの業務に従事した経験を有する者とする。 <ul style="list-style-type: none"> （1）医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者の業務 （2）医療安全管理委員会の構成員としての業務 （3）医療安全管理部門における業務 （4）その他上記に準じる業務 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表</p> <p>https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p>

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・○無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無（ <input type="radio"/>有・無 <input type="radio"/> ） ・ 公表の方法 <p>病院のウェブサイトにて、規程を公表</p> <p>https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/senkou.html</p> 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
炭山 嘉伸	理事長	○	選任規程による	○有・無
白井 久己	常務理事		選任規程による	○有・無
中村 俊一郎	常務理事		選任規程による	○有・無
高松 研	学長		選任規程による	○有・無
盛田 俊介	医学部長		選任規程による	○有・無
五十嵐 良典	病院所属の教授		選任規程による	○有・無

渡邊 善則	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
中島 耕一	病院所属の教授		選任規程による	○有・無
田中 耕一郎	病院所属の准教授		選任規程による	○有・無
木内 俊介	病院所属の講師		選任規程による	○有・無
小林 七郎	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無
川村 雅文	外部委員		選任規程による (利害関係無し)	有・○無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無		○有・無	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 合議体の主要な審議内容 <p>診療部委員会（病院意思決定機関）で、病院の運営方針、中期計画、予算及び決算などを審議する。</p> ・ 審議の概要の従業者への周知状況 <p>会議の議事録等は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 合議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 <p>内部規程は院内イントラネットを用いて、各部署で閲覧できる仕組みにしている。</p> ・ 外部有識者からの意見聴取の有無（ 有・○無 ） 			
合議体の委員名簿			
氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
診療部委員会名簿 別紙参照			

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ）
- ・ 公表の方法
病院ウェブサイト (<https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/tokutei.html>)
および院内細則
- ・ 規程の主な内容
管理者が病院の管理・運営に必要な指導力を発揮できる内容、有する権限を記載している。
<一部抜粋>
管理者は、前項に定めるもののほか、次の各号に掲げる事項に関する職務を行う。
 - (1) 医療安全管理について、十分な知見に基づく高度な医療安全管理体制の確保
 - (2) 高度かつ先進的な医療の提供
 - (3) 病院組織の総合的な状況把握と、これらを含めた適切な病院の管理及び運営
 - (4) 高度の医療技術の研究、開発及び評価
 - (5) 学生、医師、関連医療職の医療に関する教育及び研修等の実施
 - (6) 地域医療機関との連携
 - (7) 診療及び病院の運営等に関する諸記録の適正な管理
 - (8) 病院に関する経営情報等の把握と経営状況の改善
 - (9) 病院情報システムの管理
 - (10) 病院の個人情報の管理
 - (11) 病院の事業計画、中期計画、予算の策定及び管理
 - (12) 病院の施設整備及び改善
 - (13) 病院に勤務する職員の労働環境及び労働条件の改善
 - (14) 理事会への病院部門の意向提言及び病院職員への経営方針等重要事項の周知
 - (15) 理事長から特別に委任された事項
 - (16) その他の病院運営に関する重要な事項
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割別紙参照（執行部担当表）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
院内研修として、将来構想若手勉強会の開催
外部研修として、医事研究会、医療安全研修などへ参加している。

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する状況

監査委員会の設置状況	○有・無
<p>・ 監査委員会の開催状況：年2回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p style="padding-left: 20px;">◇委員会は、当該病院における医療安全管理責任者、医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者、医療機器安全管理責任者等の業務状況について、管理者等から報告を求め、または必要に応じて自ら確認を実施する。医療安全に関する研修報告、事故事例報告、医療安全運営改善報告などがこれにあたる。</p> <p>・ 監査委員会の業務実施結果の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員名簿の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 委員の選定理由の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 監査委員会に係る内部規程の公表の有無（○有・無）</p> <p>・ 公表の方法：</p> <p style="padding-left: 20px;">病院ウェブサイトにて公開 https://www.omori.med.toho-u.ac.jp/byoin/evaluation/audit.html</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
梅田 勝	東京工科大学 医療保健学部 学部長（医師）	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
小林 七郎	弁護士（東京弁護士会）		法律に関する識見を有する者	有・○無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
岩本 裕	NHKチーフ・プロデューサー		医療メディアに関する識見を有する者	有・○無	医療を受ける者その他の医療従事者以外の者
高松 研	東邦大学 学長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
盛田 俊介	東邦大学医学部 学部長 (医師)		医療に関する識見を有する者	○有・無	医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
				有・無	

- (注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。
1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
 2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
 3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・ 体制の整備状況及び活動内容
法人本部監査室

- ・ 専門部署の設置の有無 (有・無)
- ・ 内部規程の整備の有無 (有・無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (有・無)

- ・ 公表の方法
学内ポータルサイト

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 <ul style="list-style-type: none"> ◇理事会（法人） <ul style="list-style-type: none"> 理事会は、病院の予算執行状況等、管理運営に関する重要事項について監督する ・ 会議体の実施状況（ 年11回 ） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（ ○有・無 ）（ 年11回 ） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（ ○有・無 ） ・ 公表の方法 学内ポータルサイト 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：理事会			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
理事会名簿 別紙参照			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第 15 条の 4 第 1 項第 4 号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 通報件数 (令和 4 年度 : 0 件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無)・ 周知の方法 全体研修および各種会議にて報告、院内通知文での発信

執行部担当表

職名	氏名	所属		担当	主催会議・委員会(規約要件)
病院長	ウリタ ヨシヒサ 瓜田 純久	総合診療内科	教授		01 病院運営審議会 04 院内選考委員会 07 医療の質統括会議 13 薬事委員会 14 新規診療材料購入委員会 37 心肺蘇生委員会 41 ボランティアコーディネート委員会 35 臨床修練委員会
副院長	フナハシ キミヒコ 船橋 公彦	消化器外科	教授	◎安全管理統括 ◎医療安全・医療の質 ◎病床運営 ◎中央手術部運営 ◎教育(学生)	07 医療の質統括会議 09 医療安全管理委員会 52 特定行為業務管理委員会 10 がんセンター運営委員会 8 中央手術部運営委員会
副院長	サカイ ケン 酒井 謙	腎センター	教授	◎診療・当直関係 ◎院内感染統括 ◎労働安全衛生統括 ◎教育(研修医・職員) ◎機能評価	04 院内選考委員会 013 院内感染対策委員会 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会 42 衛生委員会 46 院内清掃環境委員会 16 栄養委員会 33 院内教育委員会 34 院内研修運営委員会 36 研修管理委員会 ※ 将来構想委員会
副院長	ナカジマ コウイチ 中島 耕一	泌尿器科	教授	◎業務管理統括 ◎地域連携・救急 ◎病床調整 ◎ハラスメント ◎労働安全衛生 ◎予算	18 臨床検査検討委員会 20 地域医療支援センター運営委員会 47 広報委員会 ○羽田診療を含む 26 働き方改革検討委員会(運審推薦:外科) ※ 医学部予算委員会
副院長	オハラ マサコ 小原 雅子	看護部	部長	◎看護担当 ◎病床運営 ◎特定行為関係	4 看護師長会議 43 レクリエーション委員会 52 特定行為業務管理委員会
院長補佐	スゴウ ノブオ 周郷 延雄	脳神経外科	教授	◎業務関係 ◎検診関係 ・放射線安全管理	2 医局長会議 3 業務管理会議 24 輸血療法委員会 21 検診センター運営委員会
院長補佐	ナンキ トシヒロ 南木 敏宏	膠原病科	教授	◎倫理関連 ◎国際医療支援統括	02 大森病院倫理委員会 18 先進医療委員会 19 TDM委員会 05 治験審査委員会 50 国際医療支援部運営委員会 11 未承認新規医薬品等評価委員会
院長補佐	ホリ ユウイチ 堀 裕一	眼科	教授	◎外来・病棟運営 ◎保育園運営	35 臨床修練委員会 40 「からだのとしよしつ」運営委員会 6 外来運営委員会 7 病棟運営委員会 ※ 保育園運営委員会
院長補佐	マエムラ トシミツ 前村 俊満	医療安全管理部	臨床教授	◎医療安全 ◎総合相談	9 医療安全管理委員会 12 総合相談部運営委員会 38 患者サービス・サポート委員会
院長補佐	タカイ ユウジロウ 高井 雄二郎	卒後臨床/ 生涯教育セ ンター	教授	◎個人情報	11 未承認新規医薬品等評価委員会 25 個人情報保護委員会 15 クリニカルパス委員会 28 電子情報委員会
院長補佐	ミヤザキ タイ 宮崎 泰斗	感染管理部	院内講師	◎感染管理	013 院内感染対策委員会
事務部長	オオシマ マサル 大島 勝	事務部	部長	◎事務部管理	5 事務部課長会議 29 医療ガス安全管理委員会 31 院内廃棄物管理委員会

診療部委員会

役職	氏名	規約構成（選出根拠）	所属
委員長	瓜田 純久	病院長	病院長
委員	船橋 公彦	副院長	副院長
委員	酒井 謙	副院長	副院長
委員	中島 耕一	副院長	副院長
委員	小原 雅子	副院長	副院長
委員	瓜田 純久	各科診療責任者	総合診療内科
委員	松田 尚久	各科診療責任者	消化器内科
委員	船橋 公彦	各科診療責任者	消化器外科
委員	池田 隆徳	各科診療責任者	循環器内科
委員	藤井 毅郎	各科診療責任者	心臓血管外科
委員	岸 一馬	各科診療責任者	呼吸器内科
委員	伊豫田 明	各科診療責任者	呼吸器外科
委員	弘世 貴久	各科診療責任者	糖尿病・代謝・内分泌センター
委員	酒井 謙	各科診療責任者	腎センター
委員	狩野 修	各科診療責任者	脳神経内科
委員	周郷 延雄	各科診療責任者	脳神経外科
委員	南木 敏宏	各科診療責任者	膠原病科
委員	高月 晋一	各科診療責任者	小児科
委員	高橋 正貴	各科診療責任者	小児外科
委員	高月 晋一	各科診療責任者	小児循環器科
委員	竹林 ちあき	各科診療責任者	血液・腫瘍科
委員	緒方 秀昭	各科診療責任者	乳腺・内分泌外科
委員	端詰 勝敬	各科診療責任者	心療内科
委員	根本 隆洋	各科診療責任者	精神神経科
委員	荻野 晶弘	各科診療責任者	形成外科
委員	高橋 寛	各科診療責任者	整形外科
委員	中田 雅彦	各科診療責任者	産婦人科
委員	石河 晃	各科診療責任者	皮膚科
委員	中島 耕一	各科診療責任者	泌尿器科
委員	堀 裕一	各科診療責任者	眼科
委員	和田 弘太	各科診療責任者	耳鼻咽喉科
委員	堀 正明	各科診療責任者	放射線科
委員	武田 吉正	各科診療責任者	麻酔科
委員	田中 耕一郎	各科診療責任者	東洋医学科
委員	増本 健一	各科診療責任者	新生児科
委員	大国 生幸	各科診療責任者	リハビリテーション科
委員	関谷 秀樹	各科診療責任者	口腔外科
委員	栃木 直文	各科診療責任者	病理診断科
委員	鷺澤 尚宏	中央診療部門	栄養治療センター
委員	中村 陽一	中央診療部門	緩和ケアセンター

委員	菊池 由宣	中央診療部門	化学療法センター
委員	本多 満	中央診療部門	救命救急センター
委員	島田 英昭	中央診療部門	がんセンター
委員	藤井 毅郎	中央診療部門	大動脈センター
委員	永尾 光一	中央診療部門	リプロダクションセンター
委員	岡野 直樹	中央診療部門	内視鏡部
委員	本多 満	中央診療部門	集中治療部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	心血管インターベンション部
委員	池田 隆徳	中央診療部門	不整脈センター
委員	酒井 謙	中央診療部門	人工透析部
委員	大国 生幸	中央診療部門	褥瘡ケアチーム
委員	本多 満	中央診療部門	呼吸ケアチーム
委員	松田 尚久	中央診療部門	先端健康解析センター
委員	武田 吉正	中央診療部門	移植医療支援部
委員	片桐 由起子	中央診療部門	臨床遺伝診療部
委員	盛田 俊介	中央施設部門責任者	臨床検査部
委員	永井 英成	中央施設部門責任者	臨床生理機能検査部
委員	船橋 公彦	中央施設部門責任者	中央手術部
委員	堀 正明	中央施設部門責任者	中央放射線部
委員	藤井 毅郎	中央施設部門責任者	臨床工学部
委員	高橋 浩之	中央施設部門責任者	輸血部
委員	松本 高広	中央施設部門責任者	薬剤部
委員	鷲澤 尚宏	中央施設部門責任者	栄養部
委員	栃木 直文	中央施設部門責任者	病院病理部
委員	高橋 寛	中央施設部門責任者	メディカルフォトセンター
委員	高井 雄二郎	中央施設部門責任者	医療情報管理センター
委員	中島 耕一	中央施設部門責任者	地域医療支援センター
委員	本多 満	中央施設部門責任者	保険医療指導部
委員	南木 敏宏	中央施設部門責任者	治験・臨床研究管理部
委員	狩野 修	中央施設部門責任者	国際医療支援部
委員	大島 勝	事務部長	事務部長
委員	前村 俊満	委員長指名	医療安全管理部
委員	宮崎 泰斗	委員長指名	感染管理部
委員	廣井 直樹	委員長指名	総合相談部
委員	高井 雄二郎	委員長指名	電子情報委員会
委員	原 規子	委員長指名	羽田空港クリニック
委員	高井 雄二郎	委員長指名	卒後臨床研修/生涯教育センター

学校法人東邦大学 役員（理事・監事）名簿

令和5年4月1日現在

理事長	炭山 嘉伸
常務理事	白井 久己
常務理事	中村 俊一郎
理事	高松 研
理事	盛田 俊介
理事	田中 芳夫
理事	古田 寿昭
理事	岸 恵美子
理事	瓜田 純久
理事	小家 一彦
理事	岩淵 聡
理事	多田 周右
理事	酒井 康弘
理事	額田 均
理事	加藤 裕芳
理事	吉田 茂雄
理事	大島 範子
監事	西込 明彦
監事	山田 眞之助

(様式第 7)

専門性の高い対応を行う上での取組みに関する書類（任意）

1 果たしている役割に関する情報発信

① 果たしている役割に関する情報発信の有無	有・無
<p>・情報発信の方法、内容等の概要</p> <p>◇ 地域連携学術セミナーを年1回開催し、当院の診療内容・方針を理解していただき、地域医療機関との医療連携促進に役立てているが、前年度は新型コロナウイルス感染対策により集会形式での開催は中止とした。しかしながら、参加者向けの講演者動画を撮影・配信した。</p> <p>◇ 公開講座を実施し、一般の方に対して、広く情報発信を行っている。年間10回開催を計画していたが、新型コロナウイルス感染対策のため開催は中止した。</p> <p>◇ 広報誌「おかげさん」を年4回発行し、当院の診療科医師などの紹介、診療内容について広く情報発信を行っている。</p>	

2 複数の診療科が連携して対応に当たる体制

① 複数の診療科が連携して対応に当たる体制の有無	有・無
<p>・複数の診療科が連携して対応に当たる体制の概要</p> <p>◇ 組織横断的なチームを形成することで、複数の診療科・多職種の職員が連携して、従前より診療対応に当たっている。呼吸ケア、褥瘡ケア、認知症ケアチーム、周術期センター等がこれにあたる。</p>	